

（議員用）

2026 年 4 月 15 日

宝塚市議会議長 様

議員名（※）おだ たか子



（※）自署しない場合は記名押印してください。

2025年度 政務活動費収支報告書

宝塚市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項の規定に基づき、下記のとおり、2025年度政務活動費に係る収入及び支出を報告します。

記

1 収入 政務活動費 912,000 円

2 支出

科 目	金 額
研究・研修会費	174,501 円
調査費	- 円
広報費	724,450 円
広聴費	6,300 円
要請・陳情活動費	- 円
資料作成・購入費	- 円
人件費	- 円
事務費	10,336 円
合 計	915,587 円

3 残 額 -3,587 円

支 出 内 訳 書

科 目	内 訳	
研究・研修会費 (174,501 円)	(1) 会場費	- 円
	(2) 講師謝金・旅費	- 円
	(3) 出席者負担金・会費	65,330 円
	(4) 旅費	109,171 円
	(5) 交通費	- 円
	(6) その他	- 円
調査費 (0 円)	(1) 旅費	- 円
	(2) 交通費	- 円
	(3) その他	- 円
広報費 (724,450 円)	(1) 広報紙・報告書印刷費	643,500 円
	(2) 送料	80,950 円
	(3) 会場費	- 円
	(4) その他	- 円
広聴費 (6,300 円)	(1) 旅費	- 円
	(2) 交通費	6,300 円
	(3) 会場費	- 円
	(4) 印刷費	- 円
	(5) その他	- 円
要請・陳情活動費 (0 円)	(1) 旅費	- 円
	(2) 交通費	- 円
	(3) 印刷費	- 円
	(4) その他	- 円
資料作成・購入費 (0 円)	(1) 資料作成費	- 円
	(2) 翻訳料	- 円
	(3) 書籍・新聞等購入代	- 円
	(4) その他	- 円
人件費 (0 円)	(1) 賃金	- 円
事務費 (10,336 円)	(1) 事務消耗品費	10,336 円
	(2) 備品費	- 円
	(3) 電話料	- 円
	(4) その他	- 円

2025年度 政務活動費会計帳簿

(会派名または議員名 おだ たか子)

支出番号	月日	支出先	支出内容	金額	科目・内訳	ポイント	ポイント分減額	コード
1	8月29日	JR他	8/27～29全国市議会議長会研究フォーラムin 札幌参加にかかる旅費	60,170	1 研究・研修会費 4 旅費	無		104
2	8月13日	株式会社JTB	8/27～29全国市議会議長会研究フォーラムin 札幌 参加費及び視察 (Iコース) 参加費 (振込手 数料330円) 出張調査 (研究・研修会参加) 報告書及び領 収書は支出書No.1に添付	59,330	1 研究・研修会費 3 出席者負担金・会費	無		103
3	1月16日	JR西日本他	1/15～16「ふるさと住民登録制度」議員カン ファレンス2026 参加にかかる旅費	49,001	1 研究・研修会費 4 旅費	無		104
4	1月16日	一般社団法人マーズスト研 究会	1/15～16「ふるさと住民登録制度」議員カン ファレンス2026 参加費及び情報交換会費 出張調査報告書及び領収書は支出書No.3に添 付	6,000	1 研究・研修会費 3 出席者負担金・会費	無		103
5	8月26日	やまや&ダイソー	事務用消耗品ノート	218	8 事務費 1 事務消耗品費	有	2	801
6	2月14日	ダイソー	事務用消耗品ボールペン便箋他	770	8 事務費 1 事務消耗品費	無		801
7	3月25日	ダイソー	事務用消耗品ファイル文具他	1,430	8 事務費 1 事務消耗品費	無		801
8	2月13日	株式会社イトウゴブク	事務用消耗品座れる収納ボックス大小他	7,918	8 事務費 1 事務消耗品費	無		801
9	2月12日	LAWSON	レターバックプラスとライト 市政報告原本は支出書No.15に添付	2,230	3 広報費 2 送料	無		302
10	10月15日	日本郵便株式会社	切手 (110円10枚) 市政報告原本は支出書No.15に添付	1,100	3 広報費 2 送料	無		302
11	2月16日	日本郵便株式会社	レターバックフライト 市政報告原本は支出書No.15に添付	430	3 広報費 2 送料	無		302
12	2月16日	日本郵便株式会社	レターバックフライトとスマートレター 市政報告原本は支出書No.15に添付	1,070	3 広報費 2 送料	無		302
13	3月30日	日本郵便株式会社	レターバックプラスと包装袋小 市政報告原本は支出書No.15に添付	700	3 広報費 2 送料	無		302
14	3月31日	日本郵便株式会社	ゆうメール特別 市政報告原本は支出書No.15に添付	75,420	3 広報費 2 送料	無		302
15	3月31日	株式会社富士美術	市政報告第3号 (A3折・4ページ 両面7-刷) 封筒	643,500	3 広報費 1 広報紙・報告書印刷費	無		301
16	6月24日	ソリオ宝塚都市開発(株)	市民相談・広聴活動	400	4 広聴費 2 交通費	無		402
17	6月29日	ソリオ宝塚都市開発(株)	市民相談・広聴活動	200	4 広聴費 2 交通費	無		402
18	7月26日	ソリオ宝塚都市開発(株)	市民相談・広聴活動	200	4 広聴費 2 交通費	無		402
19	10月31日	ソリオ宝塚都市開発(株)	市民相談・広聴活動	200	4 広聴費 2 交通費	無		402
20	1月12日	ソリオ宝塚都市開発(株)	市民相談・広聴活動	200	4 広聴費 2 交通費	無		402

ポイント減額

[illegible]

別紙様式 1

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	研究・研修会費	内 訳	旅費	支出番号	1
支 出 日	2025年8月29日		支出金額	60,170 円	
支 出 先	JR他				
支出内容	8/27～29全国市議会議長会研究フォーラムin札幌参加にかかる旅費				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

供	議長	副議長	局長	次長	課長	副課長	係長	係	合	
									議	
	別紙様式3	2	(議員用)							

出張調査（研究・研修会参加）報告書

宝塚市議会議員 様

議員名（※） おだ たか子

（※）自署しない場合は記名押印してください。

出張調査（研究・研修会参加）の結果について、次のとおり報告します。

1 調査先（研究・研修会会場） 第20回全国市議会議長会研究フォーラム・札幌文化芸術劇場

2 期 間 令和 7年 8月 27日 ～ 令和 7年 8月 29日

3 出張者氏名（議員名） おだ たか子

4 調査項目、テーマ ※調査結果の概要、所見等については別紙を添付

「地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて」をテーマとし、各市における地方議会議員のなり手不足問題等に係る事例を検証し調査した。

5 旅費

①鉄道賃等

月 日	交通機関	経 路	金額	領収書の有無※	備 考
8/27	✓ 阪急電車	✓ 清荒神～神戸三宮	✓ 290円	✓ 有・  ✓	
8/27	✓ ポートライナー	✓ 三宮～神戸空港	✓ 340円	✓ 有・  ✓	
8/27	✓ スカイマーク	✓ 神戸空港～新千歳空港	✓ 16,170円	✓  ・無	
8/27	✓ JR北海道	✓ 新千歳空港～札幌	✓ 1,230円	✓ 有・  ✓	
8/27	✓ 札幌市営地下鉄	✓ 札幌～大通	✓ 210円	✓ 有・  ✓	
8/27	✓ 札幌市営地下鉄	✓ 大通～中島公園	✓ 210円	✓ 有・  ✓	
8/27	✓ 札幌市営地下鉄	✓ 中島公園～すすきの	✓ 210円	✓ 有・  ✓	
8/27	✓ 札幌市電	✓ すすきの～東本願寺前	✓ 230円	✓ 有・  ✓	
8/28	✓ 札幌市電	✓ 東本願寺前～すすきの	✓ 230円	✓ 有・  ✓	
8/28	✓ 札幌市営地下鉄	✓ すすきの～大通	✓ 210円	✓ 有・  ✓	
8/29	✓ AIRDO	✓ 新千歳空港～神戸空港	✓ 25,310円	✓  ・無	
8/29	✓ ポートライナー	✓ 神戸空港～三宮	✓ 340円	✓ 有・  ✓	
8/29	✓ 阪急電車	✓ 三宮～清荒神	✓ 290円	✓ 有・  ✓	
合 計			45,270円	✓	

※原則として領収書の添付が必要だが、券売機での切符購入等で領収書が徴しがたい場合は、2,000円以内の支出に限り、本報告書への記入をもって領収書の添付に代えるものとする。

②宿泊料

1 人	1 泊	金額 計	14,900 円
6 交通費	ガソリン代		円
	高速代		円
	駐車場代		円
	自動車借上料		円
	計		円

7 出席者負担金・会費 @ 59,000 × 1 人 = 59,330 円 (振込手数料含む)



第20回全国市議会議長会研究フォーラム等視察ご報告

おだ たか子

本年度の全国市議会議長会研究フォーラムは会場が札幌文化芸術劇場 hitaru にて行われ、基調講演には伊吹文明元衆議院議長を迎え「主権を預かる誇りと責任」という貴重なお話を拝聴できました。パネルディスカッションでは「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える」をテーマとし、各市における地方議会議員のなり手不足問題等に係る事例を検証されたが、山口県宇部市議会議長の山下節子全国市議会議長会副会長の事例解説が非常に解りやすく、市議会議員は兼業・副業が無い限り国民年金にしか加入できず、市役所に20年勤めた職員が議員を志して当選してから5期20年勤めたとしても、市職員が自治体を退職せずに40年勤めあげた場合に比べ、年金額がほぼ半分になる所から、企業の厚生年金のような年金や（県）市町村職員共済組合年金に加入できなければ、家族を養い、働き盛りの年代の議員の成り手は不足するのは必然である、との事例紹介には場内から拍手、そうだ！の掛け声が続きました。

この研究フォーラムは、全国の市区議会議員が一堂に会し、共通する政策課題等についての情報や意見の交換を行い、地方分権の時代にふさわしい議会機能の充実と活力に満ちた地域づくりに資することを目的に毎年開催され、若者や女性、会社員など多様な人材の市議会への参画を促し議会を活性化するために、主体的・持続的な議会改革を進め、市民にとって魅力ある議会をつくることなどをテーマにあげ、調査研究を行うことであるが、今回は「地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて」をテーマとし、各市における地方議会議員のなり手不足問題等に係る事例を検証するフォーラムであった。まだ選挙登録定数割れをしていない状況の都市部ではピンとこなかったが、宇部市議会議長の発表により、議員の年金システムが脆弱で、兼業できるような状態にない、真面目な議員ほど休日なし、老後の保障なしで働いていることがわかった。このような状態では議員のなり手など、実情を知った時点で、名誉職的にお金に余裕のある人しか来なくなると確信しました。

二日目午後からの旭川市、東川町、富良野市視察のコースで東川町が興味深く、町のふるさと納税などの歳入システムや移住促進プランがユニークで職員のやる気度も感じられ、モチベーションアップに成功している事例としてご報告します。住民の約5割が移住者という東川町は、まず写真の町として保有する大自然の景観を生かし、更に1994年から全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園」を開催し、町のPRに成功され、若者との出会いの場を創り、ふるさと納税は特産品返礼に加え、体験型により実際に町を訪れ、体験し参加し出会うことで極上の思い出を提供している。ふるさと納税をすれば東川の株主になれるという「ひがしかわ株主制度」を創設し、寄附を「投資」寄付者を「株主」返礼品を「株主優待」と呼び、株主の皆様を共にまちづくりをする人と位置づけ「東川町特別町民」と認定。認定証と株主証を発行し、優待利用を受けられる株主証の贈呈により、観光促進している。町内に100店舗以上ある株主優待制度加盟店で利用できる、ICカード機能付き「HUC株主証」を発行（地域通貨的な役割を持ち、加盟店では1ポイント1円でお買い物も可能）や、ふるさと交流センターに宿泊できる株主メリット（1万円以上の投資で二泊無料。寄付から1年間）やケビン（貸し別荘）に半額で宿泊できる株主優待等が受けられる。株主は特別町民になり、優待が受けられるほか、ふるさと納税による税金の控除も受けられるので、人気が出ているそうです。これらの企画は外部ではなく、職員からアイデアが出て、知恵を出し合い、実施していったと職員上がりの町長も力説しておられました。本市でも企業版ふるさと納税など力を入れてほしいとお願いしてきましたが、市職員のモチベーションもなかなか上がらない旨お伝えし質問させて戴いたところ、町の規模からも役場内で垣根を取り払って、各部局が一緒になって考えられたことで連携の一体感が生まれ、役人と町民、町の事業者との夢のコラボレーションが実現したとのことでした。魅力的なロケーションもありましたが、それをいかに生かすかという課題を役場の町長以下職員、議会も一緒になって知恵を絞ってアイデアを実現させるかが重要だと実感しました。風通しをよくすることも大切との事でした。以上です。

第20回

全国市議会議長会 研究フォーラム



National Association of Chairpersons of City Councils

参加のご案内

開催日：令和7年8月27日(水)・28日(木)

場 所：札幌文化芸術劇場 hitaru

[中継会場] 札幌パークホテル3F「エメラルド」

主催：全国市議会議長会 後援：総務省

協賛：全国市議会議員互助会、(有)都市企画センター

実施：第20回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

◆ タイムスケジュール



第1日目

8月27日(水)

会場：札幌文化芸術劇場 hitaru [中継会場] 札幌パークホテル 3F「エメラルド」

- 11:30 受付開始・開場
- 13:00 開会式
- 13:20 基調講演
「主権を預かる誇りと責任」
伊吹 文明 元衆議院議長
- 14:20 休憩
- 14:40 パネルディスカッション
「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える」
コーディネーター 辻 陽 近畿大学法学部教授
パネリスト 牧原 出 東京大学教授
白石 洋一 読売新聞東京本社政治部次長
山下 節子 山口県宇部市議会議長
長内 直也 北海道札幌市議会議長
- 16:40 次期開催地挨拶
- 16:50 終了・移動
- 18:00 意見交換会
[札幌パークホテル B2F「パークプラザ」]
- 18:45 意見交換会終了

第2日目

8月28日(木)

会場：札幌文化芸術劇場 hitaru [中継会場] 札幌パークホテル 3F「エメラルド」

- 8:30 開場
- 9:00 課題討議
「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」
コーディネーター 牧瀬 稔 関東学院大学法学部地域創生学科教授
事例報告者 今井 康善 長野県岡谷市議会前議長
平神 純子 鹿児島県南さつま市議会議員
中野 進 石川県白山市議会議長
- 11:00 閉会式
- 11:30 視察

※登壇者は、変更になる場合もございます。

Iコース

旭川市・東川町・富良野市「革新的動物園と これぞ！夏の北海道」視察

1泊2日

コース
ポイント

行動展示で話題となった旭川市の動物園と、北海道屈指の観光地として長年にわたり観光客を惹きつける美瑛・富良野エリアを視察するコースです。

- 募集人数:40名 ●最少催行人数:30名 ●旅行代金(お一人様あたり):50,000円 ●添乗員同行
●旅行代金に含まれるもの:貸切バス代金・昼食代金・視察研修費用及び入場料・添乗員費用・諸税
宿泊料金(1泊朝食/1名様1室利用)

行程		食事
8/28 (木)	旧NHK札幌放送局跡地 ― 札幌市内(昼食) ― 旭川市旭山動物園 ― ホテル(旭川市内) 11:40集合 11:50発 12:20着 13:20発 15:40着 17:00発 17:40頃着 ※ご夕食はプランに含まれておりません、ホテル周辺にて各自お召し上がりください。	朝 × 昼 ○ 夕 ×
8/29 (金)	ホテル ― 東川町(移住に関する講演) ― 白金青い池 ― 富良野市内(昼食) ― 8:30発 9:00着 10:30発 11:10着 11:50発 12:50着 13:50発 ― フラノマルシェ ― 新千歳空港 ― 札幌駅北口 14:00着 14:30発 16:30頃着 17:30頃着	朝 ○ 昼 ○ 夕 ×

<利用バス会社: H.CS観光>

【旭川市旭山動物園】

日本最北の動物園で、園内の一貫したテーマは、『伝えるのは、命』。全国の先駆けとなった、動物の自然な生態が見られる行動展示を実施し、一躍有名になった。日本国内だけではなく、海外からも数多くの観光客が訪れている。

【東川町】

1993年に人口が7,000人を割っていた町が移住に本気で取り組んだ結果、2024年には人口が約8,500人まで増え、その約6割が町外から移り住んできたという移住の町を視察します。

【白金青い池】

十勝岳の防災工事の際、堰堤にたまった水が、不思議なほど青い色をたたえ、立ち枯れのカラマツとあいまって幻想的な風景に。いつしか「青い池」と呼ばれるようになりました。2012年にあるIT企業が発表したディスプレイの壁紙として、採用されたことにより、「世界の名所」となった。

【フラノマルシェ】

フラノマルシェは、わがまち富良野をこよなく愛する市民の発案と行動力によって誕生した「民間施設」です。運営しているのは、地元の企業・個人が出資し設立した「ふらのまちづくり株式会社」。地域センター病院の移転によって空き地となった2000坪の広大な跡地を活用し、寂れつつあった富良野の中心市街地を再生しようと、熱意ある人々が立ち上がり、苦節4年、幾多のハードルを乗り越え、平成22年(2010年)に完成に至りました。

【宿泊先施設案内】

旭川トヨーホテル <1泊朝食付き/シングル部屋/1名様1室利用>

住所: 〒070-0037 北海道旭川市7条通7丁目32-12

TEL: 0166-22-7575

<https://www.toyo-hotel.net/>

※記号の見方: 貸切バス ―――

※視察箇所は受け入れ先の都合により急遽変更になる可能性もございます。その際は事前にご連絡いたします。

※日帰りの場合と1泊2日の場合で取消料の発生日が異なります。ご注意ください。

セブン-イレブン
宝塚宮の町店
兵庫県宝塚市宮の町10-3

電話：0797-85-7705 ｼﾞﾂ#2

2025年08月07日(木) 19:43 責001

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄｼｮｯﾌﾟﾝｸﾞ払込領収書

お客様控

08/27SKY173 ODA TAKAKO 様

¥16,170-

払込先名 スカイマーク

お客様用連絡先

0570-039-283 払戻には領収書が必要となります。

払込票番号

7263-20498-7192

2025年08月07日



- 商品・サービス等の提供方法は払込先より案内されております。(この領収書が必要になる場合もあります。)
- 注文内容についてのお問合せや変更・取消・返品・返金等は、上記、お客様用連絡先にお問合せ下さい。
- 本票を保管頂く場合は、印刷面を内側に折り、保管をお願い致します。

※インボイスの発行はお客様からサービス事業者にお問合せ下さい。

AIR DO

領収書
おだたか子 様

¥25,310

(クレジット支払い ¥25,310)

(税込)

含む：三井住友カード

(消費税 10%対象 ¥25,310)

(税込)

但し、旅客運賃料金として、上記の金額正に領収致しました。

株式会社AIRDO

1. 2025年 8月29日 ADO 120 便 札幌⇒神戸

本領収書は再発行不可となります。

購入日：25-08-09

発行所：ｼｬｰﾋﾞｰ

TKT：XK9PYP

発行日：25-08-29

端末番号：39105

*22274

登録番号：T6430001021797

本領収書は再発行できません。

This receipt can not be reissued.

ご利用明細

イオン銀行

取扱店	機番	取引年月日	時刻	通番
117	3825	8.13	15:08	8186
銀行番号	店番号	科目・口座番号等		
0005	0005	****		*

お振込み
お取引金額 ¥73,900
振込手数料 ¥220
手数料 ¥110

お受取人

みずほ銀行
十四号支店
普通 #0660107
か) JTB 様

お振込依頼人

オタ タカコ 様

お取扱日 2025年 8月13日

イオン銀行コールセンター

0120-13-1089

カードの紛失・盗難については、
専用ダイヤル03-6832-1234に至急ご連絡ください。
年中無休24時間受付(通話料は有料となります。)

■ご案内

- 本書は、お客様が購入された航空券に係る重要な内容が記載されておりますので、内容を十分に確認のうえ、大切に保管してください。
- お客様との運送契約は、国内旅客運送約款に則ります。(旅程により一部のお客様には国際運送約款が適用になります)
- 本書が「明細書」、「証明書」、「領収書」または「航空券」として発行されている場合、再発行できません。大切に保管をお願いします。

■ご搭乗について

- 航空券は、名義変更および第三者への譲渡はできません。
- 不正搭乗が発覚した場合、所定の違約金を申し受けるが、状況によっては法的手段を講じることも含め対応致します。
- 運賃の適用条件、変更・払い戻しは、別に定める規則に則ります。

■ANA便ご利用に際してお問い合わせはこちら

https://www.ana.co.jp/domestic_bookflight_tel/
(他航空会社便については各社へお問い合わせください)

宝塚市議会
織田 貴子 様

登録番号 T8010701012863
請求書番号 287768-004-4020756-0
発行日 2025年8月7日(木)
取引年月日 2025年8月27日(水)～2025年8月28日(木)

請求書

〒060-0001
北海道札幌市中央区北一条西6丁目1-2
アーバンネット札幌ビル8階
株式会社JTБ 北海道事業部
事業部長 大川



第20回全国市議会議長会研究フォーラムin札幌

毎度、当社をご利用くださいます、誠にありがとうございます。
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。

2025年8月15日(金) までに、お支払いくださいますようお願いいたします。

なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

ご 請 求 内 訳	数 量	金 額 (税込)	税率・税額
フォーラム参加費	1	¥9,000	対象外
合 計 (うち消費税)		¥9,000	
10%対象小計			
8%対象小計 ※軽減税率対象			
消費税対象外		¥9,000	
内 入 金 額			

ご請求額

¥9,000

* 振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】 みずほ銀行
【預金種別】 普通
【口座名義】 株式会社JTБ
か) ジェティービー

【支店名】 十四号支店
【口座番号】 0660107
【お客様番号】 507-0

* お名前の前にお客様番号をご入力ください。

別紙様式 1

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

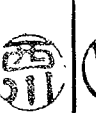
支出科目	研究・研修会費	内 訳	出席者負担金・会費	支出番号	2
支 出 日	2025年8月13日		支出金額	59,330 円	
支 出 先	株式会社JTB				
支出内容	8/27～29全国市議会議長会研究フォーラムin札幌 参加費及び視察（Iコース）参加費（振込手数料330円） 出張調査（研究・研修会参加）報告書及び領収書は支出書No. 1に添付				
＜領収書等添付欄＞ 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

別紙様式 1

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	研究・研修会費	内 訳	旅費	支出番号	3
支 出 日	2026年1月16日		支出金額	49,001 円	
支 出 先	JR西日本他				
支出内容	1/15～16「ふるさと住民登録制度」議員カンファレンス2026 参加にかかる旅費				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

供 覧	議 長	副議長	局 長	次 長	課 長	副課長	係 長	係	合
									議
	出張調査（研究・研修会参加）報告書								

宝塚市議会議長 様

議員名 (※) おだ たか子
(※) 自署しない場合は記名押印してください。

出張調査（研究・研修会参加）の結果について、次のとおり報告します。

- 1 調査先（研究・研修会会場） 楽天グループ株式会社 本社 楽天クリムゾンハウス 東京
(東京都世田谷区玉川1丁目14-1)
- 2 期 間 令和 8年 1月 15日 ~ 令和 8年 1月 16日
- 3 出張者氏名（議員名） おだ たか子

- 4 調査項目、テーマ ※調査結果の概要、所見等については別紙を添付

総務省がふるさと納税に続く新制度として2026年度から本格実施をめざす「ふるさと住民登録制度」のカンファレンスを受講し調査した。

①鉄道賃等

月 日	交通機関	経 路	金額	領収書の有無※	備 考
1/15 ✓	阪急電車 ✓	清荒神～宝塚 ✓	170円 ✓	有・  ✓	
1/15 ✓	JR宝塚線 ✓	宝塚～大阪 ✓	340円 ✓	有・  ✓	
1/15 ✓	JR西日本 ✓	新大阪～新横浜 ✓	14,190円 ✓	 無	
1/15 ✓	東急 ✓	新横浜～二子玉川 ✓	358円 ✓	有・  ✓	
1/16 ✓	東急 ✓	二子玉川～永田町 ✓ (227円)	436円 ✓	有・  ✓	
1/16 ✓	メトロ ✓	赤坂見附～東京 ✓ (209円)	円	有・  ✓	
1/16 ✓	JR東海 ✓	東京～新大阪 ✓	14,720円 ✓	 無	
1/16 ✓	JR西日本 ✓	新大阪～宝塚 ✓	490円 ✓	有・  ✓	
1/16 ✓	阪急電鉄 ✓	宝塚～清荒神 ✓	170円 ✓	有・  ✓	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
合 計			30,874円 ✓		

※原則として領収書の添付が必要だが、券売機での切符購入等で領収書が徴しがたい場合は、2,000円以内の支出に限り、本報告書への記入をもって領収書の添付に代えるものとする。

②宿泊料

1人 1泊 金額 計 18,127 円 ✓

- 6 交通費
- | | |
|--------|-----------------------|
| ガソリン代 | 円 |
| 高速代 | 円 |
| 駐車場代 | 円 |
| 自動車借上料 | 円 |
| 計 | 49,001 円 ✓ (鉄道賃等+宿泊料) |

7 出席者負担金・会費 @ 6,000 × 1 人 = 6,000 円 (※) (※) 宝塚市議会総務課 令和8年2月16日 受付

令和8年1月15日～16日における「ふるさと住民登録制度」議員カンファレンス

調査結果の概要、所見

おだ たか子

総務省がふるさと納税制度に続く新制度として進められているものだが、全国市議会議長会で昨年度視察させて戴いた北海道東川町のような、町の支援者をふるさと納税で募るような取組が成功例で、岐阜県飛騨市や長野県飯綱町の取組ではあまり実用的でないと感じました。

楽天本社での、ふるさと納税担当者との情報交換は、大変有意義で、楽天担当者にぜひ宝塚市に来て戴いて、市長以下担当部局にふるさと納税での歳入確保案をプレゼンテーション戴きたいとの話となりました。

以上です。

領収書 - 「ふるさと住民登録制度」議員カンファレンス2026

発行日	2026年2月13日		
宛名	おだたか子		
合計	小計 (10%対象)	¥5,455	
	消費税 (10%)	¥545	
	合計	¥6,000	
但し	講習会費として		
申込日	2025年12月8日		
注文番号	33452814		
イベント名	「ふるさと住民登録制度」議員カンファレンス2026		
開催日	2026年1月15日 - 2026年1月16日		
主催者	一般社団法人マニフェスト研究会		
	〒186-0004		
	東京都 国立市中 1-7-41		
	登録番号: T6010005021324		



領 収 書 おだたか子 様
Receipt
領収年月日 2026.1.14 登録番号: T1120001059675
金 額 ¥14,190 (消費税等込み) 税10%

〔クレジット扱い〕
購入商品 JR乗車券類
(40312 1枚)
西日本旅客鉄道株式会社
宝塚駅N1発行 50313-01

印紙税申告納
付につき大淀
税務署承認済

TRIP.COM TRAVEL SINGAPORE PTE. LTD.
企業登録番号/GST登録番号 : 201613701E
予約番号 : 1385429476716894
支払日 : 2025年12月17日 (UTC+8)

電子領収書

宿泊者情報	
宿泊者姓名	ODA TAKAKO
メールアドレス	
予約内容詳細	
ご宿泊施設	二子玉川エクセルホテル東急
チェックイン日	2026年1月15日
チェックアウト日	2026年1月16日
客室数	1
価格明細	金額
合計金額	JPY20,190
割引	-JPY2,008
Trip Coins	-JPY55
お支払い総額 (アメリカン・エクスプレス (クレジットカード) ****)	JPY18,127

この領収書は自動的に生成されたものです。



TRIP.COM TRAVEL SINGAPORE PTE. LTD.

領収書 おだたか子様

Receipt

領収年月日 2026-1-14 登録番号: T1120001059675

金額 ¥14,720 (消費税等込み) 税10%

〔クレジット扱い〕

購入商品 JR乗車券類

(10316-1枚)

西日本旅客鉄道株式会社

宝塚駅N1発行 20317-01

印紙税申告納付につき大淀税務署承認済

2026年
1月15日(木)
14時～19時

主催：ふるさと住民応援コンソーシアム
共催：ローカル・マニフェスト推進連盟
ユースキャリア教育機構、楽天グループ株式会社地域創生事業

1月16日(金)
10時～12時

主催：楽天グループ株式会社地域創生事業
①楽天グループ株式会社主催セミナー
#ふるさと納税 #地域DX #地域経済
②楽天グループ株式会社
社内ツアー

住民登録しなくても
地域を応援できる新制度。

ふるさと納税の次は
この制度に注目！

登壇者

岐阜県山県市地域活性化企業人(副業型)
ユースキャリア教育機構 代表理事
宇野 晋太郎

登壇者

ローカル・マニフェスト推進連盟事務総長
東京都武蔵野市議会議員
川名 ゆうじ

講師

ふるさと住民応援コンソーシアム事務局長
鳥海 彩
(楽天グループ株式会社地域創生事業)

「ふるさと住民登録制度」

議員

カンファレンス2026

あなたの自治体ではどう対応する？！

ローカル・マニフェスト推進連盟は、ふるさと住民応援コンソーシアム、ユースキャリア教育機構、楽天グループ株式会社地域創生事業と連携した議員カンファレンスを開催します。どうぞご参加ください。

日程：2026年1月15日(木)、16日(金)

場所：楽天グループ株式会社 本社

楽天クリムゾンハウス

(東京都世田谷区玉川1丁目14-1)

参加費：2000円／情報交換会(飲食あり)：4000円

※情報交換会・2日目のみの参加は不可

※自治体議員対象

締切り：2025年12月19日 定員100名(先着順)

詳細・お問い合わせ・お申し込み先

ローカル・マニフェスト推進連盟・事務局
一般社団法人マニフェスト研究会

(担当：永尾・亀井)

〒186-0004 東京都国立市 中 1-7-41

TEL：050-8894-0671

FAX：050-8894-0670

mail：lm@local-manifesto.jp



1日目スケジュール

◆14時～

新制度研修会

- ・アイスブレイク
- ・レクチャー
「ふるさと住民登録制度とは？」
- ・先進事例発表
長野県飯綱町、岐阜県山県市など
- ・ディスカッション

◆17時半～

情報交換会(飲食あり)※同施設内予定

2日目スケジュール

◆10時～12時

楽天グループ株式会社
レクチャーシリーズ

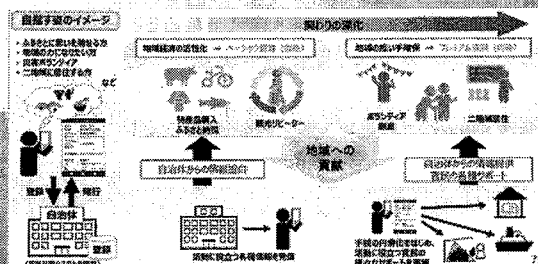
- ①ふるさと納税最新事例
- ②民間事業者と自治体連携
- ③通信・市民デジタル化最新事例
- ④楽天本社オフィスツアー

「ふるさと住民登録制度」とは

総務省が来期から創設を予定している「ふるさと住民登録制度」とは、実際に居住していなくても、その自治体と継続的な関係を持つ人（関係人口）を「ふるさと住民」として登録できる仕組みです。登録者は、地域情報を受け取ったり、公共施設の利用が住民価格になったりと、地域への関与を深めることができます。これは、従来の住民票とは異なり、自治体が自由に制度設計できる柔軟なシステムで、地方創生の観点から、地域の担い手確保や経済活性化を目指すものです。

「ふるさと住民応援コンソーシアム」とは？

本制度の社会実装を推進するために、楽天グループ株式会社が事務局として設立しました！オンライン・オフライン集会の実施やニュースレターの発行をしています。個人会員(無料)を募集中です！
rev-furusato20_strategic@mail.rakuten.com
までお問合せください！



1日目：議員カンファレンスで得られること

知識の獲得

2026年創設予定の「ふるさと住民登録制度」に関する体系的かつ実践的な知識を得ることができる。政策立案に必要な情報を網羅できます！

実践的視点の獲得

岐阜県山県市や長野県飯綱町など制度に先立ち先進的な取り組みを行っている地域について学び、自らの地域での制度活用に向けた具体的なアイデアとアクションプランを得られます！

ネットワークの構築

全国の地方議員との繋がりを築き、継続的な情報交換と協力関係を構築できる。地域を超えた連携の基盤となります！

2日目：楽天グループ主催セミナーで得られること

①ふるさと納税について

全国トップ20の寄附額を誇る自治体が大切にしている「寄附者対応」や「返礼品への考え方」「体制整備」など、寄附額向上のヒントをお伝えします！

②域内DXについて

人口減少社会において、自治体、企業、市民のデジタル化は待ったなしの課題です。特に市民生活におけるスマートフォンを活用したDX事例を紹介します！

③中小事業者の稼ぐ力向上について

物価高に悩まれる中小企業の方々、特に価格転換をしにくいtoC向けサービス事業者に寄り添った解決策を、自治体事例とともにお伝えします！

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	研究・研修会費	内 訳	出席者負担金・会費	支出番号	4
支 出 日	2026年1月16日		支出金額	6,000 円	
支 出 先	一般社団法人マニフェスト研究会				
支出内容	1/15～16「ふるさと住民登録制度」議員カンファレンス2026 参加費及び情報交換会費 出張調査報告書及び領収書は支出書No. 3に添付				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	事務費	内 訳	事務消耗品費	支出番号	5
支 出 日	2025年8月26日		支出金額	218 円	
支 出 先	やまや&ダイソー				
支出内容	事務用消耗品ノート				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	有	2 円減額

やまや

酒のやまや&ダイソー 宝塚安倉店
TEL 0797-84-6000
兵庫県宝塚市安倉南1-7-1
毎月20日はお客様感謝デー！
やまやカード会員様3%オフのお得な日。

店No:40759 レジNo:0004
2025年08月26日(火) 12時09分

領収証

PUノート (合皮調 B6サイズ) ￥100
PUスリット(10.9cm×10.9cm、48枚) ￥100
小計 2点 ￥200
外消費税10% (対象額 ￥200) ￥20

合計 ￥220

PayPay ￥220

お会計 ￥0

***** dポイントカード *****

dポイントカード番号 XXXXXXXXXXXX9000

進呈ポイント 2P

※対象金額 ￥220

dポイント残高 26P

レシートNo. 008530

責:1770

やまや関西(株)

登録番号:T8120901028599

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	事務費	内 訳	事務消耗品費	支出番号	6
支 出 日	2026年2月14日		支出金額	770 円	
支 出 先	ダイソー				
支出内容	事務用消耗品ボールペン便箋他				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

だんぜん|ダイソー
DAISO

ダイソーイオンモール伊丹店

TEL:082-420-0100

公式通販サイト「DAISOオンラインショップ」

「ダイソーオンライン」で検索!

<領収証>

2026年02月14日(土)19:17

レシートNo.:0003 責:00494291

ツイスト式ボールペン(黒) ¥100外

3色ボールペン(クロミ) ¥100外

メッセージカード(フラワ) ¥100外

レターセット(くすみグレ) ¥100外

カラーレター(ブラウン) ¥100外

便箋(夏柄、和柄) ¥100外

大判二つ折り色紙(アイリ) ¥100外

小計 7点 ¥700

10%税抜対象額 ¥700

10%税額 ¥70

合計 ¥770

PayPay ¥770

お釣 ¥0

登録番号 T7240001022601

だいぞう
LINEスタンプ



ハッピープライス
バラダイス楽曲



決済手段

取引内容

伝票番号

承認番号

PayPay

売上

P20260214191713

0EU130U10003P20260214191713

ご利用金額

¥770



店:002735 レシートNo.:1272

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	事務費	内 訳	事務消耗品費	支出番号	7
支 出 日	2026年3月25日		支出金額	1,430 円	
支 出 先	ダイソー				
支出内容	事務用消耗品ファイル文具他				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

領 収 証

おたけい子 様

¥1,430-

(うち、消費税等 130円)

但し、売上引No.: 7152 として上記正に領収いたしました

ダイソー イオンモール伊丹昆陽店
TEL: 082-420-0100

No. 00389046-3346-7152

2026年03月25日

[担当: 00389046]

<領収証明細>

2026年03月25日(水)19:31

引No.: 0003 責: 00389046

ドキュメントファイル (¥1,000外
(8200 × 5個)

ノンスティックコート文具 ¥100外

セーフティー携帯ミニハサ ¥100外

ネオジム マグネットフック ¥100外

小計 8点 ¥1,300

10%税抜対象額 ¥1,300

10%税額 ¥130

合計 ¥1,430

お預り合計 ¥5,500

お釣り ¥4,070

登録番号 T7240001022681



店: 008377 引No.: 7152

別紙様式 1

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	事務費	内 訳	事務消耗品費	支出番号	8
支 出 日	2026年2月13日		支出金額	7,918 円	
支 出 先	株式会社イトウゴフク				
支出内容	事務用消耗品座れる収納ボックス大小他				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

収 書
おだ たか子 様

No. 0301-00628382

金額 ¥7,918※

内税額 10% ¥719

但し
2026年02月13日 上記正に領収いたしました。
株式会社 イトウゴフク
伊丹移台店
兵庫県伊丹市中野北4-5-30
TEL:072-777-5298
登録番号:T6260001000496

PayPay ¥7,918

収 入
印 紙

お買上明細票

担当: 0301-00628381
2026/02/13 16:22
4852501810000 座れる収納ボックス大 ¥4,378
@2,189 2
値引 10.0% -¥436
4852501800001 座れる収納ボックス小 ¥4,392
@1,098 4
値引 10.0% -¥436
3100000200008 PB付「イトウゴフク」券 ¥20
@20 1

合計 ¥7,918
(内税 10% ¥719)
※消費税は別紙添付

別紙様式 1

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	広報費	内 訳	送料	支出番号	9
支 出 日	2026年2月12日		支出金額	2,230 円	
支 出 先	LAWSON				
支出内容	レターパックプラスとライト 市政報告原本は支出書No.15に添付				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

LAWSON

J R 宝塚駅前店

登録番号;T3140002060455

兵庫県宝塚市川面5-10-38

電話;0797-81-5767 店コード;171026

2026年 2月12日(木) 22:47

レジ;#1 54569

責;

【金額再訂正】

レターパックライト430 430非

レターパックプラス600

600 3個 1,800非

合 計 ￥2,230

(内消費税等 ￥0)

点 数 4個

上記正に領収いたしました

お預り合計 ￥10,050

お 金 ￥7,820

宝塚市議会議員

おだたか子

市政報告 第3号 織田貴子

プロフィール

1970年宝塚で生まれ育ち、売布小、宝中、大阪成蹊高校、宝塚大学卒。民間企業にて22年。市民活動から2023年宝塚市議会議員に。東京政経塾で3年学び衆議院議員秘書から第18代文科大臣秘書に。政治大学院で政策コンテスト優秀賞。竹中工務店本店にて子供食堂活動に社会貢献賞。**資格** マンション管理士、建築施工管理技士、個人情報保護士、博物館学芸員

無所属

ごあいさつ 議員3年目を経験して、皆様おひとりお一人におだたか子に付託戴いた貴重な1票の重みを実感しています。無所属の議員としての1票で議会の採決が変わる場面が何度かありました。

1期目の悲願は、山手地域の交通空白地に小型バスを通す成功事例をつくる事です。公共交通としての課題が多いですが、市民の脚を確保するために、早期実現を目指し頑張ります!!

残したかった高齢者バス・タクシー助成券は一旦廃止となりましたが、バスの乗車率アップのためにも復活を望みます。これからも地域に関する課題を質問し、早期実現、解決を目指します!!(ご意見ご要望受付中!)

1月議会 質問ダイジェスト



おだたか子
質問の録画を
ご覧になれます!



質問1. 住まいの安心 「宝塚市マンション管理計画認定制度」について

質問 市内マンション居住の方々にメリットのある認定制度でマンションの健康診断と言われるが、どんな制度でメリットは。

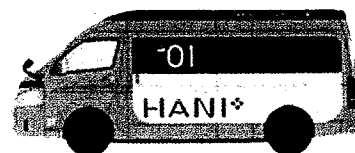
答弁 法に基づき、管理組合運営や長期修繕計画の作成など、マンションの管理状況が国や自治体が定める基準を満たす場合、管理組合の申請により、適正な管理計画を持つマンションとして市の認定を受ける事ができる制度。認定のメリットは、居住者がマンションの管理状況を把握でき、管理運営を見直す機会となる。適正管理されていると市場評価が高くなる事が期待される。大規模修繕工事時、住宅金融支援機構が実施する融資制度等の活用により金利優遇を受ける事ができ、更に認定を取得し一定要件を満たすものについては、固定資産税の減額対象となる場合がある。

意見 住まいの安心と価値を高める制度。防災等の観点からも適切な管理と維持が必要で、認知啓発を要望します。

おだたか子はマンション管理士です!ぜひご相談下さい!

質問2. 公共交通 生活に必要な路線バスについて

質問 売布・清荒神地域AIオンデマンド交通の実証実験をされたハニタスについて。乗車実績、新たに加えられた売布自由が丘・清荒神5丁目からの利用状況は。



答弁 実証実験の全乗降場所29箇所のうち、当該区域内5箇所の乗降場所における運行開始から3週間の利用実績は、延べ乗降者数480人、1日平均22.9人。これは、すべての利用者の約2割に相当します。

意見 この実証実験の結果が良ければ、市内の不便なところにバスが走る契機になる。是非、成功となる検討を。

質問4. 道路政策 市内渋滞緩和と活性化への道筋

質問 宝塚市の都市計画道路の整備率は? 他市と比べてどうか。私の所属する産業建設常任委員会で提示された数字では、本市はこれからの人口減少を加味してもまだ整備できる余地があるとの説明でした。

答弁 現在、本市は53.81kmの市道を都市計画道路として定めている。2024年3月末時点での整備済延長は40kmで、整備率は74.34%。この値は本市を含む阪神間7市1町のうちで最も低く、まちの基盤としての道路が不足している。防災上の観点でも、今後も都市計画道路の計画的な整備が必要であるため予算の確保に努め、鋭意整備を進めていく。

連絡先 織田貴子事務所 宝塚市清荒神5丁目76-7 E-mail: odaproject0@gmail.com TEL: 080-5080-3432

(配信中!!)



ホームページ



おだたか子チャンネル
YouTube



Facebook



Takako Oda



質問3. 歳入改善 西谷の過疎対策 移住と活性化



西谷の過疎対策がなぜ歳入改善になるか?は、西谷の自然、里山、トカイナカな都市近郊の立地など、憧れの移住に最適な環境の土地が持つ魅力を活性化することで新しい産業やカルチャーが生まれ、観光産業の発展による雇用で若者が仕事とともに移住し、人口減少に歯止めをかけ、全てが繋がって歳入改善になるという壮大な構想です。これは以前からもお願いしていて、市を挙げて市長部局一丸となって取り組まねばなりません。西谷は市の3分の2を占める面積で、市に残された最後の宝の地。資源・資産を生かし、本市の苦しい財政の歳入改善に、今こそ活用案を出す時です。過疎対策も待たなしの状況まで来ています。

行政と市民の協働で、出来ることから緩和政策をとり、大きなビジョンへと繋げたい。昨年の質問で、産業振興の観点から、企業版ふるさと納税で西谷の保全資金を稼ぎ、北部土地利用計画での地産地消レストランなど地域資源を生かした地域活性化の取組みや、運動レジャー施設やレクリエーション施設についても土地利用規制の弾力化対応が可能であるとの希望の持てる答弁を戴きました。そこで、

質問 西谷の市街化調整区域の弾力的運用のその後の実績は。

答弁 地域振興に係る店舗等として、2019年度に農家レストラン1件、その後、体験型農業施設1件の建築を許可した。2024年度は、農家レストラン1件を許可する予定です。

質問 移住促進の取組みの現状と課題は。

答弁 2021年度～西谷地区まちづくり協議会が中心となり、地域ごとのまちづくり計画の基本目標である移住の受け皿作りに取組み西谷自治会連合会と連携して空き家の所在や状況について調査、所有者などを対象として利活用に向けた空き家相談セミナーを開催。移住希望者に向けて移住情報サイト「宝塚にしたいな」スモッカ」での情報発信や、空き家視察ツアーを実施。移住相談も行っている。2件の移住が実現。希望が多い日本家屋や広い庭付の物件が見つかりにくいことが課題。



質問5. 高齢福祉 バス・タクシー運賃助成券について



以前、文化財団主催の寄席・コンサートの割引等にも利用できるようにと提案したがどうか。

事業検証にかかっても、その目的と必要性から継続となっているが、決算特別委員会・報告書の質疑では、複数枚同時に使えないかとのやりとりがあり「その他の意見も参考に検討を進めたい」と応答があった。2023年12月一般質問で提案した件も再度進捗を確認し、方向性を伺う。高齢者の健康増進、外出の機会増加と、公共交通のバスの廃止や減便を避ける為にも本券の利用促進が望ましい。

(と強く願い、質問しましたが2025年度廃止決定されました)

(2024年12月おだたか子一般質問より 抜粋)

本()歳入改善に有効な西谷の資源開発と、遺贈寄附は、市長部局一丸となって積極的に頑張って戴きたい。遺贈寄附とは、社会貢献活動に役立てる事を目的に個人の遺産を寄附する事。遺言によって特定遺贈で、一部でも寄附をした財産は相続税の控除対象に含まれます。国へ納めるべき税金を減らす事ができる。まだ高齢でも所得がある方は所得税の寄附金控除も受けられます。但し、どの団体に寄附をしても優遇措置が受けられるという事ではなくて、優遇が受けられるのは国や地方公共団体(=市)です。宝塚市に寄附をして戴ければ、本市の歳入の改善になります。そのための労力は惜しまずに、企業版ふるさと納税獲得の推進や、遺贈寄附窓口の開設西谷への投資へと経営判断で大きく舵を切って。これは市長を含め、経営サイドに是非お願いします。

令和7年度予算特別委員会(2025年3月骨格予算冒頭質疑)概要

(2024年12月おだたか子一般質問より 抜粋)

おだたか子は、議会が求めた財政非常事態宣言や過去最大規模となった骨格予算を踏まえ、今後の行財政運営の姿勢について質問しました。特に、新ごみ処理施設整備や物価高騰による影響を挙げ、多額の寄附があっても収支改善は不可欠であり、議会決議を重く受け止めた対応を求めました。これに対し市側は、決議は最大限尊重すべきものと認識し、宣言の発出や具体策について内部協議を重ねてきたと説明。寄附により財政シミュレーションは変化したが、依然厳しい状況であり、今後の具体的な改革方針は新市長のもとで判断するのが適切との考えを示し、引き続き、議会と信頼関係を保ちつつ、持続可能な財政運営に取り組む姿勢が示されました。この後、委員長の質疑で、一人残られる副市長より、骨格予算なので国や県からの要請や必要最低限を計上されている旨、説明答弁があり冒頭論点の応酬から款ごとの質疑へ。

予算特別委員会／おだたか子質問

■企業版ふるさと納税について

問「企業版ふるさと納税の本市実績は少額。

制度は令和9年度まで延長され、企業に最大9割の税額控除もある。委託先任せでなく、市として具体的な「プロジェクト」を掲げ、営業的に働きかけるべきでは。」と歳入確保の観点から企業版ふるさと納税の活用拡大や遺贈寄附の相談窓口整備、職員の対応マニュアル整備を求めた。また、北部地域・西谷の活用など具体的な事業企画を通じて寄附を呼び込む取組を進めるよう提案した。



(予算特別委員会にて)

■寄附受入体制・遺贈寄附について

意見「遺贈寄附などの相談が窓口にあった場合の対応フローやマニュアル整備を。

大口寄附もあり、受け皿が必要。寄附の意思にしっかり応えられる体制整備を。」

■市営火葬場の火葬炉更新

実際に火葬が1週間待ちになった市民相談を紹介し、火葬炉更新工事(10基中2基更新、約1.4億円)について確認。更新工事中も火葬体制を維持するよう要望し他市火葬時の費用差への配慮を提案。長時間待機のドライアイス追加によるCO₂事故問題を指摘し注意喚起とした

市営火葬場 火葬炉更新工事 **問**「今年度は10基中2基を更新ですが、残り8基の更新が遅れた場合の対応は。」

答 「火葬業務を継続しながら2炉ずつ更新し、令和11年度までに全炉改修を完了する計画です。」

意見「最期のお別れが円滑に行えるよう、計画的な更新を。やむを得ず他市利用となる場合の負担軽減も含め、今後の検討を求めます。」

■緊急輸送路(旧国道176号線)

おだ委員(要望)「旧176号の歩道未整備区間など、身近で危険な箇所の改善を。都市計画道路だけでなく、生活に直結する道路整備を進めていただきたい。」

■清荒神地区の避難ルート確保

意見(要望)「清荒神地区から御殿山方面への人道橋整備は、防災・高齢者対策・観光振興の面からも有効です。今後の道路施策の中で検討を求めます。」

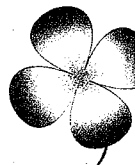


旧国道・歩道未整備地域

車多く歩道が無い通勤路

市内で現存する「人道橋」

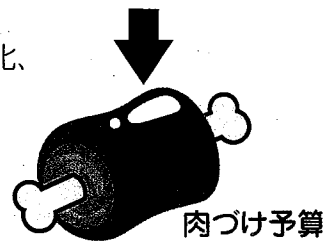
おだたか子は、市内商店街の活性化支援について質疑しました。商業活性化推進事業補助金の実績や、各商店街でのにぎわい創出事業への支援が行われている事を確認。また、店舗等魅力向上チャレンジ支援補助金では店舗リノベーションの申請が多く、ニーズが高いことから、今後も継続した支援を求めました。さらに、商店街・小売市場共同施設建設費助成事業について、アーケード改修や設備更新の支援内容を確認し、老朽化した施設の撤去や照明、防犯カメラ設置など複合的な整備を行う際には、関係部局が連携して相談対応するよう要望しました。



医療・福祉・介護ネットワーク構築について

- 問** ネットワーク構築を市の行財政改革にどうつなげるのか。
- 答** 健康センターや子ども発達支援センター、ステップハウスなどの施設連携を強化し、運営効率を高めることで市立病院の経営改善と行財政改革に繋げる。
- 要望** ステップハウス宝塚のリハビリ機能を生かした高齢者の健康増進と、民間施設との連携強化、ケアマネジャーの事務負担軽減など、介護現場の負担軽減についても改善を求めました。(ケアマネの仕事の効率化で、市に提出する書類を減らし、国が指定する作業も合法的な範囲で簡略化するような具体的な手段や戦略がありますか。とも質問)

骨格予算



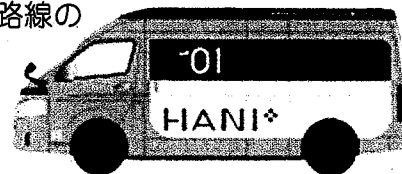
移動手段のニーズ把握について

- 問** 移動手段のニーズ調査の具体的な内容は。
- 答** 人口構造や社会情勢の変化を踏まえ、公共交通だけでなく多様な移動手段の可能性について市民ニーズを調査し、今後検討していく。
- 要望** 市立病院へのアクセスとして重要なバス路線の減便問題を踏まえ、公共交通の確保に繋がる検討を進めるよう求めた。
- 意見** 地域公共交通検証事業、委託料500万円もかけて報告書作成で終わらないように。実装の具現化を、ずっと待っている市民のためにぜひ実現をお願いしたい。「実証実験をしてから何の進展もアクションもない」と、実験に参加した市民、それから期待して待っている方々から、まだかまだかと我々議員もみな言われている。切望して待っている人たちがいる。買物難民！通院難民！免許返納難民は、もう待ったなし！です。
- AIオンデマンドで実証実験をし、実施に時間はかかるわ、値段は上がるわというのであれば、売布・清荒神地区は、売布・山手循環路線の延伸で、まず車両の小型化から運行事業者に諮っていただいて、早期に延伸をまず実現して戴きたい。実証実験で、2割強の人が清荒神の山手地区から乗り、ニーズが実際にある事が証明された。売布山手地域の既存路線は、流れをかけた乗車率の向上も含めて小型化と延伸で事業者に掛け合って戴きたいと切に思う。実証実験をした地域で、実証実験の手法とは違うけれども、公共交通の課題解決に向けた解決策を打つことはできるのか。

2026年3月末
検証結果です！

地域公共交通の検証について

- 問** AIオンデマンドバス実証実験の検証方法は。
- 答** 利用実績や地域アンケートを専門家の知見で分析し、他自治体の事例も参考に検証する。
- 要望** 実証実験の結果を十分に検証し、AIオンデマンド導入だけにこだわらず、既存バス路線の拡充や延伸も含め、市民の通院・買物などの移動手段確保に繋げるよう求めた。



土砂災害警戒区域の点検

- 問** 市有斜面地の点検はどのように実施しているのか。
- 答** 土砂災害特別警戒区域など53か所について、年1回の定期点検を実施している。
- 要望** 住宅地に近い斜面地も多いことから、危険箇所の継続的な点検と安全確保を求める。

障害福祉基金について

- 本予算委員会では財政難に対して3名の議員より、**障害福祉基金**(市民福祉金廃止の際、同額を基金として毎年積み立てるもの)の積立てを止めて財政調整基金に戻すという(補正予算の)修正案が提出され、委員会採決ではおだたか子の1票取り崩しにより委員長採決で否決相当、本会議でも、おだたか子の1票の取り崩し(棄権)により賛成少数となり否決されました。
- 障害福祉基金の用途は当事者との協議を進めて決めるべきと、おだたか子に付託戴いた1票で守りました!!

- 問** 障害福祉基金の活用について、今後も協議を進める考えはあるのか。
- 答** (市長) 当事者団体と市が覚悟を持って障がい福祉に同規模の財源を充てることを確認しており、今後も協議会などの場で基金の在り方や活用方法について議論を進めていきます。

- 意見** 障害福祉基金は過去の議論を経て積み立てられた経緯があることを踏まえ、使い道を明確にするため当事者団体との協議を行政が主体的に進めるべきと指摘した。また、基金の積立て停止を前提とするものではなく、当事者との対話を重ねながら今後の福祉施策に生かすべきとの考えを、おだたか子は示した。(6月予算委員会より抜粋)

2025年6月議会一般質問(7月3日)

質問1 防災 土砂災害警戒区域(Y・II0-区域)と土砂災害特別警戒区域(R・レッド区域)について

- 問** 河川と商業地域に近接している箇所数と県指定の土砂災害特別警戒区域(レッド区域)付近の台風・豪雨災害時の避難ルート確保について、R区域の市所有斜面地の近くに店舗付き住宅があるところは？
- 答** R区域河川と商業地域が近接しているのは1箇所。(住宅兼店舗が斜面と荒神川横にある清荒神参道付近)
- 意見** 直下に住宅がある所は特に注意深く点検し異常が見られた場合は速やかに措置願います。

質問2 障がい福祉 基幹相談支援センターについて(事業内容と障害福祉の理念)

- 答** 基幹相談支援センターは、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関。市としては、サービス利用の有無にかかわらず、障害のある人の困りごとに寄り添い、課題を解決していくための相談支援体制が重要であると考えており、これらに対応できるのは基幹相談支援センターと委託相談支援事業所です。



おだたか子
質問の録画を
ご覧いただけます



平成29年度に宝塚市市民福祉金条例を廃止し、代わりに宝塚市障害福祉基金条例を制定した中で、その基金を活用して整備の遅れていた相談支援事業所の増設や、地域の相談支援の拠点となる**基幹相談支援センター**が必要とされ、障がい者の地域生活支援拠点として整備された。自立支援協議会の運営などによる地域づくりとは？

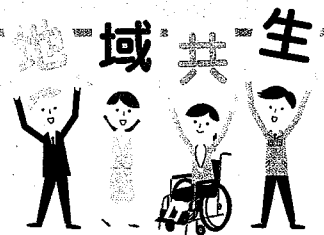
＜答弁＞障害者総合支援法の第89条の3に規定されている「自立支援協議会」で地域の実情に応じた体制の整備に係る協議を行います。

「市民福祉金の廃止の代わりに積み立ててきた基金の中から、重要な拠点**基幹相談支援センター**が必要な施策として設立され、主な業務として自立支援協議会も円滑に運営して地域の要望やお困りごとを解決し地域づくりをする。このような取組を通して地域の相談機関との連携強化、他機関との連携、協働の促進に取り組んでいる。基幹相談支援センターの業務や福祉の**おこ**はこれからの**おこ**。これからも当事者の皆さんとの対話や協議を進めていく。市は9年前からの約束を履行し、反故(ほご)になどできない。条例化されていることの履行は業務上必要。目的と意味のある事業。協議をせずに決まる事はないので、しっかりと説明責任を果たし、当事者抜きでの改革はありえない。」
(おだたか子質疑中演説)

問 障がい福祉施策の理念については？

答 「すべての人が自分らしく暮らせる共生社会へ」が基本的理念。

意見 障害のある人も無い人も助け合って、分断の世の中を創ってはいけない。公共の福祉とはなんたるかを今一度考えて戴き、民間事業者では賃金も低く業務も過密で手が回らず出来ないところ、採算はとれないけどやるべきところ、**公共の、公けの福祉**、行政しかできない福祉をやる、実現するための事業をこれからも続けて、改革すべきところはやって、対話をしてしっかりと協議を進めていって戴きたい。十年来創ってきた信頼を、会話の場をなくさないように守って、ちゃんと機能させて下さい。議会議員も説明責任が伴うので、行政もせっかく築き上げてきた信頼を壊すのではなく、今後、こういった重要なところに予算とか基金をあててより良い社会をつくる、分断せず、皆がバリアフリーになることを目指すべきだと私は思います。障害福祉基金などの使い道もこういった所に取り崩すべきお金なのでは。そのための潤沢な基金、積立てなので目的のある必要なお金です



「今後も市民のための政策実現、全ての人にバリアフリーな事業計画をお願い申し上げ、**おだたか子**の質問を終わります。

2025年9月議会一般質問

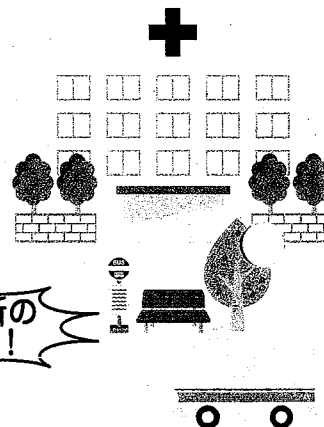


おだたか子
質問の録画を
ご覧になれます！

公共交通の実証実験では、市立病院へのアクセス需要が一定確認されたが、収支面などから本格導入は課題があり、現在、専門機関が検証中。地域の意見を踏まえ、交通空白地解消や既存路線の維持・延伸も含めた持続可能な交通の在り方を検討する。

また、市立病院建替えは寄附基金を活用し2031年度開院を目標に基本計画を策定中。

「**たからづかモデル**」による医療・福祉連携や既存棟活用も検討し、市民の声を反映した病院整備を求めた。



2026年3月末、市内3か所の
交通実験検証結果がでます！

問 公共交通の実証実験の結果と今後の対応は。

答 市立病院への一定の需要は確認されたが収支面に課題があり、現在専門機関が分析中。結果を踏まえ地域や事業者と協議し、持続可能な公共交通の方向性を検討する。

「**病院への交通アクセス**の課題も、2022年にバスの便数が削減され、市立病院を選んでくれた市民が大変困っている。新病院の魅力をアップするためにも、各地域からのアクセスを改善し、売布循環線の市立病院行きも無くさずに、延伸で乗車率を上げていく**創意工夫**をして市民の足を維持して戴きたい。」(9月一般質問中 おだたか子発言) (青の湖にて)

問 新しい市立病院の建設では、患者が安心できる空間づくりなど建築面の工夫は検討されるのか。

答 基本設計の中で動線や待合環境、受付システムなどを含め検討し、省エネルギーやライフサイクルコストの視点も踏まえながら、患者に配慮した施設整備を進めていく。



全国市議会議長会 同行視察

無所属おだたか子の1票(皆様おひとりお一人から戴いた貴重な1票)で守った障がい福祉基金は、当事者団体との協議会を経て、売布東の町の福祉の拠点(全ての人にバリアフリーな施設)創りに向け、一旦、新たな積立てが凍結されましたが、14億円を確保し、福祉の拠点整備の検討がされています。施政方針で、新市長が語られた「すべての人が集い交流することができる、多様性を認め合う場」の整備に期待しましょう！ **戴田 貴子**

12月質問と次予算委(無所属でも入れて戴けるようになりました！)は第4号にて。どうぞ期待！

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	広報費	内 訳	送料	支出番号	10
支 出 日	2025年10月15日		支出金額	1,100 円	
支 出 先	日本郵便株式会社				
支出内容	切手(110円10枚) 市政報告原本は支出書No.15に添付				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

領収書

おだ たか子 様

[販売]
日韓国交正常化60周年・切手
1,100円 1枚 ¥1,100

小 計 ¥1,100

課税計(10%) ¥0
(内消費税等(10%) ¥0)
非課税計 ¥1,100

合 計 ¥1,100
お預り金額 ¥1,100

〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
登録番号 T1010001112577
取扱日時: 2025年10月15日 12:26
発行No. 251015J6969 端N81箱01
連絡先: 宝塚売布郵便局
TEL: 0797-84-4346

宝塚市議会議員

おだたか子

市政報告 第3号 織田 貴子

プロフィール

1970年宝塚で生まれ育ち、売布小、宝中、大阪成蹊高校、宝塚大学卒。民間企業にて22年。市民活動から2023年宝塚市議会議員に。東京政経塾で3年学び衆議院議員秘書から第18代文科大臣秘書に。政治大学院で政策コンテスト優秀賞。竹中工務店本店にて子供食堂活動に社会貢献賞。**資格** マンション管理士、建築施工管理技士、個人情報保護士、博物館学芸員

無所属

ごあいさつ 議員3年目を経験して、皆様おひとりお一人におだたか子に付託戴いた貴重な1票の重みを実感しています。無所属の議員としての1票で議会の採決が変わる場面が何度かありました。

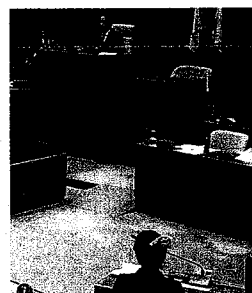
1期目の悲願は、山手地域の交通空白地に小型バスを通す成功事例をつくる事です。公共交通としての課題が多いですが、市民の脚を確保するために、早期実現を目指し頑張ります!!

残したかった高齢者バス・タクシー助成券は一旦廃止となりましたが、バスの乗車率アップのためにも復活を望みます。これからも地域に関する課題を質問し、早期実現、解決を目指します!!(ご意見ご要望受付中!)

1月議会 質問ダイジェスト



おだたか子
質問の録画を
ご覧になれます!



質問1. 住まいの安心 「宝塚市マンション管理計画認定制度」について

質問 市内マンション居住の方々にメリットのある認定制度でマンションの健康診断と言われるが、どんな制度でメリットは。

答弁 法に基づき、管理組合運営や長期修繕計画の作成など、マンションの管理状況が国や自治体が定める基準を満たす場合、管理組合の申請により、適正な管理計画を持つマンションとして市の認定を受ける事ができる制度。認定のメリットは、居住者がマンションの管理状況を把握でき、管理運営を見直す機会となる。適正管理されていると市場評価が高くなる事が期待される。大規模修繕工事時、住宅金融支援機構が実施する融資制度等の活用により金利優遇を受ける事ができ、更に認定を取得し一定要件を満たすものについては、固定資産税の減額対象となる場合がある。

意見 住まいの安心と価値を高める制度。防災等の観点からも適切な管理と維持が必要で、認知啓発を要望します。

おだたか子はマンション管理士です!ぜひご相談下さい!

質問2. 公共交通 生活に必要な路線バスについて

質問 売布・清荒神地域AIオンデマンド交通の実証実験をされたハニタスについて。乗車実績、新たに加えられた売布自由が丘・清荒神5丁目からの利用状況は。



答弁 実証実験の全乗降場所29箇所のうち、当該区域内5箇所の乗降場所における運行開始から3週間の利用実績は、延べ乗降者数480人、1日平均22.9人。これは、すべての利用者の約2割に相当します。

意見 この実証実験の結果が良ければ、市内の不便なところにバスが走る契機になる。是非、成功となる検討を。

質問4. 道路政策 市内渋滞緩和と活性化への道筋

質問 宝塚市の都市計画道路の整備率は? 他市と比べてどうか。私の所属する産業建設常任委員会で提示された数字では、本市はこれからの人口減少を加味してもまだ整備できる余地があるとの説明でした。

答弁 現在、本市は53.81kmの市道を都市計画道路として定めている。2024年3月末時点での整備済延長は40kmで、整備率は74.34%。この値は本市を含む阪神間7市1町のうちで最も低く、まちの基盤としての道路が不足している。防災上の観点でも、今後も都市計画道路の計画的な整備が必要であるため予算の確保に努め、鋭意整備を進めていく。

連絡先 織田貴子事務所 宝塚市清荒神5丁目76-7 E-mail: odaproject0@gmail.com TEL: 080-5080-3432

(配信中!!)

@hachika



ホームページ



おだたか子チャンネル
YouTube



Facebook

Takako Oda



質問3. 歳入改善 西谷の過疎対策 移住と活性化



西谷の過疎対策がなぜ歳入改善になるか?は、西谷の自然、里山、トカイナカな都市近郊の立地など、憧れの移住に最適な環境の土地が持つ魅力を活性化することで新しい産業やカルチャーが生まれ、観光産業の発展による雇用で若者が仕事とともに移住し、人口減少に歯止めをかけ、全てが繋がって歳入改善になるという壮大な構想です。これは以前からもお願いしていて、市を挙げて市長部局一丸となって取り組まねばなりません。西谷は市の3分の2を占める面積で、市に残された最後の宝の地。資源・資産を生かし、本市の苦しい財政の歳入改善に、今こそ活用案を出す時です。過疎対策も待たなしの状況まで来ています。

行政と市民の協働で、出来ることから緩和政策をとり、大きなビジョンへと繋げたい。昨年の質問で、産業振興の観点から、企業版ふるさと納税で西谷の保全資金を稼ぎ、北部土地利用計画での地産地消レストランなど地域資源を生かした地域活性化の取組みや、運動レジャー施設やレクリエーション施設についても土地利用規制の弾力化対応が可能であるとの希望の持てる答弁を戴きました。そこで、

質問 西谷の市街化調整区域の弾力的運用のその後の実績は。

答弁 地域振興に係る店舗等として、2019年度に農家レストラン1件、その後、体験型農業施設1件の建築を許可した。2024年度は、農家レストラン1件を許可する予定です。

質問 移住促進の取組みの現状と課題は。

答弁 2021年度～西谷地区まちづくり協議会が中心となり、地域ごとのまちづくり計画の基本目標である移住の受け皿作りに取組み西谷自治会連合会と連携して空き家の所在や状況について調査、所有者などを対象として利活用に向けた空き家相談セミナーを開催。移住希望者に向けて移住情報サイト「宝塚にしたいS.M.D.O.C.A.スモッカ」での情報発信や、空き家視察ツアーを実施。移住相談も行っている。2件の移住が実現。希望が多い日本家屋や広い庭付の物件が見つかりにくいことが課題。



質問5. 高齢福祉 バス・タクシー運賃助成券について



以前、文化財団主催の寄席・コンサートの割引等にも利用できるようにと提案したがどうか。

事業検証にかかっても、その目的と必要性から継続となっているが、決算特別委員会・報告書の質疑では、複数枚同時に使えないかとのやりとりがあり「その他の意見も参考に検討を進めたい」と応答があった。2023年12月一般質問で提案した件も再度進捗を確認し、方向性を伺う。高齢者の健康増進、外出の機会増加と、公共交通のバスの廃止や減便を避ける為にも本券の利用促進が望ましい。

(と強く願い、質問しましたが2025年度廃止決定されました)

(2024年12月おだたか子一般質問より 抜粋)

本()歳入改善に有効な西谷の資源開発と、遺贈寄附は、市長部局一丸となって積極的に頑張る戴きたい。遺贈寄附とは、社会貢献活動に役立てる事を目的に個人の遺産を寄附する事。遺言によって特定遺贈で、一部でも寄附をした財産は相続税の控除対象に含まれます。国へ納めるべき税金を減らす事ができる。まだ高齢でも所得がある方は所得税の寄附金控除も受けられます。但し、どの団体に寄附をしても優遇措置が受けられるという事ではなくて、優遇が受けられるのは国や地方公共団体(=市)です。宝塚市に寄附をして戴ければ、本市の歳入の改善になります。そのための労力は惜しまずに、企業版ふるさと納税獲得の推進や、遺贈寄附窓口の開設西谷への投資へと経営判断で大きく舵を切って。これは市長を含め、経営サイドに是非お願いします。

令和7年度予算特別委員会(2025年3月骨格予算冒頭質疑)概要

(2024年12月おだたか子一般質問より 抜粋)

おだたか子は、議会が求めた財政非常事態宣言や過去最大規模となった骨格予算を踏まえ、今後の行財政運営の姿勢について質問しました。特に、新ごみ処理施設整備や物価高騰による影響を挙げ、多額の寄附があっても収支改善は不可欠であり、議会決議を重く受け止めた対応を求めました。これに対し市側は、決議は最大限尊重すべきものと認識し、宣言の発出や具体策について内部協議を重ねてきたと説明。寄附により財政シミュレーションは変化したが、依然厳しい状況であり、今後の具体的な改革方針は新市長のもとで判断するのが適切との考えを示し、引き続き、議会と信頼関係を保ちつつ、持続可能な財政運営に取り組む姿勢が示されました。この後委員長の質疑で、一人残られる副市長より、骨格予算なので国や県からの要請や必要最低限を計上されている旨、説明答弁があり冒頭論点の応酬から款ごとの質疑へ。

予算特別委員会／おだたか子質問

■企業版ふるさと納税について

「企業版ふるさと納税の本市実績は少額。

制度は令和9年度まで延長され、企業に最大9割の税額控除もある。委託先任せでなく、市として具体的なプロジェクトを掲げ、営業的に働きかけるべきでは。」と歳入確保の観点から企業版ふるさと納税の活用拡大や遺贈寄附の相談窓口整備、職員の対応マニュアル整備を求めた。また、北部地域・西谷の活用など具体的な事業企画を通じて寄附を呼び込む取組を進めるよう提案した。



(予算特別委員会にて)

■寄附受入体制・遺贈寄附について

意見 「遺贈寄附などの相談が窓口にあった場合の対応フローやマニュアル整備を。大口寄附もあり、受け皿が必要。寄附の意思にしっかり応えられる体制整備を。」

■市営火葬場の火葬炉更新

実際に火葬が1週間待ちになった市民相談を紹介し、火葬炉更新工事(10基中2基更新、約1.4億円)について確認。更新工事中も火葬体制を維持するよう要望し他市火葬時の費用差への配慮を提案。長時間待機のドライアイス追加によるCO₂事故問題を指摘し注意喚起した

市営火葬場 火葬炉更新工事 「今年度は10基中2基を更新ですが、残り8基の更新が遅れた場合の対応は。」

答 「火葬業務を継続しながら2炉ずつ更新し、令和11年度までに全炉改修を完了する計画です。」

意見 「最期のお別れが円滑に行えるよう、計画的な更新を。やむを得ず他市利用となる場合の負担軽減も含め、今後の検討を求めます。」

■緊急輸送路(旧国道176号線)

おた委員(要望) 「旧176号の歩道未整備区間など、身近で危険な箇所の改善を。都市計画道路だけでなく、生活に直結する道路整備を進めていただきたい。」

■清荒神地区の避難ルート確保

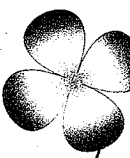
意見(要望) 「清荒神地区から御殿山方面への人道橋整備は、防災・高齢者対策・観光振興の面からも有効です。今後の道路施策の中で検討を求めます。」



旧国道・歩道未整備地域

車多く歩道が無い通勤路 市内で現存する「人道橋」

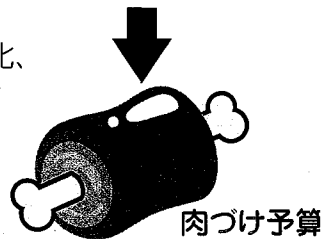
おだたか子は、市内商店街の活性化支援について質疑しました。商業活性化推進事業補助金の実績や、各商店街でのにぎわい創出事業への支援が行われている事を確認。また、店舗等魅力向上チャレンジ支援補助金では店舗リノベーションの申請が多く、ニーズが高いことから、今後も継続した支援を求めました。さらに、商店街・小売市場共同施設建設費助成事業について、アーケード改修や設備更新の支援内容を確認し、老朽化した施設の撤去や照明、防犯カメラ設置など複合的な整備を行う際には、関係部局が連携して相談対応するよう要望しました。



医療・福祉・介護ネットワーク構築について

- 問** ネットワーク構築を市の行財政改革にどうつなげるのか。
- 答** 健康センターや子ども発達支援センター、ステップハウスなどの施設連携を強化し、運営効率を高めることで市立病院の経営改善と行財政改革に繋げる。
- 要望** ステップハウス宝塚のリハビリ機能を生かした高齢者の健康増進と、民間施設との連携強化、ケアマネジャーの事務負担軽減など、介護現場の負担軽減についても改善を求めました。(ケアマネの仕事の効率化で、市に提出する書類を減らし、国が指定する作業も合法的な範囲で簡略化するような具体的な手段や戦略がありますか。とも質問)

骨格予算



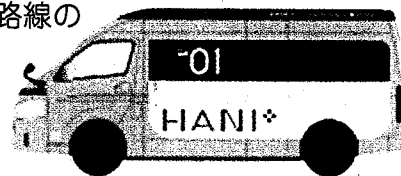
移動手段のニーズ把握について

- 問** 移動手段のニーズ調査の具体的な内容は。
- 答** 人口構造や社会情勢の変化を踏まえ、公共交通だけでなく多様な移動手段の可能性について市民ニーズを調査し、今後検討していく。
- 要望** 市立病院へのアクセスとして重要なバス路線の減便問題を踏まえ、公共交通の確保に繋がる検討を進めるよう求めた。
- 意見** 地域公共交通検証事業、委託料500万円もかけて報告書作成で終わらないように。実装の具現化を、ずっと待っている市民のためにぜひ実現をお願いしたい。「実証実験をしてから何の進展もアクションもない」と、実験に参加した市民、それから期待して待っている方々から、まだかまだかと我々議員もみな言われている。切望して待っている人たちがいる。買物難民！通院難民！免許返納難民は、もう待ったなし！です。
- AIオンデマンドで実証実験をし、実施に時間はかかるわ、値段は上がるわというのであれば、売布・清荒神地区は、売布・山手循環路線の延伸で、まず車両の小型化から運行事業者に諮っていただいて、早期に延伸をまず実現して戴きたい。実証実験で、2割強の人が清荒神の山手地区から乗り、ニーズが実際にある事が証明された。売布山手地域の既存路線は、流をかけた乗車率の向上も含めて小型化と延伸で事業者に掛け合っ戴きたいと切に思う。実証実験をした地域で、実証実験の手法とは違うけれども、公共交通の課題解決に向けた解決策を打つことはできるのか。

2026年3月末
検証結果です！

地域公共交通の検証について

- 問** AIオンデマンドバス実証実験の検証方法は。
- 答** 利用実績や地域アンケートを専門家の知見で分析し、他自治体の事例も参考に検証する。
- 要望** 実証実験の結果を十分に検証し、AIオンデマンド導入だけにこだわらず、既存バス路線の拡充や延伸も含め、市民の通院・買物などの移動手段確保に繋げるよう求めた。



土砂災害警戒区域の点検

- 問** 市有斜面地の点検はどのように実施しているのか。
- 答** 土砂災害特別警戒区域など53か所について、年1回の定期点検を実施している。
- 要望** 住宅地に近い斜面地も多いことから、危険箇所の継続的な点検と安全確保を求める。

障害福祉基金について

- 本予算委員会では財政難に対して3名の議員より、**障害福祉基金**(市民福祉金廃止の際、同額を基金として毎年積み立てるもの)の積立てを止めて財政調整基金に戻すという(補正予算の)修正案が提出され、委員会採決ではお(こ)か子の1票取り崩しにより委員長採決で否決相当、本会議でも、おだたか子の1票の取り崩し(棄権)により賛成少数となり否決されました。
- 障害福祉基金の用途は当事者との協議を進めて決めるべきと、おだたか子に付託戴いた1票で守りました!!♡

- 問** 障害福祉基金の活用について、今後も協議を進める考えはあるのか。
- 答** (市長) 当事者団体と市が覚悟を持って障がい福祉に同規模の財源を充てることを確認しており、今後も協議会などの場で基金の在り方や活用方法について議論を進めていきます。

- 意見** 障害福祉基金は過去の議論を経て積み立てられた経緯があることを踏まえ、使い道を明確にするため当事者団体との協議を行政が主体的に進めるべきと指摘した。また、基金の積立て停止を前提とするものではなく、当事者との対話を重ねながら今後の福祉施策に生かすべきとの考えを、おだたか子は示した。(6月予算委員会より抜粋)

2025年6月議会一般質問(7月3日)

質問1 防災 土砂災害警戒区域(Y・II0-区域)と土砂災害特別警戒区域(R・レッド区域)について

- 問** 河川と商業地域に近接している箇所数と県指定の土砂災害特別警戒区域(レッド区域)付近の台風・豪雨災害時の避難ルート確保について、R区域の市所有斜面地の近くに店舗付き住宅があるところは？
- 答** R区域河川と商業地域が近接しているのは1箇所。(住宅兼店舗が斜面と荒神川横にある清荒神参道付近)
- 意見** 直下に住宅がある所は特に注意深く点検し異常が見られた場合は速やかに措置願います。

質問2 基幹相談支援センターについて(事業内容と障害福祉の理念)

- 答** 基幹相談支援センターは、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関。市としては、サービス利用の有無にかかわらず、障害のある人の困りごとに寄り添い、課題を解決していくための相談支援体制が重要であると考えており、これらに対応できるのは基幹相談支援センターと委託相談支援事業所です。



おだたか子
質問の録画を
ご覧いただけます



平成29年度に宝塚市市民福祉金条例を廃止し、代わりに宝塚市障害福祉基金条例を制定した中で、その基金を活用して整備の遅れていた相談支援事業所の増設や、地域の相談支援の拠点となる基幹相談支援センターが必要とされ、障がい者さんの地域生活支援拠点として整備された。自立支援協議会の運営などによる地域づくりとは？

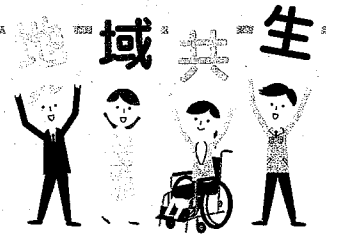
＜答弁＞障害者総合支援法の第89条の3に規定されている「自立支援協議会」で地域の実情に応じた体制の整備に係る協議を行います。

「市民福祉金の廃止の代わりに積み立ててきた基金の中から、重要な拠点基幹相談支援センターが必要な施策として設立され、主な業務として自立支援協議会も円滑に運営して地域の要望やお困りごとを解決し地域づくりをする。このような取組を通して地域の相談機関との連携強化、他機関との連携、協働の促進に取り組んでいる。基幹相談支援センターの業務や福祉のことはこれからの協議で決まる。これからも当事者の皆さんとの対話や協議を進めていく。市は9年前からの約束を履行し、反故(ほご)になどできない。条例化されていることの履行は業務上必要。目的と意味のある事業。協議をせずに決まる事はないので、しっかりと説明責任を果たし、当事者抜きでの改革はありえない。」
(おだたか子質疑中演説)

問 障がい福祉施策の理念については？

答 「すべての人が自分らしく暮らせる共生社会へ」が基本的理念。

意見 障害のある人も無い人も助け合って、分断の世の中を創ってはいけない。公共の福祉とはなんたるかを今一度考えて戴き、民間事業者では賃金も低く業務も過密で手が回らず出来ないところ、採算はとれないけどやるべきところ、公共の、公けの福祉、行政しかできない福祉をやる、実現するための事業をこれからも続けて、改革すべきところはやって、対話をしてしっかりと協議を進めていって戴きたい。十年来創ってきた信頼を、会話の場をなくさないように守って、ちゃんと機能させて下さい。議会議員も説明責任が伴うので、行政もせっかく築き上げてきた信頼を壊すのではなく、今後、こういった重要なところに予算とか基金をあててより良い社会をつくる、分断せず、皆がバリアフリーになることを目指すべきだと私は思います。障害福祉基金などの使い道もこういった所に取り崩すべきお金なのでは。そのための潤沢な基金、積立てなので目的のある必要なお金です。



「今後も市民のための政策実現、全ての人にバリアフリーな事業計画をお願い申し上げ、おだたか子の質問を終わります。」

2025年9月議会一般質問

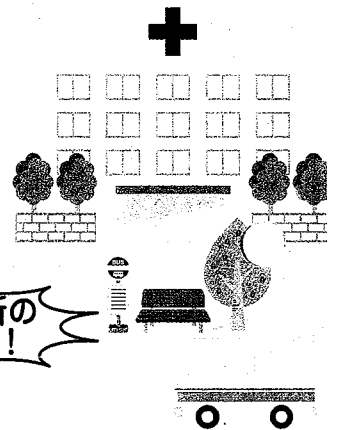


おだたか子
質問の録画を
ご覧になれます！

公共交通の実証実験では、市立病院へのアクセス需要が一定確認されたが、収支面などから本格導入は課題があり、現在、専門機関が検証中。地域の意見を踏まえ、交通空白地解消や既存路線の維持・延伸も含めた持続可能な交通の在り方を検討する。

また、市立病院建替えは寄附基金を活用し2031年度開院を目標に基本計画を策定中。

「たぐらづかモデル」による医療・福祉連携や既存棟活用も検討し、市民の声を反映した病院整備を求めた。



2026年3月末、市内3か所の
交通実験検証結果がでます！

問 公共交通の実証実験の結果と今後の対応は。

答 市立病院への一定の需要は確認されたが収支面に課題があり、現在専門機関が分析中。結果を踏まえ地域や事業者と協議し、持続可能な公共交通の方向性を検討する。

「病院への交通アクセスの課題も、2022年にバスの便数が削減され、市立病院を選んできた市民が大変困っている。新病院の魅力をアップするためにも、各地域からのアクセスを改善し、売布循環線の市立病院行きも無くさずに、延伸で乗車率を上げていく創意工夫をして市民の足を維持して戴きたい。」(9月一般質問中 おだたか子発言)

(青の湖にて)

問 新しい市立病院の建設では、患者が安心できる空間づくりなど建築面の工夫は検討されるのか。

答 基本設計の中で動線や待合環境、受付システムなどを含め検討し、省エネルギーやライフサイクルコストの視点も踏まえながら、患者に配慮した施設整備を進めていく。



全国市議会議長会 同行視察

無所属おだたか子の1票(皆様おひとりお一人から戴いた貴重な1票)で守った障がい福祉基金は、当事者団体との協議会を経て、売布東の町の福祉の拠点(全ての人にバリアフリーな施設)創りに向け、一旦、新たな積立てが凍結されましたが、14億円を確保し、福祉の拠点整備の検討がされています。施政方針で、新市長が語られた「すべての人が集い交流することができる、多様性を認め合う場」の整備に期待しましょう！ 戴田 貴子

12月質問と次予算委(無所属でも入れて戴けるようになりました!)は第4号にて。どうぞ期待!

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	広報費	内 訳	送料	支出番号	11
支 出 日	2026年2月16日		支出金額	430 円	
支 出 先	日本郵便株式会社				
支出内容	レターパッカライト 市政報告原本は支出書No.15に添付				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

領収書

おだ たか子 様

[販売]
レターパッカライト (430円)
430円 1枚 ¥430

小 計 ¥430

課税計(10%) ¥0
(内消費税等(10%) ¥0
非課税計 ¥430

合 計 ¥430
お預り金額 ¥430



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
登録番号 T1010001112577
取扱日時: 2026年 2月16日 15:33
発行No. 260216J9185 端N25箱04
連絡先: 宝塚郵便局
TEL: 0570-071-386

宝塚市議会議員

おだたか子

市政報告 第3号 織田 貴子

プロフィール

1970年宝塚で生まれ育ち、売布小、宝中、大阪成蹊高校、宝塚大学卒。民間企業にて22年。市民活動から2023年宝塚市議会議員に。東京政経塾で3年学び衆議院議員秘書から第18代文科大臣秘書に。政治大学院で政策コンテスト優秀賞。竹中工務店本店にて子供食堂活動に社会貢献賞。**資格** マンション管理士、建築施工管理技士、個人情報保護士、博物館学芸員

無所属

ごあいさつ 議員3年目を経験して、皆様おひとりお一人におだたか子に付託戴いた貴重な1票の重みを実感しています。無所属の議員としての1票で議会の採決が変わる場面が何度かありました。

1期目の悲願は、山手地域の交通空白地に小型バスを通す成功事例をつくる事です。公共交通としての課題が多いですが、市民の脚を確保するために、早期実現を目指し頑張ります!!

残したかった高齢者バス・タクシー助成券は一旦廃止となりましたが、バスの乗車率アップのためにも復活を望みます。これからも地域に関する課題を質問し、早期実現、解決を目指します!!(ご意見ご要望受付中!)

2月議会 質問ダイジェスト



おだたか子
質問の録画を
ご覧になれます!



質問1. 住まいの安心 「宝塚市マンション管理計画認定制度」について

質問 市内マンション居住の方々にメリットのある認定制度でマンションの健康診断と言われるが、どんな制度でメリットは。

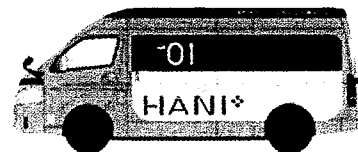
答弁 法に基づき、管理組合運営や長期修繕計画の作成など、マンションの管理状況が国や自治体が定める基準を満たす場合、管理組合の申請により、適正な管理計画を持つマンションとして市の認定を受ける事ができる制度。認定のメリットは、居住者がマンションの管理状況を把握でき、管理運営を見直す機会となる。適正管理されていると市場評価が高くなる事が期待される。大規模修繕工事時、住宅金融支援機構が実施する融資制度等の活用により金利優遇を受ける事ができ、更に認定を取得し一定要件を満たすものについては、固定資産税の減額対象となる場合がある。

意見 住まいの安心と価値を高める制度。防災等の観点からも適切な管理と維持が必要で、認知啓発を要望します。

おだたか子はマンション管理士です!ぜひご相談下さい!

質問2. 公共交通 生活に必要な路線バスについて

質問 売布・清荒神地域AIオンデマンド交通の実証実験をされたハニタスについて。乗車実績、新たに加えられた売布自由が丘・清荒神5丁目からの利用状況は。



答弁 実証実験の全乗降場所29箇所のうち、当該区域内5箇所の乗降場所における運行開始から3週間の利用実績は、延べ乗降者数480人、1日平均22.9人。これは、すべての利用者の約2割に相当します。

意見 この実証実験の結果が良ければ、市内の不便なところにバスが走る契機になる。是非、成功となる検討を。

質問4. 道路政策 市内渋滞緩和と活性化への道筋

質問 宝塚市の都市計画道路の整備率は? 他市と比べてどうか。私の所属する産業建設常任委員会で提示された数字では、本市はこれからの人口減少を加味してもまだ整備できる余地があるとの説明でした。

答弁 現在、本市は53.81kmの市道を都市計画道路として定めている。2024年3月末時点での整備済延長は40kmで、整備率は74.34%。この値は本市を含む阪神間7市1町のうちで最も低く、まちの基盤としての道路が不足している。防災上の観点でも、今後も都市計画道路の計画的な整備が必要であるため予算の確保に努め、鋭意整備を進めていく。

連絡先 織田貴子事務所 宝塚市清荒神5丁目76-7 E-mail: odaproject0@gmail.com TEL: 080-5080-3432

((配信中!))

Facebook

ホームページ



おだたか子チャンネル
YouTube



Facebook

Takako Oda 検索



質問3. 歳入改善 西谷の過疎対策 移住と活性化



西谷の過疎対策がなぜ歳入改善になるか?は、西谷の自然、里山、トカイナかな都市近郊の立地など、憧れの移住に最適な環境の土地が持つ魅力を活性化することで新しい産業やカルチャーが生まれ、観光産業の発展による雇用で若者が仕事とともに移住し、人口減少に歯止めをかけ、全てが繋がって歳入改善になるという壮大な構想です。これは以前からもお願いしていて、市を挙げて市長部局一丸となって取り組まねばなりません。西谷は市の3分の2を占める面積で、市に残された最後の宝の地。資源・資産を生かし、本市の苦しい財政の歳入改善に、今こそ活用案を出す時です。過疎対策も待たなしの状況まで来ています。

行政と市民の協働で、出来ることから緩和政策をとり、大きなビジョンへと繋げたい。昨年の質問で、産業振興の観点から、企業版ふるさと納税で西谷の保全資金を稼ぎ、北部土地利用計画での地産地消レストランなど地域資源を生かした地域活性化の取組みや、運動レジャー施設やレクリエーション施設についても土地利用規制の弾力化対応が可能であるとの希望の持てる答弁を戴きました。そこで、

質問 西谷の市街化調整区域の弾力的運用のその後の実績は。

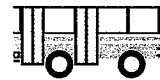
答弁 地域振興に係る店舗等として、2019年度に農家レストラン1件、その後、体験型農業施設1件の建築を許可した。2024年度は、農家レストラン1件を許可する予定です。

質問 移住促進の取組みの現状と課題は。

答弁 2021年度～西谷地区まちづくり協議会が中心となり、地域ごとのまちづくり計画の基本目標である移住の受け皿作りに取り組み西谷自治会連合会と連携して空き家の所在や状況について調査、所有者などを対象として利活用に向けた空き家相談セミナーを開催。移住希望者に向けて移住情報サイト「宝塚にしたい」スモッカ」での情報発信や、空き家視察ツアーを実施。移住相談も行っている。2件の移住が実現。希望が多い日本家屋や広い庭付の物件が見つかりにくいことが課題。



質問5. 高齢福祉 バス・タクシー運賃助成券について



以前、文化財団主催の寄席・コンサートの割引等にも利用できるようにと提案したがどうか。

事業検証にかかっても、その目的と必要性から継続となっているが、決算特別委員会・報告書の質疑では、複数枚同時に使えないかとのやりとりがあり「その他の意見も参考に検討を進めたい」と応答があった。2023年12月一般質問で提案した件も再度進捗を確認し、方向性を伺う。高齢者の健康増進、外出の機会増加と、公共交通のバスの廃止や減便を避ける為にも本券の利用促進が望ましい。

(と強く願い、質問しましたが2025年度廃止決定されました)

(2024年12月おだたか子一般質問より抜粋)

本()歳入改善に有効な西谷の資源開発と、遺贈寄附は、市長部局一丸となって積極的に頑張って戴きたい。遺贈寄附とは、社会貢献活動に役立てる事を目的に個人の遺産を寄附する事。遺言によって特定遺贈で、一部でも寄附をした財産は相続税の控除対象に含まれます。国へ納めるべき税金を減らす事ができる。まだ高齢でも所得がある方は所得税の寄附金控除も受けられます。但し、どの団体に寄附をしても優遇措置が受けられるという事ではなくて、優遇が受けられるのは国や地方公共団体(=市)です。宝塚市に寄附をして戴ければ、本市の歳入の改善になります。そのための労力は惜しまずに、企業版ふるさと納税獲得の推進や、遺贈寄附窓口の開設西谷への投資へと経営判断で大きく舵を切って。これは市長を含め、経営サイドに是非お願いします。

令和7年度予算特別委員会(2025年3月骨格予算冒頭質疑)概要

(2024年12月おだたか子一般質問より抜粋)

おだたか子は、議会が求めた財政非常事態宣言や過去最大規模となった骨格予算を踏まえ、今後の行財政運営の姿勢について質問しました。特に、新ごみ処理施設整備や物価高騰による影響を挙げ、多額の寄附があっても収支改善は不可欠であり、議会決議を重く受け止めた対応を求めました。これに対し市側は、決議は最大限尊重すべきものと認識し、宣言の発出や具体策について内部協議を重ねてきたと説明。寄附により財政シミュレーションは変化したが、依然厳しい状況であり、今後の具体的な改革方針は新市長のもとで判断するのが適切との考えを示し、引き続き、議会と信頼関係を保ちつつ、持続可能な財政運営に取り組む姿勢が示されました。この後、委員長の質疑で、一人残られる副市長より、骨格予算なので国や県からの要請や必要最低限を計上されている旨、説明答弁があり冒頭論点の応酬から款ごとの質疑へ。

予算特別委員会／おだたか子質問

■企業版ふるさと納税について

問「企業版ふるさと納税の本市実績は少額。

制度は令和9年度まで延長され、企業に最大9割の税額控除もある。委託先任せでなく、市として具体的なプロジェクトを掲げ、営業的に働きかけるべきでは。」と歳入確保の観点から企業版ふるさと納税の活用拡大や遺贈寄附の相談窓口整備、職員の対応マニュアル整備を求めた。また、北部地域・西谷の活用など具体的な事業企画を通じて寄附を呼び込む取組を進めるよう提案した。



(予算特別委員会にて)

■寄附受入体制・遺贈寄附について

意見「遺贈寄附などの相談が窓口にあった場合の対応フローやマニュアル整備を。大口寄附もあり、受け皿が必要。寄附の意思にしっかり応えられる体制整備を。」

■市営火葬場の火葬炉更新

実際に火葬が1週間待ちになった市民相談を紹介し、火葬炉更新工事(10基中2基更新、約1.4億円)について確認。更新工事中も火葬体制を維持するよう要望し他市火葬時の費用差への配慮を提案。長時間待機のドライアイス追加によるCO₂事故問題を指摘し注意喚起した

市営火葬場 火葬炉更新工事 **問**「今年度は10基中2基を更新ですが、残り8基の更新が遅れた場合の対応は。」

答「火葬業務を継続しながら2炉ずつ更新し、令和11年度までに全炉改修を完了する計画です。」

意見「最期のお別れが円滑に行えるよう、計画的な更新を。やむを得ず他市利用となる場合の負担軽減も含め、今後の検討を求めます。」

■緊急輸送路(旧国道176号線)

おた委員(要望)「旧176号の歩道未整備区間など、身近で危険な箇所の改善を。都市計画道路だけでなく、生活に直結する道路整備を進めていただきたい。」

■清荒神地区の避難ルート確保

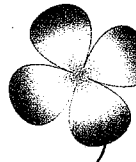
意見(要望)「清荒神地区から御殿山方面への人道橋整備は、防災・高齢者対策・観光振興の面からも有効です。今後の道路施策の中で検討を求めます。」



車多く歩道が無い通勤路

市内で現存する「人道橋」

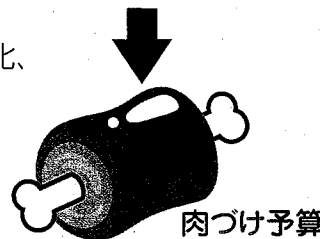
おだたか子は、市内商店街の活性化支援について質疑しました。商業活性化推進事業補助金の実績や、各商店街でのにぎわい創出事業への支援が行われている事を確認。また、店舗等魅力向上チャレンジ支援補助金では店舗リノベーションの申請が多く、ニーズが高いことから、今後も継続した支援を求めました。さらに、商店街・小売市場共同施設建設費助成事業について、アーケード改修や設備更新の支援内容を確認し、老朽化した施設の撤去や照明、防犯カメラ設置など複合的な整備を行う際には、関係部局が連携して相談対応するよう要望しました。



医療・福祉・介護ネットワーク構築について

- 問** ネットワーク構築を市の行財政改革にどうつなげるのか。
- 答** 健康センターや子ども発達支援センター、ステップハウスなどの施設連携を強化し、運営効率を高めることで市立病院の経営改善と行財政改革に繋げる。
- 要望** ステップハウス宝塚のリハビリ機能を生かした高齢者の健康増進と、民間施設との連携強化、ケアマネジャーの事務負担軽減など、介護現場の負担軽減についても改善を求めました。(ケアマネの仕事の効率化で、市に提出する書類を減らし、国が指定する作業も合法的な範囲で簡略化するような具体的な手段や戦略がありますか。とも質問)

骨格予算



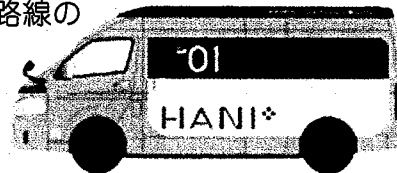
移動手段のニーズ把握について

- 問** 移動手段のニーズ調査の具体的な内容は。
- 答** 人口構造や社会情勢の変化を踏まえ、公共交通だけでなく多様な移動手段の可能性について市民ニーズを調査し、今後検討していく。
- 要望** 市立病院へのアクセスとして重要なバス路線の減便問題を踏まえ、公共交通の確保に繋がる検討を進めるよう求めた。
- 意見** 地域公共交通検証事業、委託料500万円もかけて報告書作成で終わらないように。実装の具現化を、ずっと待っている市民のためにぜひ実現をお願いしたい。「実証実験をしてから何の進展もアクションもない」と、実験に参加した市民、それから期待して待っている方々から、まだかまだかと我々議員もみな言われている。切望して待っている人たちがいる。買物難民！通院難民！免許返納難民は、もう待ったなし！です。
- AIオンデマンドで実証実験をし、実施に時間はかかるわ、値段は上がるわというのであれば、売布・清荒神地区は、売布・山手循環路線の延伸で、まず車両の小型化から運行事業者に諮っていただいて、早期に延伸をまず実現して戴きたい。実証実験で、2割強の人が清荒神の山手地区から乗り、ニーズが実際にある事が証明された。売布山手地域の既存路線は、流をかけた乗車率の向上も含めて小型化と延伸で事業者に掛け合っ戴きたいと切に思う。実証実験をした地域で、実証実験の手法とは違うけれども、公共交通の課題解決に向けた解決策を打つことはできるのか。

2026年3月末
検証結果です！

地域公共交通の検証について

- 問** AIオンデマンドバス実証実験の検証方法は。
- 答** 利用実績や地域アンケートを専門家の知見で分析し、他自治体の事例も参考に検証する。
- 要望** 実証実験の結果を十分に検証し、AIオンデマンド導入だけにこだわらず、既存バス路線の拡充や延伸も含め、市民の通院・買物などの移動手段確保に繋げるよう求めた。



土砂災害警戒区域の点検

- 問** 市有斜面地の点検はどのように実施しているのか。
- 答** 土砂災害特別警戒区域など53か所について、年1回の定期点検を実施している。
- 要望** 住宅地に近い斜面地も多いことから、危険箇所の継続的な点検と安全確保を求める。

障害福祉基金について

- 本予算委員会では財政難に対して3名の議員より、**障害福祉基金**(市民福祉金廃止の際、同額を基金として毎年積み立てるもの)の積立てを止めて財政調整基金に戻すという(補正予算の)修正案が提出され、委員会採決ではお(こ)か子の1票取り崩しにより委員長採決で否決相当、本会議でも、おだたか子の1票の取り崩し(棄権)により賛成少数となり否決されました。
- 障害福祉基金の用途は当事者との協議を進めて決めるべきと、おだたか子に付託戴いた1票で守りました!!♡

- 問** 障害福祉基金の活用について、今後も協議を進める考えはあるのか。
- 答** (市長) 当事者団体と市が覚悟を持って障がい福祉に同規模の財源を充てることを確認しており、今後も協議会などの場で基金の在り方や活用方法について議論を進めていきます。

- 意見** 障害福祉基金は過去の議論を経て積み立てられた経緯があることを踏まえ、使い道を明確にするため当事者団体との協議を行政が主体的に進めるべきと指摘した。また、基金の積立て停止を前提とするものではなく、当事者との対話を重ねながら今後の福祉施策に生かすべきとの考えを、おだたか子は示した。(6月予算委員会より抜粋)

2025年6月議会一般質問(7月3日)

- 質問1 防災** 土砂災害警戒区域(Y・II0-区域)と土砂災害特別警戒区域(R・レッド区域)について

- 問** 河川と商業地域に近接している箇所数と県指定の土砂災害特別警戒区域(レッド区域)付近の台風・豪雨災害時の避難ルート確保について、R区域の市所有斜面地の近くに店舗付き住宅があるところは？
- 答** R区域河川と商業地域が近接しているのは1箇所。(住宅兼店舗が斜面と荒神川横にある清荒神参道付近)

- 意見** 直下に住宅がある所は特に注意深く点検し異常が見られた場合は速やかに措置願います。

- 質問2 障がい福祉** 基幹相談支援センターについて(事業内容と障害福祉の理念)

- 答** 基幹相談支援センターは、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関。市としては、サービス利用の有無にかかわらず、障害のある人の困りごとに寄り添い、課題を解決していくための相談支援体制が重要であると考えており、これらに対応できるのは基幹相談支援センターと委託相談支援事業所です。



おだたか子
質問の録画を
ご覧いただけます！



平成29年度に宝塚市市民福祉金条例を廃止し、代わりに宝塚市障害福祉基金条例を制定した中で、その基金を活用して整備の遅れていた相談支援事業所の増設や、地域の相談支援の拠点となる**基幹相談支援センター**が必要とされ、障がい者さんの地域生活支援拠点として整備された。自立支援協議会の運営などによる地域づくりとは？

【答弁】障害者総合支援法の第89条の3に規定されている「自立支援協議会」で地域の実情に応じた体制の整備に係る協議を行います。

「市民福祉金の廃止の代わりに積み立ててきた基金の中から、重要な拠点**基幹相談支援センター**が必要な施策として設立され、主な業務として自立支援協議会も円滑に運営して地域の要望やお困りごとを解決し地域づくりをする。このような取組を通して地域の相談機関との連携強化、他機関との連携、協働の促進に取り組んでいる。基幹相談支援センターの業務や福祉の**おこ**はこれからの**おこ**。これからも当事者の皆さんとの対話や協議を進めていく。市は9年前からの約束を履行し、反故(ほご)になどできない。条例化されていることの履行は業務上必要。目的と意味のある事業。協議をせずに決まる事はないので、しっかりと説明責任を果たし、当事者抜きでの改革はありえない。」

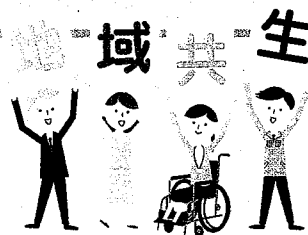
(おだたか子質疑中演説)

問 障がい福祉施策の理念については？

答 「すべての人が自分らしく暮らせる共生社会へ」が基本的理念。

意見 障害のある人も無い人も助け合って、分断の世の中を創ってはいけない。公共の福祉とは

なんたるかを今一度考えて戴き、民間事業者では賃金も低く業務も過密で手が回らず出来ないところ、採算はとれないけどやるべきところ、**公共の**、**公けの福祉**、行政しかできない福祉をやる、実現するための事業をこれからも続けて、改革すべきところはやって、対話をしてしっかりと協議を進めていって戴きたい。十年来創ってきた信頼を、会話の場をなくさないように守って、ちゃんと機能させて下さい。議会議員も説明責任が伴うので、行政もせっかく築き上げてきた信頼を壊すのではなく、今後、こういった重要なところに予算とか基金をあててより良い社会をつくる、分断せず、皆がバリアフリーになることを目指すべきだと私は思います。障害福祉基金などの使い道もこういった所に取り崩すべきお金なのでは。そのための潤沢な基金、積立てなので目的のある必要なお金です



「今後も市民のための政策実現、全ての人にバリアフリーな事業計画をお願い申し上げ、おだたか子の質問を終わります。」

2025年9月議会一般質問

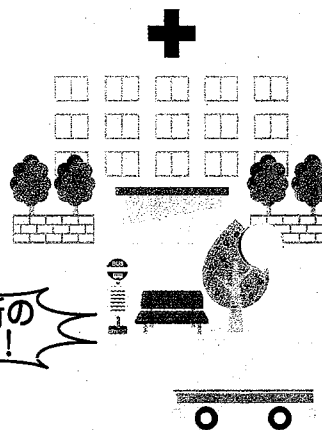


おだたか子
質問の録画を
ご覧になれます！

公共交通の実証実験では、市立病院へのアクセス需要が一定確認されたが、収支面などから本格導入は課題があり、現在、専門機関が検証中。地域の意見を踏まえ、交通空白地解消や既存路線の維持・延伸も含めた持続可能な交通の在り方を検討する。

また、市立病院建替えは寄附基金を活用し2031年度開院を目標に基本計画を策定中。

「たぐらづかモデル」による医療・福祉連携や既存棟活用も検討し、市民の声を反映した病院整備を求めた。



2026年3月末、市内3か所の
交通実験検証結果がでます！

問 公共交通の実証実験の結果と今後の対応は。

答 市立病院への一定の需要は確認されたが収支面に課題があり、現在専門機関が分析中。結果を踏まえ地域や事業者と協議し、持続可能な公共交通の方向性を検討する。

「病院への交通アクセスの課題も、2022年にバスの便数が削減され、市立病院を選んでくれた市民が大変困っている。新病院の魅力をアップするためにも、各地域からのアクセスを改善し、売布循環線の市立病院行きも無くさずに、延伸で乗車率を上げていく**創意工夫**をして市民の足を維持して戴きたい。」(9月一般質問中 おだたか子発言)

(青の湖にて)

問 新しい市立病院の建設では、患者が安心できる空間づくりなど建築面の工夫は検討されるのか。

答 基本設計の中で動線や待合環境、受付システムなどを含め検討し、省エネルギーやライフサイクルコストの視点も踏まえながら、患者に配慮した施設整備を進めていく。



全国市議会議長会 同行視察

無所属おだたか子の1票(皆様おひとりお一人から戴いた貴重な1票)で守った障がい福祉基金は、当事者団体との協議会を経て、売布東の町の福祉の拠点(全ての人にバリアフリーな施設)創りに向け、一旦、新たな積立てが凍結されましたが、14億円を確保し、福祉の拠点整備の検討がされています。施政方針で、新市長が語られた「すべての人が集い交流することができる、多様性を認め合う場」の整備に期待しましょう！ 戴田 貴子

12月質問と次予算委(無所属でも入れて戴けるようになりました！)は第4号にて。乞うご期待！

別紙様式 1

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	広報費	内 訳	送料	支出番号	12
支 出 日	2026年2月16日		支出金額	1,070 円	
支 出 先	日本郵便株式会社				
支出内容	レターバックライトとスマートレター 市政報告原本は支出書No.15に添付				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

領収書

おだ たか子 様

[販売]
レターバックライト (430円)
430円 2枚 ¥860
スマートレター (210円)
210円 1枚 ¥210

小 計 ¥1,070

課税計(10%) ¥0
(内消費税等(10%)) ¥0
非課税計 ¥1,070

合計 ¥1,070
お預り金額 ¥1,500
おつり ¥430



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
登録番号 T1010001112577
取扱日時: 2026年 2月16日 18:21
発行No. 260216J9191 端N25箱04
連絡先: 宝塚郵便局
TEL: 0570-071-386

宝塚市議会議員

おだたか子

市政報告 第3号 織田貴子

プロフィール

1970年宝塚で生まれ育ち、売布小、宝中、大阪成蹊高校、宝塚大学卒。民間企業にて22年。市民活動から2023年宝塚市議会議員に。東京政経塾で3年学び衆議院議員秘書から第18代文科大臣秘書に。政治大学院で政策コンテスト優秀賞。竹中工務店本店にて子供食堂活動に社会貢献賞。**資格** マンション管理士、建築施工管理技士、個人情報保護士、博物館学芸員

無所属

ごあいさつ 議員3年目を経験して、皆様おひとりお一人におだたか子に付託戴いた貴重な1票の重みを実感しています。無所属の議員としての1票で議会の採決が変わる場面が何度かありました。

1期目の悲願は、山手地域の交通空白地に小型バスを通す成功事例をつくる事です。公共交通としての課題が多いですが、市民の脚を確保するために、早期実現を目指し頑張ります!!

残したかった高齢者バス・タクシー助成券は一旦廃止となりましたが、バスの乗車率アップのためにも復活を望みます。これからも地域に関する課題を質問し、早期実現、解決を目指します!!(ご意見ご要望受付中!)

1月議会 質問ダイジェスト



おだたか子
質問の録画を
ご覧になれます!



質問1. 住まいの安心 「宝塚市マンション管理計画認定制度」について

質問 市内マンション居住の方々にメリットのある認定制度でマンションの健康診断と言われるが、どんな制度でメリットは。

答弁 法に基づき、管理組合運営や長期修繕計画の作成など、マンションの管理状況が国や自治体が定める基準を満たす場合、管理組合の申請により、適正な管理計画を持つマンションとして市の認定を受ける事ができる制度。認定のメリットは、居住者がマンションの管理状況を把握でき、管理運営を見直す機会となる。適正管理されていると市場評価が高くなる事が期待される。大規模修繕工事時、住宅金融支援機構が実施する融資制度等の活用により金利優遇を受ける事ができ、更に認定を取得し一定要件を満たすものについては、固定資産税の減額対象となる場合がある。

意見 住まいの安心と価値を高める制度。防災等の観点からも適切な管理と維持が必要で、認知啓発を要望します。

おだたか子はマンション管理士です!ぜひご相談下さい!

質問2. 公共交通 生活に必要な路線バスについて

質問 売布・清荒神地域AIオンデマンド交通の実証実験をされたハニタスについて。乗車実績、新たに加えられた売布自由が丘・清荒神5丁目からの利用状況は。



答弁 実証実験の全乗降場所29箇所のうち、当該区域内5箇所の乗降場所における運行開始から3週間の利用実績は、延べ乗降者数480人、1日平均22.9人。これは、すべての利用者の約2割に相当します。

意見 この実証実験の結果が良ければ、市内の不便なところにバスが走る契機になる。是非、成功となる検討を。

質問4. 道路政策 市内渋滞緩和と活性化への道筋

質問 宝塚市の都市計画道路の整備率は? 他市と比べてどうか。私の所属する産業建設常任委員会で提示された数字では、本市はこれからの人口減少を加味してもまだ整備できる余地があるとの説明でした。

答弁 現在、本市は53.81kmの市道を都市計画道路として定めている。2024年3月末時点での整備済延長は40kmで、整備率は74.34%。この値は本市を含む阪神間7市1町のうちで最も低く、まちの基盤としての道路が不足している。防災上の観点でも、今後も都市計画道路の計画的な整備が必要であるため予算の確保に努め、鋭意整備を進めていく。

連絡先 織田貴子事務所 宝塚市清荒神5丁目76-7 E-mail: odaproject0@gmail.com TEL: 080-5080-3432

[[配信中!]]



ホームページ



おだたか子チャンネル



Facebook

Facebook



質問3. 歳入改善 西谷の過疎対策 移住と活性化

西谷の過疎対策がなぜ歳入改善になるか?は、西谷の自然、里山、トカイナカ都市近郊の立地など、憧れの移住に最適な環境の土地が持つ魅力を活性化することで新しい産業やカルチャーが生まれ、観光産業の発展による雇用で若者が仕事とともに移住し、人口減少に歯止めをかけ、全てが繋がって歳入改善になるという壮大な構想です。これは以前からもお願いしていて、市を挙げて市長部局一丸となって取り組まねばなりません。西谷は市の3分の2を占める面積で、市に残された最後の宝の地。資源・資産を生かし、本市の苦しい財政の歳入改善に、今こそ活用案を出す時です。過疎対策も待たなしの状況まで来ています。

行政と市民の協働で、出来ることから緩和政策をとり、大きなビジョンへと繋げたい。昨年の質問で、産業振興の観点から、企業版ふるさと納税で西谷の保全資金を稼ぎ、北部土地利用計画での地産地消レストランなど地域資源を生かした地域活性化の取組みや、運動レジャー施設やレクリエーション施設についても土地利用規制の弾力化対応が可能であるとの希望の持てる答弁を戴きました。そこで、

質問 西谷の市街化調整区域の弾力的運用のその後の実績は。

答弁 地域振興に係る店舗等として、2019年度に農家レストラン1件、その後、体験型農業施設1件の建築を許可した。2024年度は、農家レストラン1件を許可する予定です。

質問 移住促進の取組みの現状と課題は。

答弁 2021年度～西谷地区まちづくり協議会が中心となり、地域ごとのまちづくり計画の基本目標である移住の受け皿作りに取り組み西谷自治会連合会と連携して空き家の所在や状況について調査、所有者などを対象として利活用に向けた空き家相談セミナーを開催。移住希望者に向けて移住情報サイト「宝塚にしたい」スモッカ」での情報発信や、空き家視察ツアーを実施。移住相談も行っている。2件の移住が実現。希望が多い日本家屋や広い庭付の物件が見つかりにくいことが課題。

質問5. 高齢福祉 バス・タクシー運賃助成券について

以前、文化財団主催の寄席・コンサートの割引等にも利用できるようにと提案したがどうか。

事業検証にかかっても、その目的と必要性から継続となっているが、決算特別委員会・報告書の質疑では、複数枚同時に使えないかとのやりとりがあり「その他の意見も参考に検討を進めたい」と応答があった。2023年12月一般質問で提案した件も再度進捗を確認し、方向性を伺う。高齢者の健康増進、外出の機会増加と、公共交通のバスの廃止や減便を避ける為にも本券の利用促進が望ましい。

(と強く願い、質問しましたが2025年度廃止決定されました)

(2024年12月おだたか子一般質問より抜粋)

本()歳入改善に有効な西谷の資源開発と、遺贈寄附は、市長部局一丸となって積極的に頑張る戴きたい。遺贈寄附とは、社会貢献活動に役立てる事を目的に個人の遺産を寄附する事。遺言によって特定遺贈で、一部でも寄附をした財産は相続税の控除対象に含まれます。国へ納めるべき税金を減らす事ができる。まだ高齢でも所得がある方は所得税の寄附金控除も受けられます。但し、どの団体に寄附をしても優遇措置が受けられるという事ではなくて、優遇が受けられるのは国や地方公共団体(=市)です。宝塚市に寄附をして戴ければ、本市の歳入の改善になります。そのための労力は惜しまずに、企業版ふるさと納税獲得の推進や、遺贈寄附窓口の開設西谷への投資へと経営判断で大きく舵を切って。これは市長を含め、経営サイドに是非お願いします。

令和7年度予算特別委員会(2025年3月骨格予算冒頭質疑)概要

(2024年12月おだたか子一般質問より抜粋)

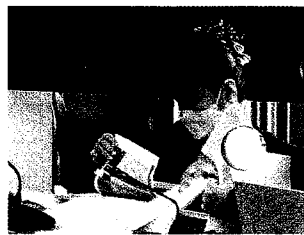
おだたか子は、議会が求めた財政非常事態宣言や過去最大規模となった骨格予算を踏まえ、今後の行財政運営の姿勢について質問しました。特に、新ごみ処理施設整備や物価高騰による影響を挙げ、多額の寄附があっても収支改善は不可欠であり、議会決議を重く受け止めた対応を求めました。これに対し市側は、決議は最大限尊重すべきものと認識し、宣言の発出や具体策について内部協議を重ねてきたと説明。寄附により財政シミュレーションは変化した、依然厳しい状況であり、今後の具体的な改革方針は新市長のもとで判断するのが適切との考えを示し、引き続き、議会と信頼関係を保ちつつ、持続可能な財政運営に取り組む姿勢が示されました。この後、委員長の質疑で、一人残られる副市長より、骨格予算なので国や県からの要請や必要最低限を計上されている旨、説明答弁があり冒頭論点の応酬から款ごとの質疑へ。

予算特別委員会／おだたか子質問

■企業版ふるさと納税について

問 「企業版ふるさと納税の本市実績は少額。

制度は令和9年度まで延長され、企業に最大9割の税額控除もある。委託先任せでなく、市として具体的なプロジェクトを掲げ、営業的に働きかけるべきでは。」と歳入確保の観点から企業版ふるさと納税の活用拡大や遺贈寄附の相談窓口整備、職員の対応マニュアル整備を求めた。また、北部地域・西谷の活用など具体的な事業企画を通じて寄附を呼び込む取組を進めるよう提案した。



(予算特別委員会にて)

■寄附受入体制・遺贈寄附について

意見 「遺贈寄附などの相談が窓口にあった場合の対応フローやマニュアル整備を。大口寄附もあり、受け皿が必要。寄附の意思にしっかり応えられる体制整備を。」

■市営火葬場の火葬炉更新

実際に火葬が1週間待ちになった市民相談を紹介し、火葬炉更新工事(10基中2基更新、約1.4億円)について確認。更新工事中も火葬体制を維持するよう要望し他市火葬時の費用差への配慮を提案。長時間待機のドライアイス追加によるCO₂事故問題を指摘し注意喚起した

市営火葬場 火葬炉更新工事 **問** 「今年度は10基中2基を更新ですが、残り8基の更新が遅れた場合の対応は。」

答 「火葬業務を継続しながら2炉ずつ更新し、令和11年度までに全炉改修を完了する計画です。」

意見 「最期のお別れが円滑に行えるよう、計画的な更新を。やむを得ず他市利用となる場合の負担軽減も含め、今後の検討を求めます。」

■緊急輸送路(旧国道176号線)

おた委員(要望) 「旧176号の歩道未整備区間など、身近で危険な箇所の改善を。都市計画道路だけでなく、生活に直結する道路整備を進めていただきたい。」

■清荒神地区の避難ルート確保

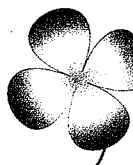
意見(要望) 「清荒神地区から御殿山方面への**人道橋**整備は、防災・高齢者対策・観光振興の面からも有効です。今後の道路施策の中で検討を求めます。」



旧国道・歩道未整備地域

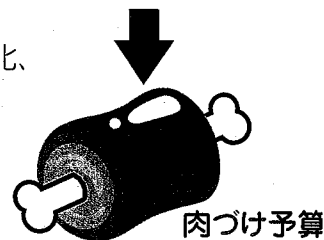
車多く歩道が無い通勤路 市内で現存する「人道橋」

おだたか子は、市内商店街の活性化支援について質疑しました。商業活性化推進事業補助金の実績や、各商店街でのにぎわい創出事業への支援が行われている事を確認。また、店舗等魅力向上チャレンジ支援補助金では店舗リノベーションの申請が多く、ニーズが高いことから、今後も継続した支援を求めました。さらに、商店街・小売市場共同施設建設費助成事業について、アーケード改修や設備更新の支援内容を確認し、老朽化した施設の撤去や照明、防犯カメラ設置など複合的な整備を行う際には、関係部局が連携し、相談対応するよう要望しました。



医療・福祉・介護ネットワーク構築について

- 問** ネットワーク構築を市の行財政改革にどうつなげるのか。
- 答** 健康センターや子ども発達支援センター、ステップハウスなどの施設連携を強化し、運営効率を高めることで市立病院の経営改善と行財政改革に繋げる。
- 要望** ステップハウス宝塚のリハビリ機能を生かした高齢者の健康増進と、民間施設との連携強化、ケアマネジャーの事務負担軽減など、介護現場の負担軽減についても改善を求めました。(ケアマネの仕事の効率化で、市に提出する書類を減らし、国が指定する作業も合法的な範囲で簡略化するような具体的な手段や戦略がありますか。とも質問)



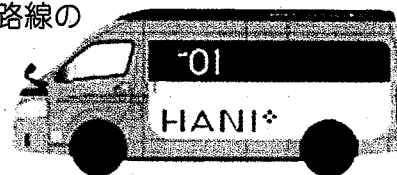
移動手段のニーズ把握について

- 問** 移動手段のニーズ調査の具体的な内容は。
- 答** 人口構造や社会情勢の変化を踏まえ、公共交通だけでなく多様な移動手段の可能性について市民ニーズを調査し、今後検討していく。
- 要望** 市立病院へのアクセスとして重要なバス路線の減便問題を踏まえ、公共交通の確保に繋がる検討を進めるよう求めた。
- 意見** 地域公共交通検証事業、委託料500万円もかけて報告書作成で終わらないように。実装の具現化を、ずっと待っている市民のためにぜひ実現をお願いしたい。「実証実験をしてから何の進展もアクションもない」と、実験に参加した市民、それから期待して待っている方々から、まだかまだかと我々議員もみな言われている。切望して待っている人たちがいる。買物難民！通院難民！免許返納難民は、もう待ったなし！です。
- AIオンデマンドで実証実験をし、実施に時間はかかるわ、値段は上がるわというのであれば、売布・清荒神地区は、売布・山手循環路線の延伸で、まず車両の小型化から運行事業者に諮っていただいて、早期に延伸をまず実現して戴きたい。実証実験で、2割強の人が清荒神の山手地区から乗り、ニーズが実際にある事が証明された。売布山手地域の既存路線は、流をかけた乗車率の向上も含めて小型化と延伸で事業者に掛け合って戴きたいと切に思う。実証実験をした地域で、検証実験の手法とは違うけれども、公共交通の課題解決に向けた解決策を打つことはできるのか。

2026年3月末
検証結果です！

地域公共交通の検証について

- 問** AIオンデマンドバス実証実験の検証方法は。
- 答** 利用実績や地域アンケートを専門家の知見で分析し、他自治体の事例も参考に検証する。
- 要望** 実証実験の結果を十分に検証し、AIオンデマンド導入だけにこだわらず、既存バス路線の拡充や延伸も含め、市民の通院・買物などの移動手段確保に繋げるよう求めた。



土砂災害警戒区域の点検

- 問** 市有斜面地の点検はどのように実施しているのか。
- 答** 土砂災害特別警戒区域など53か所について、年1回の定期点検を実施している。
- 要望** 住宅地に近い斜面地も多いことから、危険箇所の継続的な点検と安全確保を求める。

障害福祉基金について

- 本予算委員会では財政難に対して3名の議員より、**障害福祉基金**(市民福祉金廃止の際、同額を基金として毎年積み立てるもの)の積立てを止めて財政調整基金に戻すという(補正予算の)修正案が提出され、委員会採決ではお(こ)か子の1票取り崩しにより委員長採決で否決相当、本会議でも、おだたか子の1票の取り崩し(棄権)により賛成少数となり否決されました。
- 障害福祉基金の用途は当事者との協議を進めて決めるべきと、おだたか子に付託戴いた1票で守りました!!♡

- 問** 障害福祉基金の活用について、今後も協議を進める考えはあるのか。
- 答** (市長) 当事者団体と市が覚悟を持って障がい福祉に同規模の財源を充てることを確認しており、今後も協議会などの場で基金の在り方や活用方法について議論を進めていきます。
- 意見** 障害福祉基金は過去の議論を経て積み立てられた経緯があることを踏まえ、使い道を明確にするため当事者団体との協議を行政が主体的に進めるべきと指摘した。また、基金の積立て停止を前提とするものではなく、当事者との対話を重ねながら今後の福祉施策に生かすべきとの考えを、おだたか子は示した。(6月予算委員会より抜粋)

2025年6月議会一般質問(7月3日)

- 質問1 防災** 土砂災害警戒区域(Y・II0-区域)と土砂災害特別警戒区域(R・レッド区域)について
- 問** 河川と商業地域に近接している箇所数と県指定の土砂災害特別警戒区域(レッド区域)付近の台風・豪雨災害時の避難ルート確保について、R区域の市所有斜面地の近くに店舗付き住宅があるところは？
- 答** R区域河川と商業地域が近接しているのは1箇所。(住宅兼店舗が斜面と荒神川横にある清荒神参道付近)
- 意見** 直下に住宅がある所は特に注意深く点検し異常が見られた場合は速やかに措置願います。
- 質問2 福祉** 基幹相談支援センターについて(事業内容と障害福祉の理念)
- 答** 基幹相談支援センターは、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関。市としては、サービス利用の有無にかかわらず、障害のある人の困りごとに寄り添い、課題を解決していくための相談支援体制が重要であると考えており、これらに対応できるのは基幹相談支援センター、ケアマネ、相談支援事業所です。



おだたか子
質問の録画を
見よう



平成29年度に宝塚市市民福祉金条例を廃止し、代わりに宝塚市障害福祉基金条例を制定した中で、その基金を活用して整備の遅れていた相談支援事業所の増設や、地域の相談支援の拠点となる**基幹相談支援センター**が必要とされ、障がい者さんの地域生活支援拠点として整備された。自立支援協議会の運営などによる地域づくりとは？

<答弁> 障害者総合支援法の第89条の3に規定されている「自立支援協議会」で地域の実情に応じた体制の整備に係る協議を行います。

「市民福祉金の廃止の代わりに積み立ててきた基金の中から、重要な拠点**基幹相談支援センター**が必要な施策として設立され、主な業務として自立支援協議会も円滑に運営して地域の要望やお困りごとを解決し地域づくりをする。このような取組を通して地域の相談機関との連携強化、他機関との連携、協働の促進に取り組んでいる。基幹相談支援センターの業務や福祉の**おこし**はこれからの**おこし**。これからも当事者の皆さんとの対話や協議を進めていく。市は9年前からの約束を履行し、反故(ほご)になどできない。条例化されていることの履行は業務上必要。目的と意味のある事業。協議をせずに決まる事はないので、しっかりと説明責任を果たし、当事者抜きでの改革はありえない。」

(おだたか子質疑中演説)

問 障がい福祉施策の理念については？

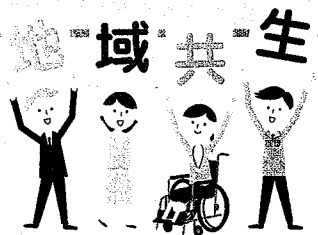
答 「すべての人が自分らしく暮らせる共生社会へ」が基本的理念。

意見 障害のある人も無い人も助け合って、分断の世の中を創ってはいけない。公共の福祉とは

なんたるかを今一度考えて戴き、民間事業者では賃金も低く業務も過密で手が回らず出来ないところ、採算はとれないけどやるべきところ、公共の、公けの福祉、行政しかできない福祉をやる、実現

ための事業をこれからも続けて、改革すべきところはやって、対話をしてしっかりと協議を進めていって戴きたい。

十年来創ってきた信頼を、会話の場をなくさないように守って、ちゃんと機能させて下さい。議会議員も説明責任が伴うので、行政もせっかく築き上げてきた信頼を壊すのではなく、今後、こういった重要なところに予算とか基金をあててより良い社会をつくる、分断せず、皆がバリアフリーになることを目指すべきだと私は思います。障害福祉基金などの使い道もこういった所に取り崩すべきお金なのでは。そのための潤沢な基金、積立てなので目的のある必要なお金です



「今後も市民のための政策実現、全ての人にバリアフリーな事業計画をお願い申し上げ、おだたか子の質問を終わります。」

2025年9月議会一般質問



おだたか子
質問の録画を
ご覧になれます！

公共交通の実証実験では、市立病院へのアクセス需要が一定確認されたが、収支面などから本格導入は課題があり、現在、専門機関が検証中。地域の意見を踏まえ、交通空白地解消や既存路線の維持・延伸も含めた持続可能な交通の在り方を検討する。

また、市立病院建替えは寄附基金を活用し2031年度開院を目標に基本計画を策定中。

「**なからづかモデル**」による医療・福祉連携や既存棟活用も検討し、市民の声を反映した病院整備を求めた。

問 公共交通の実証実験の結果と今後の対応は。

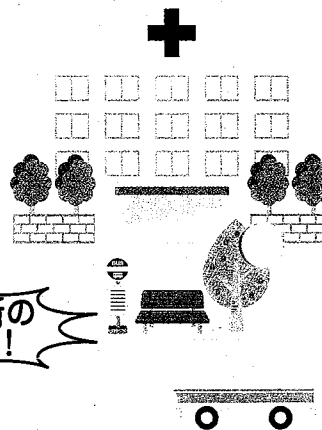
答 市立病院への一定の需要は確認されたが収支面に課題があり、現在専門機関が分析中。結果を踏まえ地域や事業者と協議し、持続可能な公共交通の方向性を検討する。

「病院への交通アクセスの課題も、2022年にバスの便数が削減され、市立病院を選んでくれた市民が大変困っている。新病院の魅力をアップするためにも、各地域からのアクセスを改善し、売布循環線の市立病院行きも無くさずに、延伸で乗車率を上げていく**創意工夫**をして市民の足を維持して戴きたい。」(9月一般質問中 おだたか子発言) (青の湖にて)

問 新しい市立病院の建設では、患者が安心できる空間づくりなど建築面の工夫は検討されるのか。

答 基本設計の中で動線や待合環境、受付システムなどを含め検討し、省エネルギーやライフサイクルコストの視点も踏まえながら、患者に配慮した施設整備を進めていく。

無所属おだたか子の1票(皆様おひとりお一人から戴いた貴重な1票)で守った障がい福祉基金は、当事者団体との協議会を経て、売布東の町の福祉の拠点(全ての人にバリアフリーな施設)創りに向け、一旦、新たな積立てが凍結されましたが、14億円を確保し、福祉の拠点整備の検討がされています。施政方針で、新市長が語られた「すべての人が集い交流することができる、多様性を認め合う場」の整備に期待しましょう！ 戴田 貴子



2026年3月末、市内3か所の
交通実験検証結果がでます！



全国市議会議長会 同行視察

12月質問と次予算委(無所属でも入れて戴けるようになりました！)は第4号にて。乞うご期待！

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	広報費	内 訳	送料	支出番号	13
支 出 日	2026年3月30日		支出金額	700 円	
支 出 先	日本郵便株式会社				
支出内容	レターパックプラスと包装袋小 市政報告原本は支出書No.15に添付				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

領収書

おだ たか子 様

[販売]
レターパックプラス (600円)
600円 1枚 ¥600

小 計 ¥600

[店頭販売]
デザイン包装袋 (小)
100円 1個 ¥100

小 計 ¥100

課税計(10%) ¥100
(内消費税等(10%) ¥9)
非課税計 ¥600

合計 ¥700
お預り金額 ¥10,200
おつり ¥9,500



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
登録番号 T1010001112577
取扱日時: 2026年 3月30日 19:04
発行No. 260330Z4506 端N25箱04
連絡先: 宝塚郵便局
TEL: 0570-071-386



宝塚市議会議員

おだたか子

市政報告 第3号 織田貴子

プロフィール

1970年宝塚で生まれ育ち、売布小、宝中、大阪成蹊高校、宝塚大学卒。民間企業にて22年。市民活動から2023年宝塚市議会議員に。東京政経塾で3年学び衆議院議員秘書から第18代文科大臣秘書に。政治大学院で政策コンテスト優秀賞。竹中工務店本店にて子供食堂活動に社会貢献賞。**資格** マンション管理士、建築施工管理技士、個人情報保護士、博物館学芸員

無所属

ごあいさつ 議員3年目を経験して、皆様おひとりお一人におだたか子に付託戴いた貴重な1票の重みを実感しています。無所属の議員としての1票で議会の採決が変わる場面が何度かありました。

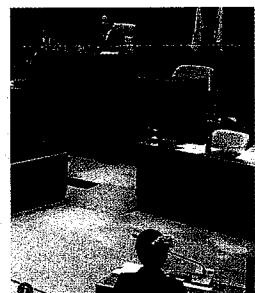
1期目の悲願は、山手地域の交通空白地に小型バスを通す成功事例をつくる事です。公共交通としての課題が多いですが、市民の脚を確保するために、早期実現を目指し頑張ります!!

残したかった高齢者バス・タクシー助成券は一旦廃止となりましたが、バスの乗車率アップのためにも復活を望みます。これからも地域に関する課題を質問し、早期実現、解決を目指します!!(ご意見ご要望受付中!)

9月議会 質問ダイジェスト



おだたか子
質問の録画を
ご覧になれます!



質問1. 住まいの安心 「宝塚市マンション管理計画認定制度」について

質問 市内マンション居住の方々にメリットのある認定制度でマンションの健康診断と言われるが、どんな制度でメリットは。

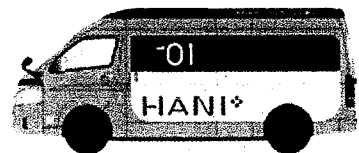
答弁 法に基づき、管理組合運営や長期修繕計画の作成など、マンションの管理状況が国や自治体が定める基準を満たす場合、管理組合の申請により、適正な管理計画を持つマンションとして市の認定を受ける事ができる制度。認定のメリットは、居住者がマンションの管理状況を把握でき、管理運営を見直す機会となる。適正管理されていると市場評価が高くなる事が期待される。大規模修繕工事時、住宅金融支援機構が実施する融資制度等の活用により金利優遇を受ける事ができ、更に認定を取得し一定要件を満たすものについては、固定資産税の減額対象となる場合がある。

意見 住まいの安心と価値を高める制度。防災等の観点からも適切な管理と維持が必要で、認知啓発を要望します。

おだたか子はマンション管理士です!ぜひご相談下さい!

質問2. 公共交通 生活に必要な路線バスについて

質問 売布・清荒神地域AIオンデマンド交通の実証実験をされたハニタスについて。乗車実績、新たに加えられた売布自由が丘・清荒神5丁目からの利用状況は。



答弁 実証実験の全乗降場所29箇所のうち、当該区域内5箇所の乗降場所における運行開始から3週間の利用実績は、延べ乗降者数480人、1日平均22.9人。これは、すべての利用者の約2割に相当します。

意見 この実証実験の結果が良ければ、市内の不便なところにバスが走る契機になる。是非、成功となる検討を。

質問4. 道路政策 市内渋滞緩和と活性化への道筋

質問 宝塚市の都市計画道路の整備率は? 他市と比べてどうか。私の所属する産業建設常任委員会で提示された数字では、本市はこれからの人口減少を加味してもまだ整備できる余地があるとの説明でした。

答弁 現在、本市は53.81kmの市道を都市計画道路として定めている。2024年3月末時点での整備済延長は40kmで、整備率は74.34%。この値は本市を含む阪神間7市1町のうちで最も低く、まちの基盤としての道路が不足している。防災上の観点でも、今後も都市計画道路の計画的な整備が必要であるため予算の確保に努め、鋭意整備を進めていく。

連絡先 織田貴子事務所 宝塚市清荒神 5 丁目 76-7 E-mail: odaproject0@gmail.com TEL: 080-5080-3432

((配信中!))



ホームページ



おだたか子チャンネル



Facebook



質問3. 歳入改善 西谷の過疎対策 移住と活性化

西谷の過疎対策がなぜ歳入改善になるか?は、西谷の自然、里山、トカイナかな都市近郊の立地など、憧れの移住に最適な環境の土地が持つ魅力を活性化することで新しい産業やカルチャーが生まれ、観光産業の発展による雇用で若者が仕事とともに移住し、人口減少に歯止めをかけ、全てが繋がって歳入改善になるという壮大な構想です。これは以前からもお願いしていて、市を挙げて市長部局一丸となって取り組まねばなりません。西谷は市の3分の2を占める面積で、市に残された最後の宝の地。資源・資産を生かし、本市の苦しい財政の歳入改善に、今こそ活用案を出す時です。過疎対策も待たなしの状況まで来ています。

行政と市民の協働で、出来ることから緩和政策をとり、大きなビジョンへと繋げたい。昨年の質問で、産業振興の観点から、企業版ふるさと納税で西谷の保全資金を稼ぎ、北部土地利用計画での地産地消レストランなど地域資源を生かした地域活性化の取組みや、運動レジャー施設やレクリエーション施設についても土地利用規制の弾力化対応が可能であるとの希望の持てる答弁を戴きました。そこで、

質問 西谷の市街化調整区域の弾力的運用のその後の実績は。

答弁 地域振興に係る店舗等として、2019年度に農家レストラン1件、その後、体験型農業施設1件の建築を許可した。2024年度は、農家レストラン1件を許可する予定です。

質問 移住促進の取組みの現状と課題は。

答弁 2021年度～西谷地区まちづくり協議会が中心となり、地域ごとのまちづくり計画の基本目標である移住の受け皿作りに取り組み西谷自治会連合会と連携して空き家の所在や状況について調査、所有者などを対象として利活用に向けた空き家相談セミナーを開催。移住希望者に向けて移住情報サイト「宝塚にしたい」スモッカ」での情報発信や、空き家視察ツアーを実施。移住相談も行っている。2件の移住が実現。希望が多い日本家屋や広い庭付の物件が見つかりにくいことが課題。

質問5. 高齢福祉 バス・タクシー運賃助成券について

以前、文化財団主催の寄席・コンサートの割引等にも利用できるようにと提案したがどうか。

事業検証にかかっても、その目的と必要性から継続となっているが、決算特別委員会・報告書の質疑では、複数枚同時に使えないかとのやりとりがあり「その他の意見も参考に検討を進めたい」と応答があった。2023年12月一般質問で提案した件も再度進捗を確認し、方向性を伺う。高齢者の健康増進、外出の機会増加と、公共交通のバスの廃止や減便を避ける為にも本券の利用促進が望ましい。

(と強く願い、質問しましたが2025年度廃止決定されました)

(2024年12月おだたか子一般質問より抜粋)

本()歳入改善に有効な西谷の資源開発と、遺贈寄附は、市長部局一丸となって積極的に頑張るべきだ。遺贈寄附とは、社会貢献活動に役立てる事を目的に個人の遺産を寄附する事。遺言によって特定遺贈で、一部でも寄附をした財産は相続税の控除対象に含まれます。国へ納めるべき税金を減らす事ができる。まだ高齢でも所得がある方は所得税の寄附金控除も受けられます。但し、どの団体に寄附をしても優遇措置が受けられるという事ではなくて、優遇が受けられるのは国や地方公共団体(=市)です。宝塚市に寄附をして戴ければ、本市の歳入の改善になります。そのための労力は惜しまずに、企業版ふるさと納税獲得の推進や、遺贈寄附窓口の開設西谷への投資へと経営判断で大きく舵を切って。これは市長を含め、経営サイドに是非お願いします。

令和7年度予算特別委員会(2025年3月)骨格予算冒頭質疑概要

(2024年12月おだたか子一般質問より抜粋)

おだたか子は、議会が求めた財政非常事態宣言や過去最大規模となった骨格予算を踏まえ、今後の行財政運営の姿勢について質問しました。特に、新ごみ処理施設整備や物価高騰による影響を挙げ、多額の寄附があっても収支改善は不可欠であり、議会決議を重く受け止めた対応を求めました。これに対し市側は、決議は最大限尊重すべきものと認識し、宣言の発出や具体策について内部協議を重ねてきたと説明。寄附により財政シミュレーションは変化したが、依然厳しい状況であり、今後の具体的な改革方針は新市長のもとで判断するのが適切との考えを示し、引き続き、議会と信頼関係を保ちつつ、持続可能な財政運営に取り組む姿勢が示されました。この後委員長の質疑で、一人残られる副市長より、骨格予算なので国や県からの要請や必要最低限を計上されている旨、説明答弁があり冒頭論点の応酬から款ごとの質疑へ。

予算特別委員会／おだたか子質問

■企業版ふるさと納税について

問「企業版ふるさと納税の本市実績は少額。

制度は令和9年度まで延長され、企業に最大9割の税額控除もある。委託先任せでなく、市として具体的なプロジェクトを掲げ、営業的に働きかけるべきでは。」と歳入確保の観点から企業版ふるさと納税の活用拡大や遺贈寄附の相談窓口整備、職員の対応マニュアル整備を求めた。また、北部地域・西谷の活用など具体的な事業企画を通じて寄附を呼び込む取組を進めるよう提案した。



(予算特別委員会にて)

■寄附受入体制・遺贈寄附について

意見「遺贈寄附などの相談が窓口にあった場合の対応フローやマニュアル整備を。大口寄附もあり、受け皿が必要。寄附の意思にしっかり応えられる体制整備を。」

■市営火葬場の火葬炉更新

実際に火葬が1週間待ちになった市民相談を紹介し、火葬炉更新工事(10基中2基更新、約1.4億円)について確認。更新工事中も火葬体制を維持するよう要望し他市火葬時の費用差への配慮を提案。長時間待機のドライアイス追加によるCO₂事故問題を指摘し注意喚起した

市営火葬場 火葬炉更新工事 **問**「今年度は10基中2基を更新ですが、残り8基の更新が遅れた場合の対応は。」

答「火葬業務を継続しながら2炉ずつ更新し、令和11年度までに全炉改修を完了する計画です。」

意見「最期のお別れが円滑に行えるよう、計画的な更新を。やむを得ず他市利用となる場合の負担軽減も含め、今後の検討を求めます。」

■緊急輸送路(旧国道176号線)

おだ委員(要望)「旧176号の歩道未整備区間など、身近で危険な箇所の改善を。都市計画道路だけでなく、生活に直結する道路整備を進めていただきたい。」

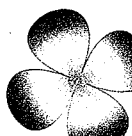
■清荒神地区の避難ルート確保

意見(要望)「清荒神地区から御殿山方面への人道橋整備は、防災・高齢者対策・観光振興の面からも有効です。今後の道路施策の中で検討を求めます。」



旧国道・歩道未整備地域 車多く歩道が無い通勤路 市内で現存する「人道橋」

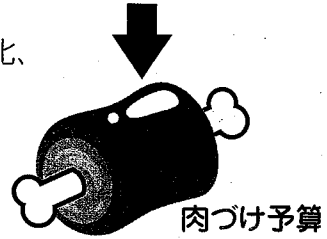
おだたか子は、市内商店街の活性化支援について質疑しました。商業活性化推進事業補助金の実績や、各商店街でのにぎわい創出事業への支援が行われている事を確認。また、店舗等魅力向上チャレンジ支援補助金では店舗リノベーションの申請が多く、ニーズが高いことから、今後も継続した支援を求めました。さらに、商店街・小売市場共同施設建設費助成事業について、アーケード改修や設備更新の支援内容を確認し、老朽化した施設の撤去や照明、防犯カメラ設置など複合的な整備を行う際には、関係部局が連携して相談対応するよう要望しました。



医療・福祉・介護ネットワーク構築について

- 問** ネットワーク構築を市の行財政改革にどうつなげるのか。
- 答** 健康センターや子ども発達支援センター、ステップハウスなどの施設連携を強化し、運営効率を高めることで市立病院の経営改善と行財政改革に繋げる。
- 要望** ステップハウス宝塚のリハビリ機能を生かした高齢者の健康増進と、民間施設との連携強化、ケアマネジャーの事務負担軽減など、介護現場の負担軽減についても改善を求めました。(ケアマネの仕事の効率化で、市に提出する書類を減らし、国が指定する作業も合法的な範囲で簡略化するような具体的な手段や戦略がありますか。とも質問)

骨格予算



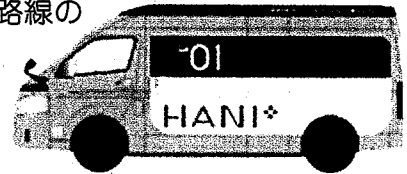
移動手段のニーズ把握について

- 問** 移動手段のニーズ調査の具体的な内容は。
- 答** 人口構造や社会情勢の変化を踏まえ、公共交通だけでなく多様な移動手段の可能性について市民ニーズを調査し、今後検討していく。
- 要望** 市立病院へのアクセスとして重要なバス路線の減便問題を踏まえ、公共交通の確保に繋がる検討を進めるよう求めた。
- 意見** 地域公共交通検証事業、委託料500万円もかけて報告書作成で終わらないように。実装の具現化を、ずっと待っている市民のためにぜひ実現をお願いしたい。「実証実験をしてから何の進展もアクションもない」と、実験に参加した市民、それから期待して待っている方々から、まだかまだかと我々議員もみな言われている。切望して待っている人たちがいる。買物難民！通院難民！免許返納難民は、もう待ったなし！です。
- AIオンデマンドで実証実験をし、実施に時間はかかるわ、値段は上がるわというのであれば、売布・清荒神地区は、売布・山手循環路線の延伸で、まず車両の小型化から運行事業者に諮っていただいて、早期に延伸をまず実現して戴きたい。実証実験で、2割強の人が清荒神の山手地区から乗り、ニーズが実際にある事が証明された。売布山手地域の既存路線は、流をかけた乗車率の向上も含めて小型化と延伸で事業者に掛け合っ戴きたいと切に思う。実証実験をした地域で、実証実験の手法とは違うけれども、公共交通の課題解決に向けた解決策を打つことはできるのか。

地域公共交通の検証について

- 問** AIオンデマンドバス実証実験の検証方法は。
- 答** 利用実績や地域アンケートを専門家の知見で分析し、他自治体の事例も参考に検証する。
- 要望** 実証実験の結果を十分に検証し、AIオンデマンド導入だけにこだわらず、既存バス路線の拡充や延伸も含め、市民の通院・買物などの移動手段確保に繋げるよう求めた。

2026年3月末
検証結果です！



土砂災害警戒区域の点検

- 問** 市有斜面地の点検はどのように実施しているのか。
- 答** 土砂災害特別警戒区域など53か所について、年1回の定期点検を実施している。
- 要望** 住宅地に近い斜面地も多いことから、危険箇所の継続的な点検と安全確保を求める。

障害福祉基金について

- 本予算委員会では財政難に対して3名の議員より、**障害福祉基金**(市民福祉金廃止の際、同額を基金として毎年積むと議案が承認したもの)の積立てを止めて財政調整基金に戻すという(補正予算の)修正案が提出され、委員会採決ではお(こ)か子の1票取り崩しにより委員長採決で否決相当、本会議でも、おだたか子の1票の取り崩し(棄権)により賛成少数となり否決されました。

障害福祉基金の用途は当事者との協議を進めて決めるべきと、おだたか子に付託戴いた1票で守りました!!♡

- 問** 障害福祉基金の活用について、今後も協議を進める考えはあるのか。
- 答** (市長) 当事者団体と市が覚悟を持って障がい福祉に同規模の財源を充てることを確認しており、今後も協議会などの場で基金の在り方や活用方法について議論を進めていきます。
- 意見** 障害福祉基金は過去の議論を経て積み立てられた経緯があることを踏まえ、使い道を明確にするため当事者団体との協議を行政が主体的に進めるべきと指摘した。また、基金の積立て停止を前提とするものではなく、当事者との対話を重ねながら今後の福祉施策に生かすべきとの考えを、おだたか子は示した。(6月予算委員会より抜粋)

2025年6月議会一般質問(7月3日)

- 質問1 防災** 土砂災害警戒区域(Y・II0-区域)と土砂災害特別警戒区域(R・レッド区域)について
- 問** 河川と商業地域に近接している箇所数と県指定の土砂災害特別警戒区域(レッド区域)付近の台風・豪雨災害時の避難ルート確保について、R区域の市所有斜面地の近くに店舗付き住宅があるところは？
- 答** R区域河川と商業地域が近接しているのは1箇所。(住宅兼店舗が斜面と荒神川横にある清荒神参道付近)
- 意見** 直下に住宅がある所は特に注意深く点検し異常が見られた場合は速やかに措置願います。
- 質問2 障がい福祉** 基幹相談支援センターについて(事業内容と障害福祉の理念)
- 答** 基幹相談支援センターは、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関。市としては、サービス利用の有無にかかわらず、障害のある人の困りごとに寄り添い、課題を解決していくための相談支援体制が重要であると考えており、これらに対応



おだたか子
質問の録画を



平成29年度に宝塚市市民福祉金条例を廃止し、代わりに宝塚市障害福祉基金条例を制定した中で、その基金を活用して整備の遅れていた相談支援事業所の増設や、地域の相談支援の拠点となる基幹相談支援センターが必要とされ、障がい者さんの地域生活支援拠点として整備された。自立支援協議会の運営などによる地域づくりとは？

＜答弁＞障害者総合支援法の第89条の3に規定されている「自立支援協議会」で地域の実情に応じた体制の整備に係る協議を行います。

「市民福祉金の廃止の代わりに積み立ててきた基金の中から、重要な拠点基幹相談支援センターが必要な施策として設立され、主な業務として自立支援協議会も円滑に運営して地域の要望やお困りごとを解決し地域づくりをする。このような取組を通して地域の相談機関との連携強化、他機関との連携、協働の促進に取り組んでいる。基幹相談支援センターの業務や福祉のことはこれからの協議で決まる。これからも当事者の皆さんとの対話や協議を進めていく。市は9年前からの約束を履行し、反故(ほご)になどできない。条例化されていることの履行は業務上必要。目的と意味のある事業。協議をせずに決まる事はないので、しっかりと説明責任を果たし、当事者抜きでの改革はありえない。」

(おだたか子質疑中演説)

問 障がい福祉施策の理念については？

答 「すべての人が自分らしく暮らせる共生社会へ」が基本的理念。

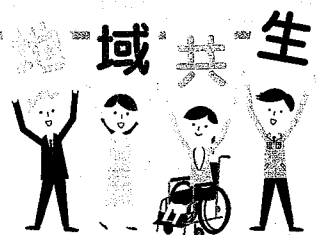
意見 障害のある人も無い人も助け合って、分断の世の中を創ってはいけない。公共の福祉とは

なんたるかを今一度考えて戴き、民間事業者では賃金も低く業務も過密で手が回らず

出来ないところ、採算はとれないけどやるべきところ、公共の、公けの福祉、行政しかできない福祉をやる、実現する

ための事業をこれからも続けて、改革すべきところはやって、対話をしてしっかりと協議を進めていって戴きたい。

十年来創ってきた信頼を、会話の場をなくさないように守って、ちゃんと機能させて下さい。議会議員も説明責任が伴うので、行政もせっかく築き上げてきた信頼を壊すのではなく、今後、こういった重要なところに予算とか基金をあててより良い社会をつくる、分断せず、皆がバリアフリーになることを目指すべきだと私は思います。障害福祉基金などの使い道もこういった所に取り崩すべきお金なのは。そのための潤沢な基金、積立てなので目的のある必要なお金です



「今後も市民のための政策実現、全ての人にバリアフリーな事業計画をお願い申し上げ、おだたか子の質問を終わります。」

2025年9月議会一般質問



おだたか子
質問の録画を
ご覧になれます！

公共交通の実証実験では、市立病院へのアクセス需要が一定確認されたが、収支面などから本格導入は課題があり、現在、専門機関が検証中。地域の意見を踏まえ、交通空白地解消や既存路線の維持・延伸も含めた持続可能な交通の在り方を検討する。

また、市立病院建替えは寄附基金を活用し2031年度開院を目標に基本計画を策定中。

「たやらづかモデル」による医療・福祉連携や既存棟活用も検討し、市民の声を反映した病院整備を求めた。

問 公共交通の実証実験の結果と今後の対応は。

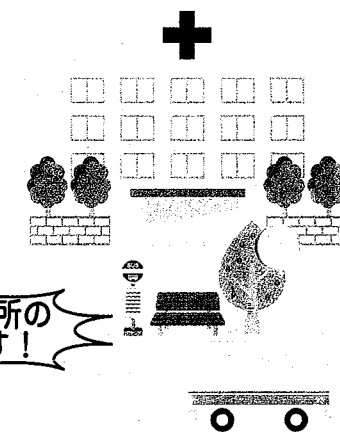
答 市立病院への一定の需要は確認されたが収支面に課題があり、現在専門機関が分析中。結果を踏まえ地域や事業者と協議し、持続可能な公共交通の方向性を検討する。

「病院への交通アクセスの課題も、2022年にバスの便数が削減され、市立病院を選んでくれた市民が大変困っている。新病院の魅力をアップするためにも、各地域からのアクセスを改善し、売布循環線の市立病院行きも無くさずに、延伸で乗車率を上げていく創意工夫をして市民の足を維持して戴きたい。」(9月一般質問中 おだたか子発言) (青の湖にて)

問 新しい市立病院の建設では、患者が安心できる空間づくりなど建築面の工夫は検討されるのか。

答 基本設計の中で動線や待合環境、受付システムなどを含め検討し、省エネルギーやライフサイクルコストの視点も踏まえながら、患者に配慮した施設整備を進めていく。

無所属おだたか子の1票(皆様おひとりお一人から戴いた貴重な1票)で守った障がい福祉基金は、当事者団体との協議会を経て、売布東の町の福祉の拠点(全ての人にバリアフリーな施設)創りに向け、一旦、新たな積立てが凍結されましたが、14億円を確保し、福祉の拠点整備の検討がされています。施政方針で、新市長が語られた「すべての人が集い交流することができる、多様性を認め合う場」の整備に期待しましょう！ 蔵田 貴子



2026年3月末、市内3か所の
交通実験検証結果がでます！



全国市議会議長会 同行視察

12月質問と次予算委(無所属でも入れて戴けるようになりました！)は第4号にて。乞うご期待！

(会派名)

議員名 おだたか子

[illegible]

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	広報費	内 訳	送料	支出番号	14
支 出 日	2026年3月31日		支出金額	75,420 円	
支 出 先	日本郵便株式会社				
支出内容	ゆうメール特別 市政報告原本は支出書No.15に添付				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

領収書

毎度ありがとうございます。

お客様名： 織田 貴子 様
お客様番号： 5002232852-000001-0000000001-000001
住所： 〒 665-0836
兵庫県宝塚市清荒神5丁目

料金額	十	億	千	百	十	万	千	百	十	円
					¥	7	5	4	2	0

収納内訳
現金 75,420円
証紙 -
切手 -
小切手 -

別納引受
(内訳)

種別	特殊取扱	量目/サイズ	通(個)数	単価(円)	料金(円)	摘要
ゆうメール特別 区内		25.0g 1.0cm未満 小計	2,095	36	75,420 75,420	

料金計	75,420円	割引計	0円	課税計(10%)	75,420円		
				(内消費税等(10%))	6,856円		
				非課税計	0円	お預り 現金	75,420円
				合計	75,420円	おつり	0円

上記のとおり領収しました。

〒 100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
連絡先：宝塚郵便局
電話番号：0570-071-386
登録番号：T1010001112577
発行番号：260331d0001
発行日時：2026年 3月31日 17:24



印紙税申告納
付につき麴町
税務署承認済

領収日

2026.03.31

宝塚市議会議員

おだたか子

市政報告 第3号 織田 貴子

プロフィール

1970年宝塚で生まれ育ち、売布小、宝中、大阪成蹊高校、宝塚大学卒。民間企業にて22年。市民活動から2023年宝塚市議会議員に。東京政経塾で3年学び衆議院議員秘書から第18代文科大臣秘書に。政治大学院で政策コンテスト優秀賞。竹中工務店本店にて子供食堂活動に社会貢献賞。**資格** マンション管理士、建築施工管理技士、個人情報保護士、博物館学芸員

無所属

ごあいさつ 議員3年目を経験して、皆様おひとりお一人におだたか子に付託戴いた貴重な1票の重みを実感しています。無所属の議員としての1票で議会の採決が変わる場面が何度かありました。

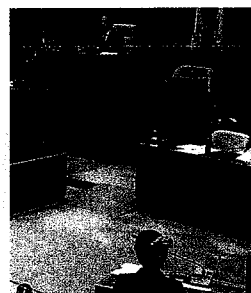
1期目の悲願は、山手地域の交通空白地に小型バスを通す成功事例をつくる事です。公共交通としての課題が多いですが、市民の脚を確保するために、早期実現を目指し頑張ります!!

残したかった高齢者バス・タクシー助成券は一旦廃止となりましたが、バスの乗車率アップのためにも復活を望みます。これからも地域に関する課題を質問し、早期実現、解決を目指します!!(ご意見ご要望受付中!)

1月議会 質問ダイジェスト



おだたか子
質問の録画を
ご覧になれます!



質問1. 住まいの安心 「宝塚市マンション管理計画認定制度」について

質問 市内マンション居住の方々にメリットのある認定制度でマンションの健康診断と言われるが、どんな制度でメリットは。

答弁 法に基づき、管理組合運営や長期修繕計画の作成など、マンションの管理状況が国や自治体が定める基準を満たす場合、管理組合の申請により、適正な管理計画を持つマンションとして市の認定を受ける事ができる制度。認定のメリットは、居住者がマンションの管理状況を把握でき、管理運営を見直す機会となる。適正管理されていると市場評価が高くなる事が期待される。大規模修繕工事時、住宅金融支援機構が実施する融資制度等の活用により金利優遇を受ける事ができ、更に認定を取得し一定要件を満たすものについては、固定資産税の減額対象となる場合がある。

意見 住まいの安心と価値を高める制度。防災等の観点からも適切な管理と維持が必要で、認知啓発を要望します。

おだたか子はマンション管理士です!ぜひご相談下さい!

質問2. 公共交通 生活に必要な路線バスについて

質問 売布・清荒神地域AIオンデマンド交通の実証実験をされたハニタスについて。乗車実績、新たに加えられた売布自由が丘・清荒神5丁目からの利用状況は。



答弁 実証実験の全乗降場所29箇所のうち、当該区域内5箇所の乗降場所における運行開始から3週間の利用実績は、延べ乗降者数480人、1日平均22.9人。これは、すべての利用者の約2割に相当します。

意見 この実証実験の結果が良ければ、市内の不便なところにバスが走る契機になる。是非、成功となる検討を。

質問4. 道路政策 市内渋滞緩和と活性化への道筋

質問 宝塚市の都市計画道路の整備率は? 他市と比べてどうか。私の所属する産業建設常任委員会で提示された数字では、本市はこれからの人口減少を加味してもまだ整備できる余地があるとの説明でした。

答弁 現在、本市は53.81kmの市道を都市計画道路として定めている。2024年3月末時点での整備済延長は40kmで、整備率は74.34%。この値は本市を含む阪神間7市1町のうちで最も低く、まちの基盤としての道路が不足している。防災上の観点でも、今後も都市計画道路の計画的な整備が必要であるため予算の確保に努め、鋭意整備を進めていく。

連絡先 織田貴子事務所 宝塚市清荒神5丁目76-7 E-mail: odaproject0@gmail.com TEL: 080-5080-9432

(!配信中!)



ホームページ



おだたか子チャンネル



Facebook



質問3. 歳入改善 西谷の過疎対策 移住と活性化



西谷の過疎対策がなぜ歳入改善になるか?は、西谷の自然、里山、トカイナカな都市近郊の立地など、憧れの移住に最適な環境の土地が持つ魅力を活性化することで新しい産業やカルチャーが生まれ、観光産業の発展による雇用で若者が仕事とともに移住し、人口減少に歯止めをかけ、全てが繋がって歳入改善になるという壮大な構想です。これは以前からもお願いしていて、市を挙げて市長部局一丸となって取り組まねばなりません。西谷は市の3分の2を占める面積で、市に残された最後の宝の地。資源・資産を生かし、本市の苦しい財政の歳入改善に、今こそ活用案を出す時です。過疎対策も待たなしの状況まできています。

行政と市民の協働で、出来ることから緩和政策をとり、大きなビジョンへと繋げたい。昨年、質問で、産業振興の観点から、企業版ふるさと納税で西谷の保全資金を稼ぎ、北部土地利用計画での地産地消レストランなど地域資源を生かした地域活性化の取組みや、運動レジャー施設やレクリエーション施設についても土地利用規制の弾力化対応が可能であるとの希望の持てる答弁を戴きました。そこで、

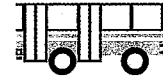
質問 西谷の市街化調整区域の弾力的運用のその後の実績は。

答弁 地域振興に係る店舗等として、2019年度に農家レストラン1件、その後、体験型農業施設1件の建築を許可した。2024年度は、農家レストラン1件を許可する予定です。

質問 移住促進の取組みの現状と課題は。

答弁 2021年度～西谷地区まちづくり協議会が中心となり、地域ごとのまちづくり計画の基本目標である移住の受け皿作りに取組み西谷自治会連合会と連携して空き家の所在や状況について調査、所有者などを対象として利活用に向けた空き家相談セミナーを開催。移住希望者に向けて移住情報サイト「宝塚にしたい スモッカ」での情報発信や、空き家視察ツアーを実施。移住相談も行っている。2件の移住が実現。希望が多い日本家屋や広い庭付の物件が見つかりにくいことが課題。

質問5. 高齢福祉 バス・タクシー運賃助成券について



以前、文化財団主催の寄席・コンサートの割引等にも利用できるようにと提案したがどうか。

事業検証にかかっても、その目的と必要性から継続となっているが、決算特別委員会・報告書の質疑では、複数枚同時に使えないかとのやりとりがあり「その他の意見も参考に検討を進めたい」と応答があった。2023年12月一般質問で提案した件も再度進捗を確認し、方向性を伺う。高齢者の健康増進、外出の機会増加と、公共交通のバスの廃止や減便を避ける為にも本券の利用促進が望ましい。(と強く願い、質問しましたが2025年度廃止決定されました) (2024年12月おだたか子一般質問より抜粋)

本()歳入改善に有効な西谷の資源開発と、遺贈寄附は、市長部局一丸となって積極的に頑張って戴きたい。遺贈寄附とは、社会貢献活動に役立てる事を目的に個人の遺産を寄附する事。遺言によって特定遺贈で、一部でも寄附をした財産は相続税の控除対象に含まれます。国へ納めるべき税金を減らす事ができる。まだ高齢でも所得がある方は所得税の寄附金控除も受けられます。但し、どの団体に寄附をしても優遇措置が受けられるという事ではなく、優遇が受けられるのは国や地方公共団体(=市)です。宝塚市に寄附をして戴ければ、本市の歳入の改善になります。そのための労力は惜まずに、企業版ふるさと納税獲得の推進や、遺贈寄附窓口の開設西谷への投資へと経営判断で大きく舵を切って。これは市長を含め、経営サイドに是非お願いします。

令和7年度予算特別委員会(2025年3月骨格予算冒頭質疑)概要

(2024年12月おだたか子一般質問より抜粋)

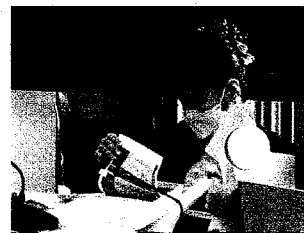
おだたか子は、議会が求めた財政非常事態宣言や過去最大規模となった骨格予算を踏まえ、今後の行財政運営の姿勢について質問しました。特に、新ごみ処理施設整備や物価高騰による影響を挙げ、多額の寄附があっても収支改善は不可欠であり、議会決議を重く受け止めた対応を求めました。これに対し市側は、決議は最大限尊重すべきものと認識し、宣言の発出や具体策について内部協議を重ねてきたと説明。寄附により財政シミュレーションは変化したが、依然厳しい状況であり、今後の具体的な改革方針は新市長のもとで判断するのが適切との考えを示し、引き続き、議会と信頼関係を保ちつつ、持続可能な財政運営に取り組む姿勢が示されました。この後委員長の見解で、一人残られる副市長より、骨格予算なので国や県からの要請や必要最低限を計上されている旨、説明答弁があり冒頭論点の応酬から款ごとの質疑へ。

予算特別委員会／おだたか子質問

■企業版ふるさと納税について

問「企業版ふるさと納税の本市実績は少額。

制度は令和9年度まで延長され、企業に最大9割の税額控除もある。委託先任せでなく、市として具体的なプロジェクトを掲げ、営業的に働きかけるべきでは。」と歳入確保の観点から企業版ふるさと納税の活用拡大や遺贈寄附の相談窓口整備、職員の対応マニュアル整備を求めた。また、北部地域・西谷の活用など具体的な事業企画を通じて寄附を呼び込む取組を進めるよう提案した。



(予算特別委員会にて)

■寄附受入体制・遺贈寄附について

意見「遺贈寄附などの相談が窓口にあった場合の対応フローやマニュアル整備を。大口寄附もあり、受け皿が必要。寄附の意思にしっかり応えられる体制整備を。」

■市営火葬場の火葬炉更新

実際に火葬が1週間待ちになった市民相談を紹介し、火葬炉更新工事(10基中2基更新、約1.4億円)について確認。更新工事中も火葬体制を維持するよう要望し他市火葬時の費用差への配慮を提案。長時間待機のドライアイス追加によるCO₂事故問題を指摘し注意喚起した

市営火葬場 火葬炉更新工事 **問**「今年度は10基中2基を更新ですが、残り8基の更新が遅れた場合の対応は。」

答「火葬業務を継続しながら2炉ずつ更新し、令和11年度までに全炉改修を完了する計画です。」

意見「最期のお別れが円滑に行えるよう、計画的な更新を。やむを得ず他市利用となる場合の負担軽減も含め、今後の検討を求めます。」

■緊急輸送路(旧国道176号線)

おだ委員(要望)「旧176号の歩道未整備区間など、身近で危険な箇所の改善を。都市計画道路だけでなく、生活に直結する道路整備を進めていただきたい。」

■清荒神地区の避難ルート確保

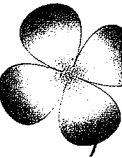
意見(要望)「清荒神地区から御殿山方面への人道橋整備は、防災・高齢者対策・観光振興の面からも有効です。今後の道路施策の中で検討を求めます。」



車多く歩道が無い通勤路

市内で現存する「人道橋」

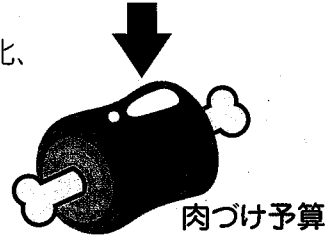
おだたか子は、市内商店街の活性化支援について質疑しました。商業活性化推進事業補助金の実績や、各商店街でのにぎわい創出事業への支援が行われている事を確認。また、店舗等魅力向上チャレンジ支援補助金では店舗リノベーションの申請が多く、ニーズが高いことから、今後も継続した支援を求めました。さらに、商店街・小売市場共同施設建設費助成事業について、アーケード改修や設備更新の支援内容を確認し、老朽化した施設の撤去や照明、防犯カメラ設置など総合的な整備を行う際、関係部局が連携し、相談対応をスムーズに行うよう要望した。



医療・福祉・介護ネットワーク構築について

- 問** ネットワーク構築を市の行財政改革にどうつなげるのか。
- 答** 健康センターや子ども発達支援センター、ステップハウスなどの施設連携を強化し、運営効率を高めることで市立病院の経営改善と行財政改革に繋げる。
- 要望** ステップハウス宝塚のリハビリ機能を生かした高齢者の健康増進と、民間施設との連携強化、ケアマネジャーの事務負担軽減など、介護現場の負担軽減についても改善を求めました。(ケアマネの仕事の効率化で、市に提出する書類を減らし、国が指定する作業も合法的な範囲で簡略化するような具体的な手段や戦略がありますか。とも質問)

骨格予算



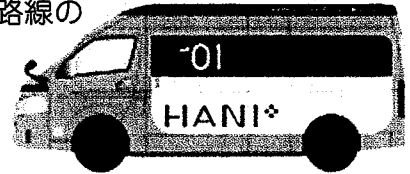
移動手段のニーズ把握について

- 問** 移動手段のニーズ調査の具体的な内容は。
- 答** 人口構造や社会情勢の変化を踏まえ、公共交通だけでなく多様な移動手段の可能性について市民ニーズを調査し、今後検討していく。
- 要望** 市立病院へのアクセスとして重要なバス路線の減便問題を踏まえ、公共交通の確保に繋がる検討を進めるよう求めた。
- 意見** 地域公共交通検証事業、委託料500万円もかけて報告書作成で終わらないように。実装の具現化を、ずっと待っている市民のためにぜひ実現をお願いしたい。「実証実験をしてから何の進展もアクションもない」と、実験に参加した市民、それから期待して待っている方々から、まだかまだかと我々議員もみな言われている。切望して待っている人たちがいる。買物難民！通院難民！免許返納難民は、もう待ったなし！です。
- AIオンデマンドで実証実験をし、実施に時間はかかるわ、値段は上がるわというのであれば、売布・清荒神地区は、売布・山手循環路線の延伸で、まず車両の小型化から運行事業者に諮っていただいて、早期に延伸をまず実現して戴きたい。実証実験で、2割強の人が清荒神の山手地区から乗り、ニーズが実際にある事が証明された。売布山手地域の既存路線は、売布をかけた乗車率の向上も含めて小型化と延伸で事業者に掛け合って戴きたいと切に思う。実証実験をした地域で、実証実験の手法とは違うけれども、公共交通の課題解決に向けた解決策を打つことはできるのか。

2026年3月末
検証結果です！

地域公共交通の検証について

- 問** AIオンデマンドバス実証実験の検証方法は。
- 答** 利用実績や地域アンケートを専門家の知見で分析し、他自治体の事例も参考に検証する。
- 要望** 実証実験の結果を十分に検証し、AIオンデマンド導入だけにこだわらず、既存バス路線の拡充や延伸も含め、市民の通院・買物などの移動手段確保に繋げるよう求めた。



土砂災害警戒区域の点検

- 問** 市有斜面地の点検はどのように実施しているのか。
- 答** 土砂災害特別警戒区域など53か所について、年1回の定期点検を実施している。
- 要望** 住宅地に近い斜面地も多いことから、危険箇所の継続的な点検と安全確保を求める。

障害福祉基金について

- 本予算委員会では財政難に対して3名の議員より、**障害福祉基金**(市民福祉金廃止の際、同額を基金として毎年積みと議決が承認したもの)の積立てを止めて財政調整基金に戻すという(補正予算の)修正案が提出され、委員会採決ではおだたか子の1票取り崩しにより委員長採決で否決相当、本会議でも、おだたか子の1票の取り崩し(棄権)により賛成少数となり否決されました。
- 障害福祉基金の用途は当事者との協議を進めて決めるべきと、おだたか子に付託戴いた1票で守りました!!

- 問** 障害福祉基金の活用について、今後も協議を進める考えはあるのか。
- 答** (市長) 当事者団体と市が覚悟を持って障がい福祉に同規模の財源を充てることを確認しており、今後も協議会などの場で基金の在り方や活用方法について議論を進めていきます。

- 意見** 障害福祉基金は過去の議論を経て積み立てられた経緯があることを踏まえ、使い道を明確にするため当事者団体との協議を行政が主体的に進めるべきと指摘した。また、基金の積立て停止を前提とするものではなく、当事者との対話を重ねながら今後の福祉施策に生かすべきとの考えを、おだたか子は示した。(6月予算委員会より抜粋)

2025年6月議会一般質問(7月3日)

- 質問1 防災** 土砂災害警戒区域(Y・II0-区域)と土砂災害特別警戒区域(R・レッド区域)について

- 問** 河川と商業地域に近接している箇所数と県指定の土砂災害特別警戒区域(レッド区域)付近の台風・豪雨災害時の避難ルート確保について、R区域の市所有斜面地の近くに店舗付き住宅があるところは？
- 答** R区域河川と商業地域が近接しているのは1箇所。(住宅兼店舗が斜面と荒神川横にある清荒神参道付近)

- 意見** 直下に住宅がある所は特に注意深く点検し異常が見られた場合は速やかに措置願います。

- 質問2 基幹相談支援センター** 基幹相談支援センターについて(事業内容と障害福祉の理念)

- 答** 基幹相談支援センターは、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関。市としては、サービス利用の有無にかかわらず、障害のある人の困りごとに寄り添い、課題を解決していくための相談支援体制が重要であると考えており、これらに対応できるのは基幹相談支援センターと委託相談支援事業所です。



おだたか子
質問の録画を
ご覧になれます！



平成29年度に宝塚市市民福祉金条例を廃止し、代わりに宝塚市障害福祉基金条例を制定した中で、その基金を活用して整備の遅れていた相談支援事業所の増設や、地域の相談支援の拠点となる基幹相談支援センターが必要とされ、障がい者さんの地域生活支援拠点として整備された。自立支援協議会の運営などによる地域づくりとは？

＜答＞ 障害者総合支援法の第89条の3に規定されている「自立支援協議会」で地域の実情に応じた体制の整備に係る協議を行います

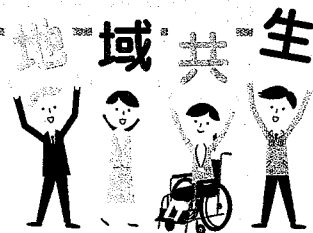
「市民福祉金の廃止の代わりに積み立ててきた基金の中から、重要な拠点基幹相談支援センターが必要な施策として設立され、主な業務として自立支援協議会も円滑に運営して地域の要望やお困りごとを解決し地域づくりをする。このような取組を通して地域の相談機関との連携強化、他機関との連携、協働の促進に取り組んでいる。基幹相談支援センターの業務や福祉の...はこれからの...。これからも当事者の皆さんとの対話や協議を進めていく。市は9年前からの約束を履行し、反故(ほご)になどできない。条例化されていることの履行は業務上必要。目的と意味のある事業。協議をせずに決まる事はないので、しっかりと説明責任を果たし、当事者抜きでの改革はありえない。」

(おだたか子質疑中演説)

問 障がい福祉施策の理念については？

答 「すべての人が自分らしく暮らせる共生社会へ」が基本的理念。

意見 障害のある人も無い人も助け合って、分断の世の中を創ってはいけな。公共の福祉とはなんたるかを今一度考えて戴き、民間事業者では賃金も低く業務も過密で手が回らず出来ないところ、採算はとれないけどやるべきところ、公共の、公けの福祉、行政しかできない福祉をやる、実現するための事業をこれからも続けて、改革すべきところはやって、対話をしてしっかりと協議を進めていって戴きたい。十年来創ってきた信頼を、会話の場をなくさないように守って、ちゃんと機能させて下さい。議会議員も説明責任が伴うので、行政もせっかく築き上げてきた信頼を壊すのではなく、今後、こういった重要なところに予算とか基金をあててより良い社会をつくる、分断せず、皆がバリアフリーになることを目指すべきだと私は思います。障害福祉基金などの使い道もこういった所に取り崩すべきお金なのは。そのための潤沢な基金、積立てなので目的のある必要なお金です



「今後も市民のための政策実現、全ての人にバリアフリーな事業計画をお願い申し上げ、おだたか子の質問を終わります

2025年9月議会一般質問



おだたか子
質問の録画を
ご覧になれます！

公共交通の実証実験では、市立病院へのアクセス需要が一定確認されたが、収支面などから本格導入は課題があり、現在、専門機関が検証中。地域の意見を踏まえ、交通空白地解消や既存路線の維持・延伸も含めた持続可能な交通の在り方を検討する。

また、市立病院建替えは寄附基金を活用し2031年度開院を目標に基本計画を策定中。

「たぐらづかモデル」による医療・福祉連携や既存棟活用も検討し、市民の声を反映した病院整備を求めた。

問 公共交通の実証実験の結果と今後の対応は。

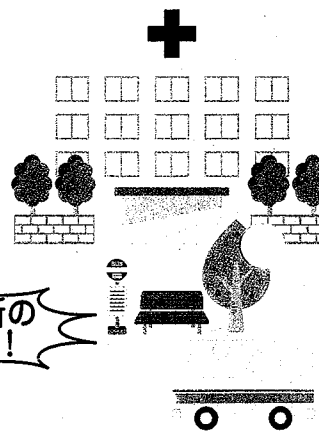
答 市立病院への一定の需要は確認されたが収支面に課題があり、現在専門機関が分析中。結果を踏まえ地域や事業者と協議し、持続可能な公共交通の方向性を検討する。

「病院への交通アクセスの課題も、2022年にバスの便数が削減され、市立病院を選んでくれた市民が大変困っている。新病院の魅力をアップするためにも、各地域からのアクセスを改善し、売布循環線の市立病院行きも無くさずに、延伸で乗車率を上げていく創意工夫をして市民の足を維持して戴きたい。」(9月一般質問中 おだたか子発言)

問 新しい市立病院の建設では、患者が安心できる空間づくりなど建築面の工夫は検討されるのか。

答 基本設計の中で動線や待合環境、受付システムなどを含め検討し、省エネルギーやライフサイクルコストの視点も踏まえながら、患者に配慮した施設整備を進めていく。

無所属おだたか子の1票(皆様おひとりお一人から戴いた貴重な1票)で守った障がい福祉基金は、当事者団体との協議会を経て、売布東の町の福祉の拠点(全ての人にバリアフリーな施設)創りに向け、一旦、新たな積立てが凍結されましたが、14億円を確保し、福祉の拠点整備の検討がされています。施政方針で、新市長が語られた「すべての人が集い交流することができる、多様性を認め合う場」の整備に期待しましょう！ 戴田 貴子



2026年3月末、市内3か所の
交通実験検証結果がでます！



全国市議会議長会 同行視察

12月質問と次予算委(無所属でも入れて戴けるようになりました！)は第4号にて、乞うご期待！

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	広報費	内 訳	広報紙・報告書印刷費	支出番号	15
支 出 日	2026年3月31日		支出金額	643,500 円	
支 出 先	株式会社富士美術				
支出内容	市政報告第3号(A3折・4ページ 両面カラー刷)封筒他				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

領 収 書

2026年3月31日

おだ たか子 様

金額	¥	6	4	3	5	0	0	円
----	---	---	---	---	---	---	---	---

T9120901028961

10%対象

585000 円

消費税

58500 円

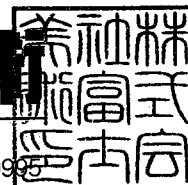
但し千円製作費、封筒印刷費、封入作業費

上記正に領収いたしました



株式会社

富士美術



〒664-0831 兵庫県伊丹市北伊丹2-5

Tel. 072-777-9992(代) Fax. 072-777-9995

御請求書

2026年3月31日

おだたか子 様

登録番号 T9120901028961



フジビジュアル
株式会社 富士美術
印刷部

〒664-0831 兵庫県伊丹市北伊丹2丁目3番地
Tel. 072-777-9992(代) Fax. 072-777-9995
E-mail : fujibijutsu@cello.ocn.ne.jp

お世話になっております。

弊社にてご発注いただきまして、
ありがとうございました。

下記のとおり、ご請求いたしますので、
何卒よろしくお願い申し上げます。

印刷物(チラシ第三号発行)

品名	枚数	金額	
A3 コート90kg 両面カラー 2つ折り 仕上がりサイズはA4 データ製作費込み ※3月28日納品	25000	340,000	(税別)
長3封筒印刷 ソフトカラーグリーン80 カラー印刷 データ製作費込み ※3月28日納品	10000	150,000	(税別)
封入・封緘作業	10000	95,000	(税別)
	小計	585,000	
	消費税10%	58,500	
	合計	643,500	(税込)

お振込の場合は、下記口座にお振込みをお願いします。

振込先 三井住友銀行 池田支店 (普) 7058252 ㈱富士美術

宝塚市議会議員

おだたか子

市政報告 第3号 織田 貴子

プロフィール

1970年宝塚で生まれ育ち、売布小、宝中、大阪成蹊高校、宝塚大学卒。民間企業にて22年。市民活動から2023年宝塚市議会議員に。東京政経塾で3年学び衆議院議員秘書から第18代文相大臣秘書に。政治大学院で政策コンテスト優秀賞。竹中工務店本店にて子供食堂活動に社会貢献賞。**資格** マンション管理士、建築施工管理技士、個人情報保護士、博物館学芸員

無所属

ごあいさつ 議員3年目を経験して、皆様おひとりお一人におだたか子に付託戴いた貴重な1票の重みを実感しています。無所属の議員としての1票で議会の採決が変わる場面が何度かありました。

1期目の悲願は、山手地域の交通空白地に小型バスを通す成功事例をつくる事です。公共交通としての課題が多いですが、市民の脚を確保するために、早期実現を目指し頑張ります!!

残したかった高齢者バス・タクシー助成券は一旦廃止となりましたが、バスの乗車率アップのためにも復活を望みます。これからも地域に関する課題を質問し、早期実現、解決を目指します!!(ご意見ご要望受付中!)

1月議会 質問ダイジェスト



おだたか子
質問の録画を
ご覧になれます!



質問1. 住まいの安心 「宝塚市マンション管理計画認定制度」について

質問 市内マンション居住の方々にメリットのある認定制度でマンションの健康診断と言われるが、どんな制度でメリットは。

答弁 法に基づき、管理組合運営や長期修繕計画の作成など、マンションの管理状況が国や自治体が定める基準を満たす場合、管理組合の申請により、適正な管理計画を持つマンションとして市の認定を受ける事ができる制度。認定のメリットは、居住者がマンションの管理状況を把握でき、管理運営を見直す機会となる。適正管理されていると市場評価が高くなる事が期待される。大規模修繕工事時、住宅金融支援機構が実施する融資制度等の活用により金利優遇を受ける事ができ、更に認定を取得し一定要件を満たすものについては、固定資産税の減額対象となる場合がある。

意見 住まいの安心と価値を高める制度。防災等の観点からも適切な管理と維持が必要で、認知啓発を要望します。

おだたか子はマンション管理士です!ぜひご相談下さい!

質問2. 公共交通 生活に必要な路線バスについて

質問 売布・清荒神地域AIオンデマンド交通の実証実験をされたハニタスについて。乗車実績、新たに加えられた売布自由が丘・清荒神5丁目からの利用状況は。



答弁 実証実験の全乗降場所29箇所のうち、当該区域内5箇所の乗降場所における運行開始から3週間の利用実績は、延べ乗降者数480人、1日平均22.9人。これは、すべての利用者の約2割に相当します。

意見 この実証実験の結果が良ければ、市内の不便なところにバスが走る契機になる。是非、成功となる検討を。

質問4. 道路政策 市内渋滞緩和と活性化への道筋

質問 宝塚市の都市計画道路の整備率は? 他市と比べてどうか。私の所属する産業建設常任委員会で提示された数字では、本市はこれからの人口減少を加味してもまだ整備できる余地があるとの説明でした。

答弁 現在、本市は53.81kmの市道を都市計画道路として定めている。2024年3月末時点での整備済延長は40kmで、整備率は74.34%。この値は本市を含む阪神間7市1町のうちで最も低く、まちの基盤としての道路が不足している。防災上の観点でも、今後も都市計画道路の計画的な整備が必要であるため予算の確保に努め、鋭意整備を進めていく。

連絡先 織田貴子事務所 宝塚市清荒神5丁目76-7 E-mail: odaproject0@gmail.com TEL: 080-5080-3432

[[配信中!]]
@book011



ホームページ



おだたか子チャンネル
YouTube



Facebook
Takako Odaka



質問3. 歳入改善 西谷の過疎対策 移住と活性化



西谷の過疎対策がなぜ歳入改善になるか?は、西谷の自然、里山、トカイナカな都市近郊の立地など、憧れの移住に最適な環境の土地が持つ魅力を活性化することで新しい産業やカルチャーが生まれ、観光産業の発展による雇用で若者が仕事とともに移住し、人口減少に歯止めをかけ、全てが繋がって歳入改善になるという壮大な構想です。これは以前からもお願いしていて、市を挙げて市長部局一丸となって取り組まねばなりません。西谷は市の3分の2を占める面積で、市に残された最後の宝の地。資源・資産を生かし、本市の苦しい財政の歳入改善に、今こそ活用案を出す時です。過疎対策も待たなしの状況まで来ています。

行政と市民の協働で、出来ることから緩和政策をとり、大きなビジョンへと繋げたい。昨年の質問で、産業振興の観点から、企業版ふるさと納税で西谷の保全資金を稼ぎ、北部土地利用計画での地産地消レストランなど地域資源を生かした地域活性化の取組みや、運動レジャー施設やレクリエーション施設についても土地利用規制の弾力化対応が可能であるとの希望の持てる答弁を戴きました。そこで、

質問 西谷の市街化調整区域の弾力的運用のその後の実績は。

答弁 地域振興に係る店舗等として、2019年度に農家レストラン1件、その後、体験型農業施設1件の建築を許可した。2024年度は、農家レストラン1件を許可する予定です。

質問 移住促進の取組みの現状と課題は。

答弁 2021年度～西谷地区まちづくり協議会が中心となり、地域ごとのまちづくり計画の基本目標である移住の受け皿作りに取り組み西谷自治会連合会と連携して空き家の所在や状況について調査、所有者などを対象として利活用に向けた空き家相談セミナーを開催。移住希望者に向けて移住情報サイト「宝塚にしたい スモッカ」での情報発信や、空き家視察ツアーを実施。移住相談も行っている。2件の移住が実現。希望が多い日本家屋や広い庭付の物件が見つかりにくいことが課題。

質問5. 高齢福祉 バス・タクシー運賃助成券について



以前、文化財団主催の寄席・コンサートの割引等にも利用できるようにと提案したがどうか。

事業検証にかかっても、その目的と必要性から継続となっているが、決算特別委員会・報告書の質疑では、複数枚同時に使えないかとのやりとりがあり「その他の意見も参考に検討を進めたい」と応答があった。2023年12月一般質問で提案した件も再度進捗を確認し、方向性を伺う。高齢者の健康増進、外出の機会増加と、公共交通のバスの廃止や減便を避ける為にも本券の利用促進が望ましい。(と強く願い、質問しましたが2025年度廃止決定されました) (2024年12月おだたか子一般質問より抜粋)

本人の歳入改善に有効な西谷の資源開発と、遺贈寄附は、市長部局一丸となって積極的に頑張って戴きたい。遺贈寄附とは、社会貢献活動に役立てる事を目的に個人の遺産を寄附する事。遺言によって特定遺贈で、一部でも寄附をした財産は相続税の控除対象に含まれます。国へ納めるべき税金を減らす事ができる。まだ高齢でも所得がある方は所得税の寄附金控除も受けられます。但し、どの団体に寄附をしても優遇措置が受けられるという事ではなくて、優遇が受けられるのは国や地方公共団体(=市)です。宝塚市に寄附をして戴ければ、本市の歳入の改善になります。そのための労力は惜しまずに、企業版ふるさと納税獲得の推進や、遺贈寄附窓口の開設西谷への投資へと経営判断で大きく舵を切って。これは市長を含め、経営サイドに是非お願いします。

令和7年度予算特別委員会(2025年3月骨格予算冒頭質疑)概要

(2024年12月おだたか子一般質問より抜粋)

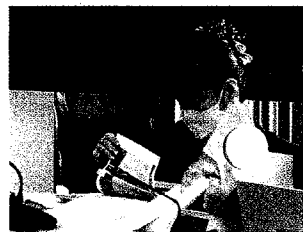
おだたか子は、議会が求めた財政非常事態宣言や過去最大規模となった骨格予算を踏まえ、今後の行財政運営の姿勢について質問しました。特に、新ごみ処理施設整備や物価高騰による影響を挙げ、多額の寄附があっても収支改善は不可欠であり、議会決議を重く受け止めた対応を求めました。これに対し市側は、決議は最大限尊重すべきものと認識し、宣言の発出や具体策について内部協議を重ねてきたと説明。寄附により財政シミュレーションは変化したが、依然厳しい状況であり、今後の具体的な改革方針は新市長のもとで判断するのが適切との考えを示し、引き続き、議会と信頼関係を保ちつつ、持続可能な財政運営に取り組む姿勢が示されました。この後委員長の見解で、一人残られる副市長より、骨格予算なので国や県からの要請や必要最低限を計上されている旨、説明答弁があり冒頭論点の応酬から款ごとの質疑へ。

予算特別委員会／おだたか子質問

■企業版ふるさと納税について

問「企業版ふるさと納税の本市実績は少額。

制度は令和9年度まで延長され、企業に最大9割の税額控除もある。委託先任せでなく、市として具体的なプロジェクトを掲げ、営業的に働きかけるべきでは。」と歳入確保の観点から企業版ふるさと納税の活用拡大や遺贈寄附の相談窓口整備、職員の対応マニュアル整備を求めた。また、北部地域・西谷の活用など具体的な事業企画を通じて寄附を呼び込む取組を進めるよう提案した。



(予算特別委員会にて)

■寄附受入体制・遺贈寄附について

意見「遺贈寄附などの相談が窓口にあった場合の対応フローやマニュアル整備を。大口寄附もあり、受け皿が必要。寄附の意思にしっかり応えられる体制整備を。」

■市営火葬場の火葬炉更新

実際に火葬が1週間待ちになった市民相談を紹介し、火葬炉更新工事(10基中2基更新、約1.4億円)について確認。更新工事中も火葬体制を維持するよう要望し他市火葬時の費用差への配慮を提案。長時間待機のドライアイス追加によるCO₂事故問題を指摘し注意喚起した

市営火葬場 火葬炉更新工事 **問**「今年度は10基中2基を更新ですが、残り8基の更新が遅れた場合の対応は。」

答「火葬業務を継続しながら2炉ずつ更新し、令和11年度までに全炉改修を完了する計画です。」

意見「最期のお別れが円滑に行えるよう、計画的な更新を。やむを得ず他市利用となる場合の負担軽減も含め、今後の検討を求めます。」

■緊急輸送路(旧国道176号線)

おだ委員(要望)「旧176号の歩道未整備区間など、身近で危険な箇所の改善を。都市計画道路だけでなく、生活に直結する道路整備を進めていただきたい。」

■清荒神地区の避難ルート確保

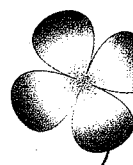
意見(要望)「清荒神地区から御殿山方面への人道橋整備は、防災・高齢者対策・観光振興の面からも有効です。今後の道路施策の中で検討を求めます。」



車多く歩道が無い通勤路

市内で現存する「人道橋」

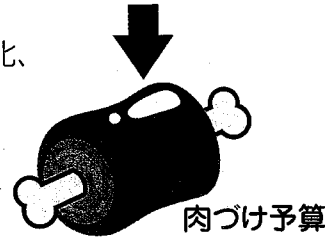
おだたか子は、市内商店街の活性化支援について質疑しました。商業活性化推進事業補助金の実績や、各商店街でのにぎわい創出事業への支援が行われている事を確認。また、店舗等魅力向上チャレンジ支援補助金では店舗リノベーションの申請が多く、ニーズが高いことから、今後も継続した支援を求めました。さらに、商店街・小売市場共同施設建設費助成事業について、アーケード改修や設備更新の支援内容を確認し、老朽化した施設の撤去や照明、防犯カメラ設置など総合的な整備を行う際には関係部局が連携して相談対応するよう要望しました。



医療・福祉・介護ネットワーク構築について

- 問** ネットワーク構築を市の行財政改革にどうつなげるのか。
- 答** 健康センターや子ども発達支援センター、ステップハウスなどの施設連携を強化し、運営効率を高めることで市立病院の経営改善と行財政改革に繋げる。
- 要望** ステップハウス宝塚のリハビリ機能を生かした高齢者の健康増進と、民間施設との連携強化、ケアマネジャーの事務負担軽減など、介護現場の負担軽減についても改善を求めました。(ケアマネの仕事の効率化で、市に提出する書類を減らし、国が指定する作業も合法的な範囲で簡略化するような具体的な手段や戦略がありますか。とも質問)

骨格予算



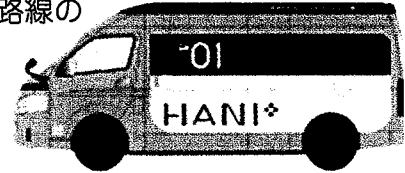
移動手段のニーズ把握について

- 問** 移動手段のニーズ調査の具体的な内容は。
- 答** 人口構造や社会情勢の変化を踏まえ、公共交通だけでなく多様な移動手段の可能性について市民ニーズを調査し、今後検討していく。
- 要望** 市立病院へのアクセスとして重要なバス路線の減便問題を踏まえ、公共交通の確保に繋がる検討を進めるよう求めた。
- 意見** 地域公共交通検証事業、委託料500万円もかけて報告書作成で終わらないように。実装の具現化を、ずっと待っている市民のためにぜひ実現をお願いしたい。「実証実験をしてから何の進展もアクションもない」と、実験に参加した市民、それから期待して待っている方々から、まだかまだかと我々議員もみな言われている。切望して待っている人たちがいる。買物難民！通院難民！免許返納難民は、もう待ったなし！です。
- AIオンデマンドで実証実験をし、実施に時間はかかるわ、値段は上がるわというのであれば、売布・清荒神地区は、売布・山手循環路線の延伸で、まず車両の小型化から運行事業者に諮っていただいて、早期に延伸をまず実現して戴きたい。実証実験で、2割強の人が清荒神の山手地区から乗り、ニーズが実際にある事が証明された。売布山手地域の既存路線は、売布をかけた乗車率の向上も含めて小型化と延伸で事業者に掛け合って戴きたいと切に思う。実証実験をした地域で、実証実験の手法とは違うけれども、公共交通の課題解決に向けた解決策を打つことはできるのか。

地域公共交通の検証について

- 問** AIオンデマンドバス実証実験の検証方法は。
- 答** 利用実績や地域アンケートを専門家の知見で分析し、他自治体の事例も参考に検証する。
- 要望** 実証実験の結果を十分に検証し、AIオンデマンド導入だけにこだわらず、既存バス路線の拡充や延伸も含め、市民の通院・買物などの移動手段確保に繋げるよう求めた。

2026年3月末
検証結果です！



土砂災害警戒区域の点検

- 問** 市有斜面地の点検はどのように実施しているのか。
- 答** 土砂災害特別警戒区域など53か所について、年1回の定期点検を実施している。
- 要望** 住宅地に近い斜面地も多いことから、危険箇所の継続的な点検と安全確保を求める。

障害福祉基金について

- 本予算委員会では財政難に対して3名の議員より、**障害福祉基金**(市民福祉金廃止の際、同額を基金として毎年積み立てる議決が承認したもの)の積立てを止めて財政調整基金に戻すという(補正予算の)修正案が提出され、委員会採決ではお(こ)か子の1票取り崩しにより委員長採決で否決相当、本会議でも、おだたか子の1票の取り崩し(棄権)により賛成少数となり否決されました。
- 障害福祉基金の用途は当事者との協議を進めて決めるべきと、おだたか子に付託戴いた1票で守りました!!

- 問** 障害福祉基金の活用について、今後も協議を進める考えはあるのか。
- 答** (市長) 当事者団体と市が覚悟を持って障がい福祉に同規模の財源を充てることを確認しており、今後も協議会などの場で基金の在り方や活用方法について議論を進めていきます。

- 意見** 障害福祉基金は過去の議論を経て積み立てられた経緯があることを踏まえ、使い道を明確にするため当事者団体との協議を行政が主体的に進めるべきと指摘した。また、基金の積立て停止を前提とするものではなく、当事者との対話を重ねながら今後の福祉施策に生かすべきとの考えを、おだたか子は示した。(6月予算委員会より抜粋)

2025年6月議会一般質問(7月3日)

- 質問1 防災** 土砂災害警戒区域(Y・II0-区域)と土砂災害特別警戒区域(R・レッド区域)について

- 問** 河川と商業地域に近接している箇所数と県指定の土砂災害特別警戒区域(レッド区域)付近の台風・豪雨災害時の避難ルート確保について、R区域の市所有斜面地の近くに店舗付き住宅があるところは？
- 答** R区域河川と商業地域が近接しているのは1箇所。(住宅兼店舗が斜面と荒神川横にある清荒神参道付近)

- 意見** 直下に住宅がある所は特に注意深く点検し異常が見られた場合は速やかに措置願います。

- 質問2 基幹相談支援センター** 基幹相談支援センターについて(事業内容と障害福祉の理念)

- 答** 基幹相談支援センターは、地域における相談支援の中核的な役割を担う機関。市としては、サービス利用の有無にかかわらず、障害のある人の困りごとに寄り添い、課題を解決していくための相談支援体制が重要であると考えており、これらに対応できるのは基幹相談支援センターと委託相談支援事業所です。



おだたか子
質問の録画を
ご覧いただけます。



平成29年度に宝塚市市民福祉金条例を廃止し、代わりに宝塚市障害福祉基金条例を制定した中で、その基金を活用して整備の遅れていた相談支援事業所の増設や、地域の相談支援の拠点となる**基幹相談支援センター**が必要とされ、障がい者さんの地域生活支援拠点として整備された。自立支援協議会の運営などによる地域づくりとは？

＜答弁＞障害者総合支援法の第89条の3に規定されている「自立支援協議会」で地域の実情に応じた体制の整備に係る協議を行います

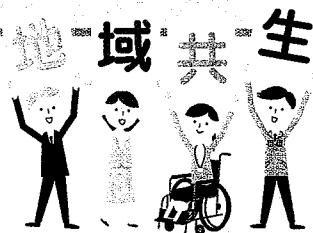
「市民福祉金の廃止の代わりに積み立ててきた基金の中から、重要な拠点**基幹相談支援センター**が必要な施策として設立され、主な業務として自立支援協議会も円滑に運営して地域の要望やお困りごとを解決し地域づくりをする。このような取組を通して地域の相談機関との連携強化、他機関との連携、協働の促進に取り組んでいる。基幹相談支援センターの業務や福祉の**おこし**はこれからの**おこし**。これからも当事者の皆さんとの対話や協議を進めていく。市は9年前からの約束を履行し、反故(ほご)になどできない。条例化されていることの履行は業務上必要。目的と意味のある事業。協議をせずに決まる事はないので、しっかりと説明責任を果たし、当事者抜きでの改革はありえない。」

(おだたか子質疑中演説)

問 障がい福祉施策の理念については？

答 「すべての人が自分らしく暮らせる共生社会へ」が基本的理念。

意見 障碍のある人も無い人も助け合って、分断の世の中を創ってはいけな**い**。公共の福祉とはなんたるかを今一度考えて戴き、民間事業者では賃金も低く業務も過密で手が回らず出来ないところ、採算はとれないけどやるべきところ、公共の、公けの福祉、行政しかできない福祉をやる、実現するための事業をこれからも続けて、改革すべきところはやって、対話をしてしっかりと協議を進めていって戴きたい。十年来創ってきた信頼を、会話の場をなくさないように守って、ちゃんと機能させて下さい。議会議員も説明責任が伴うので、行政もせっかく築き上げてきた信頼を壊すのではなく、今後、こういった重要なところに予算とか基金をあててより良い社会をつくる、分断せず、皆がバリアフリーになることを目指すべきだと私は思います。障碍福祉基金などの使い道もこういった所に取り崩すべきお金なのでは。そのための潤沢な基金、積立てなので目的のある必要なお金です



「今後も市民のための政策実現、全ての人にバリアフリーな事業計画をお願い申し上げ、おだたか子の質問を終わります

2025年9月議会一般質問



おだたか子
質問の録画を
ご覧になれます！

公共交通の実証実験では、市立病院へのアクセス需要が一定確認されたが、収支面などから本格導入は課題があり、現在、専門機関が検証中。地域の意見を踏まえ、交通空白地解消や既存路線の維持・延伸も含めた持続可能な交通の在り方を検討する。

また、市立病院建替えは寄附基金を活用し2031年度開院を目標に基本計画を策定中。

「**な**らつかモデル」による医療・福祉連携や既存棟活用も検討し、市民の声を反映した病院整備を求めた。

問 公共交通の実証実験の結果と今後の対応は。

答 市立病院への一定の需要は確認されたが収支面に課題があり、現在専門機関が分析中。結果を踏まえ地域や事業者と協議し、持続可能な公共交通の方向性を検討する。

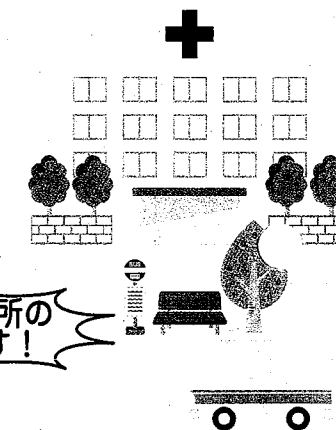
「病院への交通アクセスの課題も、2022年にバスの便数が削減され、市立病院を選んでくれた市民が大変困っている。新病院の魅力をアップするためにも、各地域からのアクセスを改善し、売布循環線の市立病院行きも無くさずに、延伸で乗車率を上げていく**創意工夫**をして市民の足を維持して戴きたい。」（9月一般質問中 おだたか子発言）

(青の湖にて)

問 新しい市立病院の建設では、患者が安心できる空間づくりなど建築面の工夫は検討されるのか。

答 基本設計の中で動線や待合環境、受付システムなどを含め検討し、省エネルギーやライフサイクルコストの視点も踏まえながら、患者に配慮した施設整備を進めていく。

無所属おだたか子の1票（皆様おひとりお一人から戴いた貴重な1票）で守った障がい福祉基金は、当事者団体との協議会を経て、売布東の町の福祉の拠点（全ての人にバリアフリーな施設）創りに向け、一旦、新たな積立てが凍結されましたが、14億円を確保し、福祉の拠点整備の検討がされています。施政方針で、新市長が語られた「すべての人が集い交流することができる、多様性を認め合う場」の整備に期待しましょう！ 威田 貴子

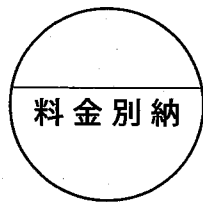


2026年3月末、市内3か所の
交通実験検証結果がでます！



全国市議会議長会 同行視察

12月質問と次予算委(無所属でも入れて戴けるようになりました!)は第4号にて。どうぞ期待!



タウンプラス

地域のみな様へ

ご相談ご要望がありましたら
お気軽にお声をおかけ下さい

宝塚市議会議員

おだ たか子

織田 貴子

〒665-0836 宝塚市清荒神五丁目 76-7
E-mail:odatakakochannel@gmail.com



(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	広聴費	内 訳	交通費	支出番号	16
支 出 日	2025年6月24日		支出金額	400 円	
支 出 先	ソリオ宝塚都市開発㈱				
支出内容	市民相談・広聴活動				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

ソリオ第一駐車場
TEL0797-81-8210
全て消費税10%適用対象
登録番号:T9140001081653
ソリオ宝塚都市開発株式会社

領 収 証

入車日時 2025年06月24日 14時00分
精算日時 2025年06月24日 16時02分
No.02-000251 券No.01-299174

駐車料金（一般） 800円

割引 (1H割) 1枚
400円

料金計	400円
-----	------

投入現金	500円
釣銭額	100円

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	広聴費	内 訳	交通費	支出番号	17
支 出 日	2025年6月29日		支出金額	200 円	
支 出 先	ソリオ宝塚都市開発㈱				
支出内容	市民相談・広聴活動				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

ソリオ第一駐車場
TEL0797-81-8210
全て消費税10%適用対象
登録番号:T9140001081653
ソリオ宝塚都市開発株式会社

領收証

入車日時 2025年06月29日 18時07分
精算日時 2025年06月29日 19時36分
No.02-000413 券No.01-304039

駐車料金 (一般)	600円
------------	------

割引 (1H割) 1枚
400円

料金計	200円
-----	------

投入現金	200円
釣銭額	0円

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	広聴費	内 訳	交通費	支出番号	18
支 出 日	2025年7月26日		支出金額	200 円	
支 出 先	ソリオ宝塚都市開発㈱				
支出内容	市民相談・広聴活動				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

ソリオ第一駐車場
TEL0797-81-8210
全て消費税10%適用対象
登録番号：T9140001081653
ソリオ宝塚都市開発株式会社

領 収 証

入車日時 2025年07月26日 12時34分
出車日時 2025年07月26日 14時02分
No.01-000224 券No.01-326998

駐車料金（一般） 600円

割引 (1H割) 1枚
400円

料金計 200円

投入現金	500円
釣銭額	300円

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	広聴費	内 訳	交通費	支出番号	19
支 出 日	2025年10月31日		支出金額	200 円	
支 出 先	ソリオ宝塚都市開発㈱				
支出内容	市民相談・広聴活動				

<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可	ポイント	無	円減額
------------------------	------	---	-----

ソリオ第一駐車場
TEL0797-81-8210
全て消費税10%適用対象
登録番号:T9140001081653
ソリオ宝塚都市開発株式会社

領 収 証

入車日時 2025年10月31日 13時50分
精算日時 2025年10月31日 15時20分
No.02-000309 券No.01-408043

駐車料金 (一般) 600円
割引 (1H割) 1枚 400円

料金計 200円
投入現金 200円
釣銭額 0円

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	広聴費	内 訳	交通費	支出番号	20
支 出 日	2026年1月12日		支出金額	200 円	
支 出 先	ソリオ宝塚都市開発㈱				
支出内容	市民相談・広聴活動				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

ソリオ第一駐車場
TEL0797-81-8210
全て消費税10%適用対象
登録番号:T9140001081653
ソリオ宝塚都市開発株式会社

領 収 証

入車日時 2026年01月12日 12時31分
精算日時 2026年01月12日 14時02分
No.02-000128 券No.01-469623

駐車料金(一般) 600円
割引 (1H割) 1枚
400円
料金計 200円
投入現金 200円
釣銭額 0円

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	広聴費	内 訳	交通費	支出番号	21
支 出 日	2025年11月6日		支出金額	400 円	
支 出 先	株式会社島家				
支出内容	市民相談・広聴活動				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

領 収 書

おだ たか子 様

2025年 11月 6日
No. 00053812

¥ 4 0 0 —

税抜合計 ¥364-
消費税等 ¥36-

株式会社 島 家

収入
印 紙

但し、駐車代として上記の金額正に領収致しました。

宝塚ワシントンホテル

宝塚市栄町2-2-2 TEL:0797-87-1771

T8140001081588

駐車場代金の消費税率は10%対象です。

* お 願 い * この領収書は、感熱紙の為保管にご注意下さい。

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	広聴費	内 訳	交通費	支出番号	22
支 出 日	2026年3月5日		支出金額	300 円	
支 出 先	ソリオ宝塚都市開発(株)				
支出内容	市民相談・広聴活動				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

ソリオ第4駐車場
宝塚市栄町2丁目5番1号
TEL0797-81-7551

領 収 証

入車日時 2026年03月05日 14時34分
出車日時 2026年03月05日 18時45分
No.01-000076 券No.01-194792

駐車料金(一般) 1100円
割引 (2H割) 1枚
800円

料金計 300円
.....
投入現金 10,000円
釣銭額 9,700円
.....

全て消費税1.0%適用対象
登録番号:T9140001081653
ソリオ宝塚都市開発株式会社

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	広聴費	内 訳	交通費	支出番号	23
支 出 日	2025年12月13日		支出金額	200 円	
支 出 先	ソリオ宝塚都市開発㈱				
支出内容	市民相談・広聴活動				

<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可

ポイント 無 円減額

花のみち駐車場
TEL 0797-87-8794

領 収 証

入車日時 2025年12月13日 12時27分
出車日時 2025年12月13日 13時57分
No.01-000036 券No.01-331764

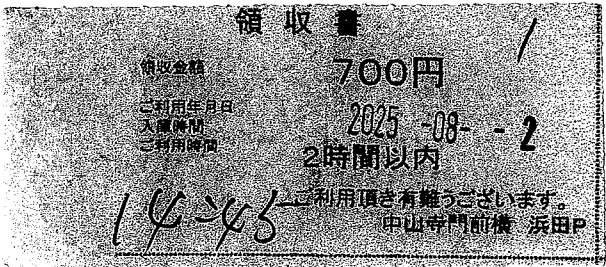
駐車料金 (1H7J) 600円
割引 (1H7J) 1枚
400円
料金計 200円
投入現金 200円
釣銭額 0円

全て消費税10%適用対象
登録番号：T9140001081653
ソリオ宝塚都市開発株式会社

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	広聴費	内 訳	交通費	支出番号	24
支 出 日	2025年8月2日		支出金額	700 円	
支 出 先	中山寺門前横浜田P				
支出内容	市民相談・広聴活動				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額



(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	広聴費	内 訳	交通費	支出番号	25
支 出 日	2025年8月5日		支出金額	200 円	
支 出 先	川西都市開発株式会社				
支出内容	市民相談・広聴活動				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

アステ川西駐車場

領收証

精算機 #04	P 精算No.000403
発券機 #06	発券No.051814
入庫時刻 2025年 8月 5日(火) 17:26	
精算時刻 2025年 8月 5日(火) 20:00	
駐車時間	2:34
駐車料金	A料金 1,000円
店181(割02)	1枚 -800円
=====	
合 計	200円
(内税10%対象額	200円)
現金領収額	200円
お預り	200円
お釣り	0円

気をつけてお帰り下さい。
 上記合計金額は消費税率10%対象です。
 登録番号T3-1400-0107-9265
 川西都市開発株式会社

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	広聴費	内 訳	交通費	支出番号	26
支 出 日	2025年9月14日		支出金額	800 円	
支 出 先	逆瀬川都市開発㈱				
支出内容	市民相談・広聴活動				

＜領収書等添付欄＞ 裏面使用または別紙添付可

ポイント

無

円減額

アピア 2 駐車場

領收証

精算機 #02	A 精算No.000433
発券機 #02	発券No.001400
入庫時刻	2025年 9月14日(日) 13:13
出庫時刻	2025年 9月14日(日) 16:45
駐車時間	3:32
駐車料金	B料金 1,400円
店001	B料金 1枚
	-600円

合 計	800円
現金・預金収入額	800円
お預り	1,000円
お釣り	200円
合計は、消費税率10%対象です。(内税)	

逆瀬川都市開発株式会社
登録番号 T5140001081525

またのご利用をお待ちしております。

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	広聴費	内 訳	交通費	支出番号	27
支 出 日	2025年9月21日		支出金額	100 円	
支 出 先	三井不動産リアルティ(株)				
支出内容	市民相談・広聴活動				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額



リパーク宝塚市立東公民館駐車場

領 収 書

精算機 #01 A 精算No.000184

入庫時刻 2025年 9月21日(日) 14:21

出庫時刻 2025年 9月21日(日) 15:51

駐車料金 A料金 100円

=====

合 計 100円

(内税10%対象額 100円)

現金領収金額 100円

現金入金額 100円

釣銭 0円

三井不動産リアルティ株式会社

登録番号 T8010001140514

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	広聴費	内 訳	交通費	支出番号	28
支 出 日	2025年12月26日		支出金額	200 円	
支 出 先	三井不動産リアルティ(株)				
支出内容	市民相談・広聴活動				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額



リパーク宝塚旭町1丁目第3

領 収 書

精算機 #01 A 精算No.000063
車室番号(自動車) 1
入庫時刻 2025年12月26日(金) 10:02
精算時刻 2025年12月26日(金) 10:42
駐車料金 A料金 200円

合 計 200円
(内税10%対象額 200円)
現金領収金額 200円
現金入金額 200円
釣銭 0円

三井不動産リアルティ株式会社
登録番号 T2610001140514

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	広聴費	内 訳	交通費	支出番号	29
支 出 日	2026年1月14日	支出金額	200 円		
支 出 先	OnePark清荒神駅前				
支出内容	市民相談・広聴活動				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

OnePark清荒神駅前
㈱イチネンパーキング税10%
T8120001076573

《 領 収 書 》

[NO. 2]
26年01月14日16:22 --01月14日16:47
駐車料金 200円

合計 200円

お預り 500円
お釣 300円
NO.051886

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	広聴費	内 訳	交通費	支出番号	30
支 出 日	2026年3月7日		支出金額	300 円	
支 出 先	NPO法人こむの事業所				
支出内容	市民相談・広聴活動				

<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可

ポイント 無 円減額

16時31分までに

出庫してください
出庫番号

1

こむ1北 駐車場

2026/03/07

入庫13時09分 受付16時16分

利用時間 3時間 7分

駐車場利用代金として

領収
金額 300 円

内消費税 27 円

NPO法人 こむの事業所

0797-87-8330

登録番号T1140005019013

駐車場料金は当駐車場で働く
障害者の給与に役立ってます。

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	広聴費	内 訳	交通費	支出番号	31
支 出 日	2025年10月15日		支出金額	150 円	
支 出 先	タイムズ 2 4 株式会社				
支出内容	市民相談・広聴活動				

＜領収書等添付欄＞ 裏面使用または別紙添付可

ポイント

無

円減額

001137274 登録番号T4010001137274 登録
税率10%) タイムズ24株式会社(適用税率10%) タイ
号T4010001137274 登録番号T4010001137274
会社(適用税率10%) タイムズ24株式会社(適用税率10
4 登録番号T4010001137274 登録番号T401000
ズ24株式会社(適用税率10%) タイムズ24株式会社(適
1137274 登録番号T4010001137274 登録番号T
) タイムズ24株式会社(適用税率10%) タイムズ24株
F4010001137274 登録番号T4010001137274
税率10%) タイムズ24株式会社(適用税率10%) タイ
登録番号T4010001137274 登録番号T401000113
会社(適用税率10%) タイムズ24株式会社(適用税率10
領収書
精算機 #02 A 精算No.000093
精算機 #01 発券No.03614 (通
川) 001137274 2025年10月15日(水) 12:37 登録
() 精算時刻 2025年10月15日(水) 13:36 4株
乗車時間 001137274 登録番号T4010001137274
駐車料金 タイムズ24株式会社(適用税率 600円 タイ
店128(割)02 A料金 校 -450円
Z74 登録番号T4010001137274 登録番号T40100
会社(適用税率10%) タイムズ24株式会社(適用税率10
001137274 登録番号T4010001137274 登録番号T4010001137274
現金預収額 登録番号T4010001137274 登録番号T4010001137274
ズ お預け社(適用税率10%) タイムズ24株式会社(適用税率10%)
お釣り 001137274 登録番号T4010001137274
) タイムズ24株式会社(適用税率10%) タイムズ24株
またのご利用をお待ちしております。
1 登録番号T4010001137274 登録番号T4010001137274
税率10%) タイムズ24株式会社(適用税率10%) タイ

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	広聴費	内 訳	交通費	支出番号	32
支 出 日	2025年11月9日		支出金額	750 円	
支 出 先	タイムズ24株式会社				
支出内容	市民相談・広聴活動				
＜領収書等添付欄＞ 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

10001137274 登録番号14010001137274 登録
社(適用税率10%) タイムズ24株式会社(適用税率10%)
番号T4010001137274 登録番号T4010001137274
タイムズ24株式会社(適用税率10%) タイムズ24株式会社(適用税率10%)
74 登録番号T4010001137274 登録番号T4010001137274
タイムズ24株式会社(適用税率10%) タイムズ24株式会社(適用税率10%)
01137274 登録番号T4010001137274 登録番号T4010001137274
税率10%) タイムズ24株式会社(適用税率10%) タイムズ24株式会社(適用税率10%)
号T4010001137274 登録番号T4010001137274
社(適用税率10%) タイムズ24株式会社(適用税率10%)
登録番号T4010001137274 登録番号T4010001137274
タイムズ24株式会社(適用税率10%) タイムズ24株式会社(適用税率10%)
1137274 登録番号T4010001137274 登録番号T4010001137274
精算機 #02 精算No. 000882
券機 #01 券No. 046997
入庫時刻 2025年11月9日(日) 13:59
精算時刻 2025年11月9日(日) 16:24
駐車時間 0001137274 登録番号T4010001137274
駐車料金 750円
合計 750円
現金領収額 750円
お預り 1,000円
お釣り 250円
またのご利用をお待ちしております。タイムズ24株式会社(適用税率10%)
74 登録番号T4010001137274 登録番号T4010001137274

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	広聴費	内 訳	交通費	支出番号	33
支 出 日	2026年3月26日		支出金額	300 円	
支 出 先	タイムズ24株式会社				
支出内容	市民相談・広聴活動				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

01137274 登録番号T4010001137274 登録番号
株式会社(適用税率10%) タイムズ24株式会社(適用税率
計4010001137274 登録番号T4010001137274
ムズ24株式会社(適用税率10%) タイムズ24株式会社
登録番号T4010001137274 登録番号T4010001
%) タイムズ24株式会社(適用税率10%) タイムズ24
137274 登録番号T4010001137274 登録番号T4
用税率10%) TEL:0120-70-8924 用税率10%) タ
4010001137274 登録番号T4010001137274 登
式会社(適用税率10%) タイムズ24株式会社(適用税率
登録番号T4010001137274 登録番号T4010001137
ムズ24株式会社(適用税率10%) タイムズ24株式会社
7274 登録番号T4010001137274 登録番号T401
精算機 #02 A 精算No.000400
券機 #01 券No.002595
入庫時刻 2026年 3月26日(木) 17:45
精算時刻 2026年 3月26日(木) 19:55
駐車時間 01137274 登録番号T4010002110727
駐車料金 A料金 750円
店123(割引) 10001137274 登録番号450円
ムズ24株式会社(適用税率10%) タイムズ24株式会社
合 計 300円
現金領収額 300円
お預り 300円
お釣り 0円
またのご利用をお待ちしております
式会社(適用税率10%) タイムズ24株式会社(適用税率

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	広聴費	内 訳	交通費	支出番号	34
支 出 日	2026年1月22日		支出金額	200 円	
支 出 先	ソリオ宝塚都市開発㈱				
支出内容	市民相談・広聴活動				

<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可	ポイント	無	円減額
------------------------	------	---	-----

ソリオ第4駐車場
宝塚市栄町2丁目5番1号
TEL0797-81-7551

領 収 証

入車日時 2026年01月22日 14時36分
出車日時 2026年01月22日 19時22分
No.01-000074 券No.01-186428

駐車料金(一般) 1000円
割引 (2H割) 1枚
800円

料金計 200円
.....
投入現金 200円
釣銭額 0円
.....

全て消費税10%適用対象
登録番号:T9140001081653
ソリオ宝塚都市開発株式会社

(会派名または議員名 おだ たか子)

政務活動費支出書

支出科目	広聴費	内 訳	交通費	支出番号	35
支 出 日	2026年3月22日	支出金額	300 円		
支 出 先	ソリオ宝塚都市開発(株)				
支出内容	市民相談・広聴活動				
＜領収書等添付欄＞ 裏面使用または別紙添付可			ポイント	無	円減額

ソリオ第4駐車場
宝塚市宋町2丁目5番1号
TEL0797-81-7551

領 収 証

入車日時 2026年03月22日 14時11分
出車日時 2026年03月22日 20時30分
No.01-000107 券No.01-198093

駐車料金(一般) 1100円

割引 (2H割) 1枚
800円

料金計 300円

投入現金 500円
釣銭額 200円

全て消費税10%適用対象
登録番号:T9140001081653
ソリオ宝塚都市開発株式会社